

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化 改修工事

図 面 目 録									
建 築 工 事		建 築 工 事		建 築 工 事		建 築 工 事		建 築 工 事	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-001	特記仕様書（新営） 1	A-038	B 1 ・ 1 階 平面図 【改修前】	A-075	1 階 展開図 5 【改修前・後】	A-112	法チェック図 1 （採光・換気・排煙）	A-148	展開図 4 【改修前・改修後】
A-002	特記仕様書（新営） 2	A-039	B 1 ・ 1 階 平面図 【改修後】	A-076	2 階 展開図 1 【改修前・後】	A-113	法チェック図 2 （採光・換気・排煙）	A-149	展開図 5 【改修前・改修後】
A-003	特記仕様書（新営） 3	A-040	2 階 平面図 【改修前】	A-077	2 階 展開図 2 【改修前・後】	A-114	法チェック図 3 （採光・換気・排煙）	A-150	展開図 6 【改修前・改修後】
A-004	特記仕様書（新営） 4	A-041	2 階 平面図 【改修後】	A-078	2 階 展開図 3 【改修前・後】	A-115	法チェック図 4 （採光・換気・排煙）	A-151	展開図 7 【改修前・改修後】
A-005	特記仕様書（新営） 5	A-042	3 階 平面図 【改修前】	A-079	2 階 展開図 4 【改修前・後】	A-116	法チェック図 5 （消防 有窓・無窓検討）	A-152	E X P . J 詳細図
A-006	特記仕様書（新営） 6	A-043	3 階 平面図 【改修後】	A-080	2 階 展開図 5 【改修前・後】	A-117	各部詳細図 1	A-153	仮設計画図 1
A-007	特記仕様書（新営） 7	A-044	P H 階・屋根平面図 【改修前】	A-081	2 階 展開図 6 【改修前・後】	A-118	各部詳細図 2	A-154	仮設計画図 2
A-008	特記仕様書（新営） 8	A-045	P H 階・屋根平面図 【改修後】	A-082	3 階 展開図 1 【改修前・後】	A-119	各部詳細図 3	A-155	特別教室棟防水詳細図
A-009	特記仕様書（改修） 1	A-046	北面立面図・南面立面図 【改修前】	A-083	3 階 展開図 2 【改修前・後】	A-120	各部詳細図 4		
A-010	特記仕様書（改修） 2	A-047	北面立面図・南面立面図 【改修後】	A-084	3 階 展開図 3 【改修前・後】	A-121	各部詳細図 5		
A-011	特記仕様書（改修） 3	A-048	東面立面図・西面立面図 【改修前】	A-085	3 階 展開図 4 【改修前・後】	A-122	各部詳細図 6		
A-012	特記仕様書（改修） 4	A-049	東面立面図・西面立面図 【改修後】	A-086	B 1 ・ 1 階 天井伏図 【改修前】	A-123	各部詳細図 7		
A-013	特記仕様書（改修） 5	A-050	東面立面図 【改修前・後】	A-087	B 1 ・ 1 階 天井伏図 【改修後】	A-124	各部詳細図 8		
A-014	特記仕様書（改修） 6	A-051	断面詳細図 1 【改修前】	A-088	2 階 天井伏図 【改修前】	A-125	各部詳細図 9	S-001	構造特記仕様書
A-015	特記仕様書（改修） 7	A-052	断面詳細図 1 【改修後】	A-089	2 階 天井伏図 【改修後】	A-126	防水平面図 1	S-002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（ 1 ）
A-016	配置図・付近見取図（改修前）	A-053	断面詳細図 2 【改修前】	A-090	3 階・P H 天井伏図 【改修前】	A-127	防水平面図 2	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（ 2 ）
A-017	配置図・付近見取図（改修後）	A-054	断面詳細図 2 【改修後】	A-091	3 階・P H 天井伏図 【改修後】	A-128	防水詳細図 1	S-004	鉄骨工作標準図（ 1 ）
A-018	仕上表（増築部）	A-055	断面詳細図 3 【改修前】	A-092	B 1 ・ 1 階 建具配置図 【改修前】	A-129	防水詳細図 2	S-005	鉄骨工作標準図（ 2 ）
A-019	改修前・改修後 仕上表 1（改修部）	A-056	断面詳細図 3 【改修後】	A-093	B 1 ・ 1 階 建具配置図 【改修後】	A-130	外構平面図 【改修前】	S-006	鋼管杭標準図（ 1 ）
A-020	改修前・改修後 仕上表 2（改修部）	A-057	断面詳細図 4 【改修前】	A-094	2 階 建具配置図 【改修前】	A-131	外構平面図 【改修後】	S-007	柱脚標準図
A-021	改修前・改修後 仕上表 3（改修部）	A-058	断面詳細図 4 【改修後】	A-095	2 階 建具配置図 【改修後】		< E V 棟増築 >	S-008	合成スラブ標準図
A-022	改修前・改修後 仕上表 4（改修部）	A-059	1 階 平面詳細図 1 【改修前・後】	A-096	3 階 建具配置図 【改修前】	A-132	B 1 階 平面詳細図 【改修前】	S-009	A L C 標準図
A-023	改修前・改修後 仕上表 5（改修部）	A-060	1 階 平面詳細図 2 【改修前・後】	A-097	3 階 建具配置図 【改修後】	A-133	B 1 階 平面詳細図 【改修後】	S-010	ボーリング柱状図
A-024	敷地面積求積図・敷地内建物面積表 ・敷地内建物面積表	A-061	1 階 平面詳細図 3 【改修前・後】	A-098	P H 階 建具配置図 【改修前】	A-134	1 階 平面詳細図 【改修前】	S-011	梁伏図、基礎詳細図・地中梁リスト 雑配筋図
A-025	棟別面積図 1	A-062	1 階 平面詳細図 4 【改修前・後】	A-099	P H 階 建具配置図 【改修後】	A-135	1 階 平面詳細図 【改修後】	S-012	部材リスト、スラブ配筋図
A-026	棟別面積図 2	A-063	2 階 平面詳細図 1 【改修前・後】	A-100	B 1 ・ 1 階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-136	2 階 平面詳細図 【改修前】	S-013	軸組図 1
A-027	棟別面積図 3	A-064	2 階 平面詳細図 2 【改修前・後】	A-101	2 階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-137	2 階 平面詳細図 【改修後】	S-014	鉄骨詳細図
A-028	棟別面積図 4	A-065	2 階 平面詳細図 3 【改修前・後】	A-102	3 階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-138	3 階 平面詳細図 【改修前】		
A-029	棟別面積図 5	A-066	2 階 平面詳細図 4 【改修前・後】	A-103	P H 階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-139	3 階 平面詳細図 【改修後】		
A-030	日影図 1	A-067	3 階 平面詳細図 1 【改修前・後】	A-104	建具表 1	A-140	P H 階 平面詳細図 【改修前】	EV-01	エレベーター詳細図 1
A-031	日影図 2	A-068	3 階 平面詳細図 2 【改修前・後】	A-105	建具表 2	A-141	P H 階 平面詳細図 【改修後】	EV-02	エレベーター詳細図 2
A-032	平均地盤面算定図 1	A-069	3 階 平面詳細図 3 【改修前・後】	A-106	建具表 3	A-142	断面図、E V ホール建具表 【改修後】	EV-03	エレベーター詳細図 3
A-033	平均地盤面算定図 2	A-070	P H 階 平面詳細図 1 【改修前・後】	A-107	建具表 4	A-143	矩計図 【改修前】	EV-04	エレベーター詳細図 4
A-034	平均地盤面算定図 3	A-071	1 階 展開図 1 【改修前・後】	A-108	建具表 5	A-144	矩計図 【改修後】	EV-05	エレベーター詳細図 5
A-035	平均地盤面算定図 4	A-072	1 階 展開図 2 【改修前・後】	A-109	建具表 6	A-145	展開図 1	EV-06	エレベーター詳細図 6
A-036	平均地盤面算定図 5	A-073	1 階 展開図 3 【改修前・後】	A-110	1 階・2 階 区画壁位置図	A-146	展開図 2 【改修前・改修後】	EV-07	エレベーター詳細図 7
A-037	平均地盤面算定図 6	A-074	1 階 展開図 4 【改修前・後】	A-111	3 階 区画壁位置図 各室面積計算表	A-147	展開図 3 【改修前・改修後】	EV-08	エレベーター詳細図 8

[illegible]

工事特記仕様書

I. 工 事 名 津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

II. 工事概要

1. 工事場所	津市 河芸町千里ヶ丘 地内		
2. 敷地面積	18,407.48㎡		
3. 工事内容			
棟名称	昇降機棟、普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B、特別教室棟		
構 造	昇降機棟	S造	R C造
	普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B、特別教室棟		
建築面積	昇降機棟	13.06㎡	3,407.29㎡
	普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B、特別教室棟		
延べ面積	昇降機棟	56.48㎡	6,715.79㎡
	普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B、特別教室棟		
工事項目	昇降機棟	新築工事	改修工事
	普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B、特別教室棟		

Ⅲ. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工編」令和4年版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工編」令和4年版）による。

2. 特記仕様

- 1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
- 3)項目に記載の()内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
①	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 3) 津市木材利用方針
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事着手前には、現状把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。 ※ 撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。 ※ 外部足場の設置及び解体は、原則、夏休み中もしくは休日等の授業が行われていない時に行うこと。 ※ 夏休み中等の学校休校日であっても地域の団体が利用する場合があるため、安全に十分注意すること。 ※ 作業後の校舎等の施設については学校側と十分協議を行うこと。 ※ 原則として、撤去工事等の現場への本格着手は7月19日からとする。但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限り

ではない。

- ※ 本工事は、通常授業時に限らず夏休み中であっても部活動等の利用をしながらの改修工事となるため、施工に先立ち、学校及び市監督員と協議の上、施工工程を作成し、市監督員の承諾を得てから工事を行うこと。
- ※ 外壁補修（浮き部、ひび割れ補修等）は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うものとする。
- ※ 外部鉄部塗装等において、下地調整ケレン時に集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散養生するなど粉塵の飛散防止に努めること。
- ※ 防火戸等の特定防火設備の改修は、原則、お盆期間を利用し作業を行うこと。
- ※ 高所等の施工箇所での完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。
- ※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ計画し、施工すること。
- ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ※ 既設入研ぎ及びSUS製手洗い改修については、2学期以降の学校運用に支障が無いよう、夏休みを利用し市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。
- ※ 作業着手までの校内調査は事前に学校及び市監督員の承認を得るものとし、学校終了後、休校日等の学校運営に影響を与えない範囲とする。
- ※ 入研ぎ手洗い撤去に起源する断水作業については原則7月末までに、8月以降の施設運営に支障がないように努めること。ただし、当施設が選挙会場となった場合、選挙当日に水の利用が可能な状態にすること。
- ※ 8月以降の駐車場エリアは夜間においても屋内運動場一般開放利用者が使用する為、安全に務めること。
- ※ 下記に示す諸室の改修工事について、2学期または3学期以降の学校運用に支障が無いよう、市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡し計画時期を示す。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。
- （8月中引渡） <普通教室棟A・普通特別教室棟>
- ・ 内部改修部（普通教室、廊下（手洗い改修含む）、階段室）
 - ・ 外壁 南面
 - ・ 建具改修
- <普通教室棟B>
- ・ 内部改修部（普通教室、廊下）
 - ・ 建具改修
- <特別教室棟>
- ・ 建具改修

- ※ 各諸室（１クラス３０名程度）について、作り付け家具のほか、
机等の備品があるため、作業に際し移設及び養生を適宜行うこと。
（平面詳細図参照）
- なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。
- ・普通教室：机、椅子及び教卓
 - ・昇降口：下足入れ、揭示板、案内板等
 - ・廊下：揭示板、タフレット保管庫、スチール棚等

- ・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
- 工事契約後に明らかになつたやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

・ 分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
屋根	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
その他 ()	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

- ・ 引渡を要するもの ()
 - ・ 特別管理産業廃棄物 () 処理方法 ()
- ・ 石綿含有成形板等解体時の留意点
 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
 2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
 3. 飛散されない様にすること。
 4. 保護具及び作業着を着用すること。
 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
- ・ 再資源化を図るもの ()
 - ・ アスファルトコンクリート塊
 - ・ 建設発生木材
 - ・ ()

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監査員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

- | | | |
|---|-----------|--|
| ⑤ | 三重県産業廃棄物税 | <p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となつた場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別定する様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。</p> <p>なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計を超えて請求することはできない。</p> |
|---|-----------|--|

- 配置する

職種別に可能なものについては積極的に活用のこと

- 1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
- 2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

9. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)

適用	施設用途 ホルムアルデヒド [※]	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パージクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	

対象箇所（・図示（図面番号： ）・（ ））
測定方法（・パッシブ法 ・アクティブ法）
測定時期 （ ）
報告書提出部数 2部

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の
指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。

提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（令和5年3月1日付け国営建技第14号）」による。

- ⑬ 完成図等
- (1.7.1) ① 作成する ② 完成図 ③ 保全に関する資料 ・ ()
 - (1.7.2) ④ 完成図作図範囲 (設計図を訂正)
 - (1.7.3) 完成図はCADにより作成することとし、著作権 (著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む) は発注者に移譲するも

○ デジタルカメラで撮影し、全てＬ版相当サイズで印刷する。
（Ａ４版用紙に１ページあたり３枚） １部
箇所数は外観４面各室２面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

施工範囲

- ・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
- ・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
- ・駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ

施工図

- ・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

- ⑬設計GL 図示（図面番号： A-017、A-133）

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ等、既存にならい補修すること。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

- 19) 消防法関係の手続き
- 1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
- 本工事 ● 建築工事 ● 電気設備工事 ● 機械設備工事
- ・ 別途工事
- 2) 防火対象物使用開始届出書
- 書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。



設計監理 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2025. 2. 21.
管理建築士	設計者			変更・訂正
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			
				

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No
建築工事特記仕様書 1 (新営)	S=NS	A-00
	.	
	.	
	.	

原因：A 2

[illegible]

 設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所 〒514-0008 三重県津市浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2025. 2. 21.	設計番号 No	備考	図面名称	縮尺	図面 No
	管理建築士	設計者		変更・訂正	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事		建築工事特記様書 2 (新営)	S-NS	A-002 原因: A 2
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛							

コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度

(6.2.1)

(6.2.2)

(6.2.4)

(6.10.1)

(6.10.2)

(6.10.3)

(6.11.1)

(6.11.3)

(表6.2.2)

(表6.10.1)

②コンクリートの種類

(6.2.1)

(表6.2.1)

③コンクリートの仕上り

(6.2.5)

(表6.2.4)

(表6.2.5)

④セメント

(6.3.1)

(表6.3.1)

⑤骨材

(6.3.1)

⑥コンクリートの材料

(6.3.1)

(表6.3.2)

⑦打継ぎ

(6.6.4)

8.養生

(6.7.2)

⑨型枠

(6.6.4)

(6.8.1)

(6.8.2)

(表6.8.1)

(6.8.4)

⑩寒中コンクリート

(6.11.1)

⑪暑中コンクリート

(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ
・24 (N/mm²)	基礎		・18 (cm)
・24 (N/mm²)	デッキ上		・18 (cm)
・21 (N/mm²)	土間		・18 (cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・ (N/mm²)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・ 常時土又は水に直接接する部分

図示 (図面番号:)

①Ⅰ類

Ⅱ類

・ 大臣認定品

図示 (図面番号:)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種類

・ A種

B種

・ C種

仕上りの平たんさ

・ a種

・ b種

・ c種

種類

・ 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種

・ ()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種

・ 適用箇所

図示 (図面番号:)

アルカリシリカ反応性による区分

・ A

・ B

・ 特殊な骨材の使用

・ フェロニッケルスラグ細骨材

・ 銅スラグ細骨材

・ 電気炉酸化スラグ骨材

・ 再生骨材H

混和材料

・ 図示 (図面番号:)

混和剤の種類、使用方法、使用量

・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (f) (f)

・ ()

混和材の種類、使用方法、使用量

・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (f) (f)

・ ()

構造体強度補正值 (S)

・ 標準仕様書[表6.3.2] ・ ()

位置

・ 標準仕様書 [6.6.4] (1) ・ 図示 (図面番号:)

・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 () 日以上

材料

・ 複合合板 (厚さ (mm)) 12 ・ ())

打増し厚さ

・ 図示 (図面番号:)

誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法

・ 図示 (図面番号:)

・ 断熱材の兼用

・ MCR工法用シート

スリーブの材質、規格等

・ 鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板

・ つば付き鋼管

・ 図示 (図面番号:)

型枠存置期間及び取外し

・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日

適用期間 ()

・ 構造体強度補正值 (S)は積算温度を基に定める

構造体強度補正值 (S)

・ 6 N/mm² ・ ()

12. マスコンクリート

(6.13.1)

(6.13.2)

(表6.13.1)

⑬無筋コンクリート

(6.14.1)

14. 流動化コンクリート

(6.15.1)

①施工管理技術者

(7.1.4)

②製作工場

(7.1.3)

③鋼材

(7.2.1)

(表7.2.1)

④高力ボルト

(7.2.2)

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.4.7)

5. 普通ボルト

(7.2.3)

(表7.2.3)

(7.3.2)

6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.12.5)

⑦アンカーボルト

(7.2.4)

(7.3.2)

(7.10.3)

(表7.10.1)

(表7.2.3)

適用箇所

・ 図示 (図面番号:)

セメントの種類

・ 普通ポルトランドセメント

・ 中庸熟ポルトランドセメント

・ 低熟ポルトランドセメント

・ 高炉セメントB種

・ フライアッシュセメントB種

・ シリカセメント

スランプ

・ 15cm ・ ()

混和剤の種類

・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (7) ・ ()

混和材の種類

・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (4) ・ ()

構造体強度補正值 (S)

・ 標準仕様書 [表16.3.1] ・ ()

コンクリートの種類

・ 普通コンクリート ・ ()

適用箇所

標準仕様書 [6.14.1]

・ (7) ・ (4) ・ (4) ・ (イ) ・ (オ) ・ (カ)

・ 上記以外の適用箇所 ()

設計基準強度

・ 18 (N/mm²) ・ () (N/mm²)

スランプ

・ 15cm ・ 18cm

適用箇所

・ 図示 (図面番号:)

配置する

(株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・ J

R

・ M

・ H

・ S

種類、形状及び寸法

・ 図示 (図面番号: S-01、S-04、S-05、S-11～S-14)

種類

・ トルシア形高力ボルト (S10T)

・ JIS形高力ボルト2種 (F10T)

・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)

・ ()

高力ボルトのねじの呼び

・ 図示 (図面番号: S-01、S-12)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

すべり試験の試験方法

・ ()

JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合

・ 回転量 () °

ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び

・ 図示 (図面番号:)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

摩擦面の処理

・ プラスト処理 (表面粗度50 μ mRz以上)

・ りん酸塩処理

すべり試験の試験方法

・ ()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

種類

構造用

・ ABR400B

・ (S-01)

建方用

・ SS400 ・ ()

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み

・ A種

・ B種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上りの程度

・ 標準仕様書 [表7.2.3]

・ 図示 (図面番号:)

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

・ 図示 (図面番号: S-07)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号: S-07)

⑧溶接材料

(7.2.5)

⑨ターンバックル

(7.2.6)

⑩デッキプレート

(7.2.7)

(7.7.8)

11. スタッド

(7.2.8)

⑫柱底均しモルタル

(7.2.9)

(7.10.3)

(表7.10.2)

13. 材料試験等

(7.2.10)

14. ねじの孔径

(7.3.8)

⑮仮組

(7.3.10)

⑯溶接作業における技能資格者

(7.6.3)

⑰溶接部の開先

(7.6.4)

⑱溶接施工

(7.6.7)

⑲溶接部の試験

(7.6.12)

⑳銷止め塗装

(7.8.2)

(7.8.4)

材料

・ 標準仕様書 [7.2.5] (1) (2) 以外の溶接材料 ()

種類及びねじの呼び等

・ 図示 (図面番号: S-12)

建築用ターンバックル胴

・ 割枠式 ・ ()

建築用ターンバックルボルト

・ 羽子板ボルト ・ ()

材質、形状及び寸法

・ 図示 (図面番号: S-01、S-08、S-12)

溶接方法

・ 図示 (図面番号: S-01、S-08、S-12)

種類等

・ 図示 (図面番号:)

柱底均しモルタルの工法、厚み

・ A種 (30) mm ・ B種 () mm

無収縮モルタルの材料及び割合

・ 標準仕様書 [7.2.9] (2) ・ ()

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・ JIS G 0901により行う

普通ボルトの孔径 (母屋又は胴縁の取付け)

・ ねじの呼び径±1.0mm ・ ()

・ 行わない ・ 行う

仮組を行う範囲

・ 図示 (図面番号:)

溶接作業の技量付加試験

・ 行わない ・ 行う

開先の形状

・ 図示 (図面番号: S-04、S-05)

鋼製エンドタブの切除

・ 適用及び切断範囲

図示 (図面番号:)

切断面の仕上げ

・ 標準仕様書 [7.6.7 (1) (a) (b)] ・ 図示 (図面番号:)

鋼製エンドタブに代わるその他の工法

鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。

1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。

2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A級以上) 、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部

・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位

図示 (図面番号:)

スカラップの形状

・ 図示 (図面番号: S-04、S-05、S-14)

試験の種類

溶接部の外観試験方法

・ (目視試験 全数)

・ 超音波探傷試験 ・ ()

溶接区分

AOQL (%)

検査水準

備考

現場溶接

・ 全数試験

工場溶接

・ 2.5

・ 4.0

6

耐火被覆材の接着する面への塗装

塗装範囲

図示 (図面番号: S-01)

種別

・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] (A) 種

・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] () 種

⑮耐火被覆

(7.9.2)

(7.9.3)

22. 軽量形鋼

(7.11.2)

⑧コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

1.補強コンクリートブロック造

(8.2.2)

(8.2.3)

(8.2.5)

(8.2.7)

(8.2.8)

(表8.2.1)

2.コンクリートブロック帳壁及び塀

(8.3.2)

(8.3.3)

(8.3.4)

(8.3.7)

(表8.3.1)

③ALCパネル

(8.4.2)

(8.4.3)

(8.4.4)

(表8.4.2)

(8.4.5)

(表8.4.3)

4. 押出成形セメント板

(8.5.2)

(8.5.3)

(8.5.4)

(表8.5.1)

(8.5.5)

(表8.5.2)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装

塗装範囲

図示 (図面番号:)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スラブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)

・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] () 種

部位

種類

材料

工法

耐火性能

柱・梁

耐火被覆

ロックウール

吹付

60分耐火

接合部 (ボルト接合の場合)

・ 普通ボルト接合 ・ ()

種類

・ 空洞ブロック16

・ 図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法

・ 図示 (図面番号:)

各部の配筋

・ 図示 (図面番号:)

目地仕上げ

・ 押し目地 ・ 化粧目地

モルタルの調合

・ 標準仕様書 [8.2.3] ・ ()

モルタル又はコンクリートの充填範囲

・ 図示 (図面番号:)

ブロックの種類

・ 標準仕様書 [表8.3.1]

・ 図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ

・ 図示 (図面番号:)

モルタルの調合

・ 標準仕様書 [8.2.3] ・ ()

化粧

・ 有り ・ 無し

塀の厚さ

H ≤ 2.0m

・ 120mm ・ ()

H > 2.0m

・ 150mm ・ ()

各部の配筋

・ 図示 (図面番号:)

モルタル又はコンクリートの充填範囲

・ 図示 (図面番号:)

区分	単位 荷重 (N/mm²)	呼び寸法			構法	耐火性能
		厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)		
・ 外壁 パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ (600)	・ ()	・ A種 ・ B種	・ (1) 時間 ・ 無し
・ 間仕切 壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ ()	・ C種 ・ E種 ・ D種	・ () 時間 ・ 無し
・ 屋根 パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し
・ 床 パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し

パネル幅を300mm以下とする部分

・ 適用あり

外壁、屋根及び床パネル構法

風圧力に対応した工法

・ 適用あり

パネル短編小口相互の伸縮目地幅 (mm)

・ ()

出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm)

・ ()

伸縮目地への耐火目地材の充填

・ 適用する (材料:ロックウール)

種類	表面形状及び 原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法
・ 外壁 パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種
・ 間仕切壁 パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル	・ ()	・ ()	・ B種 ・ C種

パネル幅を300mm以下とする部分

・ 適用あり

パネル相互の目地幅 (mm)

・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ・ ()

出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm)

・ 15 ・ ()

目地及び隙間の処理

・ ()

外壁パネル構法

風圧力に対応した工法

・ 適用あり

間仕切壁パネル構法

パネルに欠き込みを行う場合

・ パネル開口の限度 ・ 図示 (図面番号:)

設計
監理

類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

一級建築士 第306854号 田中 召剛

変更・訂正

・ ・ ・

・ ・ ・

・ ・ ・

・ ・ ・

設計番号 No

備考

図面名称

縮尺

図面 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

A-003

原因: A 2

⑨

防水工事

1. アスファルト防水
（表9.2.3）
～（表9.2.8）
（9.2.2）
（9.2.3）

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.2.3] ～[表9.2.8] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.2.3] ～[表9.2.8] ・図示（ ）
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.2.5] ～[表9.2.8] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.2.5] ～[表9.2.8] ・図示（ ）
絶縁用シート
・ポリエチレンフィルム（厚さ 0.15mm以上）
・フラットヤーンクロス（70g/m²）
押え金物
・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・図示（図面番号： ）
断熱材
・屋根保護防水断熱工法
厚さ （ ） mm
・屋根露出防水断熱工法
種類 （ ） 厚さ （ ） mm
（表9.2.3）
～（表9.2.6）

立上り部の保護工法 ・図示(図面番号：)
乾式保護材 ・使用する
立上り部保護れんが ・ JIS R 1250 ・（ ）
断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁ｼｰﾄ ・設置する
脱気装置
・設置数量 図示(図面番号：) 種類（ ）
（表9.2.8）
（表9.2.7）
（表9.2.8）
（表9.2.7）
（表9.2.8）
（表9.2.9）
屋内防水密着工法における保護層
・図示（図面番号： ）
E-1の工程3 ・行う ・行わない
（9.2.4）
防水層の下地モルタル塗り
・図示（図面番号： ）
立上りのコンクリート打放し仕上げの種類
種別 ・B種 ・（ ）
屋根露出防水絶縁断熱工法
ルーフトレन回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置
・図示(図面番号：)
（9.2.5）
保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ・水下 80mm以上 ・（ ）
床タイル張り ・水下 60mm以上 ・（ ）
立上り部の保護方法
・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内等） ・（ ）
屋上排水溝
・図示(図面番号：)

種 別	施 工 箇 所

（9.3.2）
（9.3.3）
（表9.3.1）
～（表9.3.3）
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ
種類 ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] ・図示（ ）
押え金物の材質、形状、寸法
・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・（ ）
仕上塗料
・図示（図面番号： ） 種類（ ） 使用量（ ）
脱気装置 ・設置数量 図示（図面番号： ） 種類（ ）
（表9.3.3）
断熱材
・屋根露出防水絶縁断熱工法
種類 （ ） 厚さ（ ） mm
防湿用シートの設置 ・有り ・無し

2. 改質アスファルトシート防水
（9.3.2）
（9.3.3）
（表9.3.1）
～（表9.3.3）

改質アスファルトシート
種類 ・標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3] ・図示（ ）
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ
種類 ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] ・図示（ ）
押え金物の材質、形状、寸法
・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・（ ）
仕上塗料
・図示（図面番号： ） 種類（ ） 使用量（ ）
脱気装置 ・設置数量 図示（図面番号： ） 種類（ ）
（表9.3.3）
断熱材
・屋根露出防水絶縁断熱工法
種類 （ ） 厚さ（ ） mm
防湿用シートの設置 ・有り ・無し

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水
（9.4.2）
（9.4.3）
（9.4.4）
（表9.4.1）
（表9.4.2）
（表9.4.3）

ルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.4.1] ～[表9.4.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.4.1] ～[表9.4.3] ・図示（ ）
可塑性移行防止用シート
・発砲ポリエチレンシート ・（ ）
固定金具 材質、寸法形状（ ）
・図示（図面番号： ）
断熱材 種類、厚さ
・機械的固定工法 図示（図面番号： ）
・接着工法 図示（図面番号： ）
仕上塗料
・図示（図面番号： ） 種類（ ） 使用量（ ）
防湿用フィルムの設置 ・有り ・無し

屋内保護密着工法
モルタル塗り厚さ ・（ ） mm
立上り部の保護モルタル塗厚さ ・7mm以下 ・（ ） mm
目地処理(接着工法)
PC下地 ・図示（図面番号： ）
増張り（S-F1、SI-F1）
PC入隅部 ・図示（図面番号： ）
機械的固定工法
風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号：)
脱気装置
・設置数量 図示（図面番号： ） 種類（ ）

施 工 箇 所	種 別
平場	X-1
立上	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置（X-1）
○設置数量 図示（図面番号：A-126） 種類（ ）
保護層（Y-2） ・保護コンクリート ・保護モルタル
仕上塗料（X-1、X-2）
○図示（図面番号：A-126） 種類（フッ素） 使用量（ ）

④. 塗膜防水
（9.5.3）
（表9.5.1）
（表9.5.2）

防水層の下地
壁及び天井部の仕上げ ○コンクリート打放し仕上げ（B種）
○図示（図面番号：A-144）
防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理
○標準仕様書[9.6.4](2)(7)後段 ・（ ）
標準仕様書 [9.6.4](2)(ｲ)及び(ﾎ)以外の処理 ・（ ）

⑤. ケイ酸質系塗布防水
（9.6.4）

⑥. シーリング
（9.7.2）
（9.7.3）
（表9.7.1）
（9.7.5）

シーリング
種類 ・標準仕様書[表9.7.1]による
施工箇所
目地寸法 20×10
種 類 PU-2
仕上 あり
（表9.7.1）
接着性試験
・簡易接着性試験 ・引張接着性試験

⑦. 保証書
工事区分
防水工事 ○ 防水材料 ○ 防水
保証年数 ○ 10年 ○ 年
※防水工事業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

10. 石工事

1. 共通
（10.1.3）
2. 天然石
（10.2.1）
（表10.2.1）
（表10.2.2）
割付 ・図示(図面番号：)
使用部位 種類(名称) 寸法(mm) 表面仕上げ 工法 形状
床 ・粗磨き
・（ ）
壁 ・水磨き
・（ ）
ジェットバーナー仕上面 バフ仕上 ・あり ・なし

3. テラゾ
（10.2.1）
（表10.2.2）

テラゾタイル
使用部位 種石の種類 種石の大きさ 寸法による区分 表面仕上
・大理石 ・1.5～12mm ・300型
・400型
テラゾブロック
使用部位 種石の種類 種石の大きさ 形状 仕上げ面 寸法(mm) 表面仕上
・大理石 ・1.5～12mm ・平もの
・役もの ・片面
・両面
取付用モルタル ・図示(図面番号：)
目地用モルタル ・図示(図面番号：)
浸透性吸水防止剤 ・図示（図面番号： ）
石裏面処理材 ・図示(図面番号：)
裏打ち処理材 ・図示(図面番号：)
充填材料 ・図示(図面番号：)
5. 外壁湿式工法
（10.2.2）
（10.2.3）
（10.3.2）
（10.3.3）
受金物の材質、形状、寸法
・図示（図面番号： ）
アンカーの材質及び寸法
材質 ・SS400 ・（ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
ドレンパイプの材質
・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・（ ）
石材の厚さ ・25mm以上 ・（ ）
石裏面処理 ・適用する
裏打ち処理 ・適用する
下地ごしらえ
・流し筋工法 ・あと施工アンカー工法
・あと施工アンカー横筋流し工法
目地 一般目地
目地幅 ・6mm以上 ・（ ）
シーリング材の有無 ・有り ・無し
伸縮調整目地
位置 ・標準仕様書[表11.1.1] ・図示（図面番号： ）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さととも10mm以上 ・図示（図面番号： ）
6. 内壁空積工法
（10.2.2）
（10.3.3）
（10.4.2）
（10.4.3）
受金物の材質、形状、寸法
・図示（図面番号： ）
アンカーの材質及び寸法 材質 ・ SS400 ・（ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
石材の厚さ ・20mm以上 ・（ ）
下地ごしらえ
・あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法
目地 一般目地
目地幅 ・6mm以上 ・（ ）
伸縮調整目地
位置 ・6mごと ・図示(図面番号：)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さととも10mm以上 ・図示（図面番号： ）
7. 外壁乾式工法
（10.2.2）
（10.5.2）
（10.5.3）
（表10.2.4）
金物の種類、形状、寸法 ・図示（図面番号： ）
取り付け工法
・スライド方式 ・ロッキング方式
アンカーの材質及び寸法 材質 ・ SUS304 ・（ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
石材の厚さ ・30mm以上(外壁) ・25mm以上(内壁) ・（ ）
たば用穴の位置 ・図示（図面番号： ）
裏打ち処理 ・適用する
風圧力に対応した工法 ・図示（図面番号： ）
目地
目地幅 ・8mm以上 ・（ ）
シーリング材 ・適用する

8. 床及び階段の石張り
（10.3.3）
（10.6.2）
（10.6.3）

石材の厚さ ・（ ） mm
石裏面処理 ・適用する（浸透性吸水防止剤）
裏打ち処理 ・適用する（浸透性吸水防止剤）
目地 一般目地
目地幅 ・ 屋内4mm以上、屋外3～6mm
・ 図示(図面番号：)
伸縮調整目地
位置 ・標準仕様書[10.6.2](5)(ｲ)(a)後段
・図示（図面番号： ）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さととも10mm以上 ・図示（図面番号： ）
9. 笠木、甲板等
（10.2.2）
（10.3.3）
（10.5.3）
（10.7.2）
取付け金物
・標準仕様書[10.2.2](3)(7)の後各段 ・（ ）
アンカーの材質及び寸法
材質 ・ SUS304 ・（ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
取付工法 ・湿式工法 ・乾式工法
石材の厚さ ・（ ） mm
石裏面処理 ・適用する
取付け

工事特記仕様書（改修）

Ⅰ. 工事名称

以下、A-001による

Ⅱ. 工事概要

1 工事場所

敷地面積

工事内容

様名称

構造

建築面積

延べ面積

工事項目

Ⅲ. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章	項 目	特 記 事 項																					
① 一般共通事項	① 適用基準等	1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 2）公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 3）建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 4）建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）																					
	② 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 大型車における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ道路諸等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのものと写真に記録しておくこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。 なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。																					
	③ 発生材の処理等 (1.3.12)	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。																					
・分別解体等の方法																							
<table><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>造成等</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>上部構造部分・外装</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>建築設備・内装等</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他 ()</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr></table>			工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	屋根	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																					
造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																					
屋根	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																					
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																					
その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
○ 引き渡しを要するもの ○ 無 ・ ・ 特別管理産業廃棄物 ○ 有（ ・ PCBを含む機器類 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン類 ・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 廃水銀等 ） 処理方法（ ） ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有（ ・ 蛍光ランプ ・ HIDランプ ・ （ ） 「水銀廃棄物ガイドライン」（第2版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。																							
○ 石綿含有成形板等解体時の留意点 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。 3. 飛散されない様にする。こと。 4. 保護具及び作業着を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ○ 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材 （ ）																							
引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。																							

④ 建設副産物情報交換システムの利用

受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JAGICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

⑤ 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

⑥ 電気保安技術者
(1.3.3)

○ 配置する

⑦ 技能士
(1.7.2)

職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

⑧ 施工数量調査
(1.6.2)

調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による

9 調査のための破壊部分の補修
(1.5.3)

補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

⑩ 建築材料等

1） 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

⑪ 化学物質の濃度測定
(1.6.9)

測定対象化学物質（●で示したものとす。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
○	学校 教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定箇所数 ○ 図示（図面番号：A-038～043 ） ・ （ ）
測定方法（ ○ パッシブ法 ・ アクティブ法）
測定時期、（ ）
報告書提出部数 2部

⑫ 特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑬ 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑭ 工事写真
(1.2.4)

當繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（最新版））に従い撮影する。
提出部数1部 用紙は上質紙とする。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日国営建設14号）」による。

⑮ 完成図等
(1.8.2)
(1.8.3)

作成する（ ○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ） ）
完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。
○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。
（A4版紙面に1ページあたり3枚）1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑯ 完成写真

施工範囲
○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
○ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
○ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ

⑰ 設備工事との取合い

施工図
○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。

⑱ 既存部分等への処置
(1.3.13)

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事務所発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲ 事故の発生時

1） 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
○ 本工事（ ○ 建築工事 ○ 電気設備工事 ○ 機械設備工事 ） ・ 別途工事
2） 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

⑳ 消防提出書類

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉑ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

1） 一般事項
工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2） 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3） 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。

㉒ 不正軽油の使用の禁止

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

㉓ 屋外広告物

②4 石綿含有建材の調査
(1.5.1)

○ 石綿含有建材の事前調査
調査範囲 ○ 改修部分すべて ・ （ ）
貸与資料 ○ 既存の設計図書 ○ 石綿含有建材の調査報告書 ・ （ ）
・ 分析調査
分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図面（図面番号： ） ・ （ ）

② 仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策
(2.1.3)

・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）
○ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ○ 既設壁撤去時

② 足場
(2.2.1)
(表2.2.1)

設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

内部足場の種別（参考） ○ 脚立 ・ 棚足場 ・ その他（ ）
外部足場の種別（参考） ○ 手摺先行据置枠組木足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車
・ その他（ ）
外部足場設置範囲（参考） ○ 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用
防護シート等による養生 ○ 適用する ・ 適用しない

③ 既存部分の養生
(2.3.1)

既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（ ）
保管場所 ・ 構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
○ 行う ・ 行わない

④ 仮設間仕切り
(2.3.2)
(表2.3.1)

屋内の仮設間仕切り ・ A種 ○ B種 ・ C種
合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ）
せっこうボード 厚さ ○ 9.5mm ・ （ ）
合板又はせっこうボードの塗装 ・ 行う ○ 行わない
設置箇所 ○ 図示（図面番号： ）
仕様 ・ 合板張り木製扉 ○ （7mm製 ）

5 監督員事務所
(2.4.1)

・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する ・ 設置しない
監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
------	------	------	------	------	-------

監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装溶融垂れ込み鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

6 監督員事務所の設備・備品等
(2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑦ 仮設便所

⑧ 工事用水

⑨ 工事用電力

構内既存の施設
・ 利用できる ○ 利用できない

構内既存の施設
○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償 ） ・ 利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑩ 交通誘導警備員

配置 ○ 図示（図面番号：A-157、158 ）

設計監理

類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目5-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士

設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2025. 2. 21.

変更・訂正 . . .

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺

建築工事特記仕様書 1（改修） ・ S=NS

図面 No

A-009

原因: A 2

④	塗り仕上げ (4. 5. 2) (表4. 5. 1(その1) (その2))	種 類	呼び名	仕上げ形状		工法	
				薄付け仕上塗材	○ 外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け
						・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて
						・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー
		・ 着色骨材砂壁状		・ 吹付け ・ こて			
		・ ()		・ ()	・ ()		
		厚付け仕上塗材	外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け		
				・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて		
			外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け		
				・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・ こて ・ ローラー		
複層仕上塗材	○ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE	・ ゆず肌状	ローラー				
		・ 凸部処理	吹付け				
・ ()		・ ()	・ ()				
可とう形改修用 仕上塗材	可とう形改修塗材 E 可とう形改修塗材 RE 可とう形改修塗材 CE	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー				
		・ ゆず肌状	吹付け				
・ 外装厚塗 C の上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/㎡)							
(4. 6. 2)							
(表4. 6. 1)							
(表4. 5. 2)							
複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類							
樹脂種類		溶媒種類		外 観			
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無		・ メタリック			
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無					
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無					
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無		・ メタリック			
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無					
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無		・ メタリック			
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無					
○ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無		・ メタリック			
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無					
	○ 水系	○ 艶有 ・ 艶無					
(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。							
外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法							
(表4. 7. 1)	種類	仕上げの形状		工法			
	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状		・ 吹付け			
		・ 凸部処理					
		・ ゆず肌状		・ ローラー			
・ さざ波状							
(4. 5. 4)							
既存塗膜等の除去及び下地処理							
		工 法			処理範囲		
・ サンダー工法							
○ 高圧水洗工法							
・ 塗膜はく離剤工法							
○ 水洗い工法 (○ 高圧ポンプ (10～15MPa) ・ デッキブラシ)							
(4. 5. 5)							
下地調整							
○ C-1 ○ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()							
⑤	① 改修工法 (5. 1. 3)	○ かぶせ工法					
		○ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法					
	○ 撤去工法	○ はつり工法 ・ 引抜き工法					
		○ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ○ 図示 (図面番号: A-104, 105)					
	③ 見本の製作 (5. 1. 5)	・ 製作する ○ 製作しない					
	4 防犯建物部品 (5. 1. 7)	・ 図示 (図面番号:)					
	5 ブラインドボックス等 (5. 1. 6) (3)	・ 再使用する ・ 再使用しない					
	⑥ アルミニウム製 建具 (5. 2. 2) (5. 2. 4) (表5. 2. 1)	外部建具の性能等級等 ・ A 種 ○ B 種 ・ C 種					
		○ 枠の見込み寸法 ○ 70mm ・ () ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)					
	(表5. 2. 2)	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 ・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外) ・ BA-1 ・ BA-2 ・ () ○ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外) ○ BB-1 ・ BB-2 ・ () ・ 内部に面する建具 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()					

7

アクリル樹脂系
非水分散形塗料
(NAD)

(7. 7. 2)
(表7. 7. 1)

8

耐候性塗料塗り
(DP)

(7. 8. 2)～
(7. 8. 4)
(表7. 8. 1)～
(表7. 8. 3)

9

つや有合成樹脂
エマルションペ
イント塗り
(EP-G)

(7. 9. 2)～(7. 9. 5)
(表7. 9. 1)～
(表7. 9. 4)

10

合成樹脂エマ
ルションペイ
ント塗り (EP)

(7. 10. 2)
(表7. 10. 1)

1 1

ウレタン樹脂
ワニス塗り
(UC)

(7. 11. 2)
(表7. 11. 1)

1 2

ステイン塗り
(OS)

(7. 12. 2)
(表7. 12. 1)

1 3

木材保護塗料
塗り (WP)

(7. 13. 2)
(表7. 13. 1)

8の
1耐震改修工事
共通事項

(一般事項)
①適用範囲

(8. 1. 1)
(8. 1. 2)

8の
2耐震改修工事
撤去工事

①既存部分の撤去等

(8. 21. 2)

②既存構造体の撤去

(8. 21. 2)
(8. 22. 2)
(8. 23. 2)
(8. 24. 4)

種別

・ A種 ・ B種

上塗り等級

○ 1級（フッ素系） ・ 2級（シリコン系） ・ 3級（ポリウレタン系）

下地	種別
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A－1種 ・ A－2種 ・ B－1種 ・ B－2種 ・ C－1種 ・ C－2種

種別

下地	種別
コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め（ ）
木部（屋内）	・ A種 ○ B種 ・ C種
鉄鋼面（屋内）	・ A種 ○ B種 ・ C種
垂鉛めっき鋼面（屋内）	・ A種 ・ B種 ・ C種

種別

・ A種 ○ B種 ・ C種
しみ止め ・ （ ）

種別

・ A種 ・ B種
工程 1 の着色 ・ 適用する ・ 適用しない

種類 ・ ビグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り
オイルステイン塗りの工程、塗料 ・ （ ）

種別

・ A種 ・ B種

①既存部分の撤去等

(8. 21. 2)

撤去の範囲

・ 図示（図面番号： ）
・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
○ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分
・ （ ）

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置

本工事の範囲

・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分
・ 設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
・ （ ）

撤去範囲 ・ 図示（図面番号： ）

②既存構造体の撤去

(8. 21. 2)
(8. 22. 2)
(8. 23. 2)
(8. 24. 4)

既存構造体の撤去

撤去範囲 ○ 図示（図面番号： A-48 ）
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示（図面番号： ） ・ 全ての撤去部分 ・ （ ） ・ 適用なし	
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示（図面番号： ） ・ 全ての撤去部分 ・ （ ） ・ 適用なし	
○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 図示せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ○ （ 全ての撤去部分 ）	

はつりだした鉄筋の処置

・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
・ （ ）

はつりだした鉄骨の処置

・ 発泡スチロール等で養生する。
・ （ ）

⑧

の

3

耐震改修工事

鉄筋工事

(既存部分の処理)

③ 既存構造体コンクリート面の目荒らし

(8. 21. 3)

(8. 22. 3)

(8. 23. 3)

① 鉄筋

(8. 2. 1)

(表8. 2. 1)

2 溶接金網

(8. 2. 2)

3 加工

(8. 3. 2)

④ 鉄筋の継手及び定着

(8. 3. 4)

⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(8. 3. 5)

(表8. 3. 6)

⑥ 各部配筋

7 ガス圧接

(8. 3. 8)

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)

8 割製補強筋

(8. 21. 6)

(8. 22. 7)

9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手

(8. 4. 2)

(8. 4. 3)

⑧

の

4

コンクリート工事

耐震改修工事

(コンクリート工事一般事項)

① コンクリートの種類及び強度

(8. 1. 3)

(8. 1. 4)

(8. 9. 1)

(表8. 9. 1)

② 構造体コンクリートの仕上り

(8. 1. 4)

(表8. 1. 4)

(表8. 1. 5)

材料 改修標準仕様書(表8. 2. 1)による

種別	径(mm)
○ SD295	○ D 1 0 ○ D 1 3
・ SD345	
・ SD390	
・ ()	

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)

90°未満の折曲げの内法直径

・ 図示（図面番号： ）

	径	部位
重ね継手	○ D 1 6 以下	
ガス圧接	・ D 1 9 以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

○ 改修標準仕様書(8. 3. 4) (3) (7)による

・ 図示（図面番号： ）

継手位置

・ 各部配筋参考図による

・ 図示（図面番号： ）

先組み工法等

・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ

○ 改修標準仕様書(表8. 3. 4)による

・ (表8. 3. 4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法

・ 図示（図面番号： ）

機械式定着工法

適用箇所（ ）

種類（ ）

帯筋組立の形、継手及び定着

・ 図示（図面番号： ）

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

・ (40) mm

○ 図示（図面番号： A-144 ）

圧接完了後の試験

超音波探傷試験

・ 行う

・ 行わない

割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼	・ R235	・ 6Φ ・ 9Φ	スパイラルの径(mm) ()	・ 図示（図面番号： ）
	・ ()	・ ()	・ ()	スパイラルのピッチ(mm) ()	
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)	・ 295	・ 10 ・ ()	壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	

・ 機械式継手

種類 ()

性能 ()

施工完了後の継手部の試験 ()

不合格となった継手部への措置等 ()

適用箇所 ()

鉄筋相互のあき () mm

・ 溶接継手

工法 ()

性能 ()

溶接完了後の溶接部の試験 ()

不合格となった溶接部への措置等 ()

適用箇所 ()

鉄筋相互のあき () mm

コンクリートの類別

○ I 類

・ II 類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ
○ 21	壁増設部	・ 2.3t/m ³ 程度	S18
○ (21)	フェース基礎		S18

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ
・ 36	・ 1 種 ・ 2 種			
・ ()				

合板せき板を用いる場合の打直し仕上りの種別

・ A 種

・ B 種

・ C 種

コンクリートの仕上りの平たんさ

・ a 種

○ b 種

・ c 種

(コンクリート)

③

コンクリートの材料

(8.2.5)
(表8.2.3)

セメントの種類

○

普通ポルトランドセメント

・高炉セメントA種

・シリカセメントA種

・フライアッシュセメントA種

・()

・高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種適用箇所()

骨材

アルカリシリカ反応性による区分

・AL（コンクリート中のアルカリ総量を規制）

○A（安全と認められる骨材を使用）

なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回／6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。

・特殊な骨材の使用

・フェロニッケルスラグ細骨材

・銅スラグ細骨材

・電気炉酸化スラグ骨材

・再生骨材H（普通エコセメントを使用するコンクリートに限る）

④

混和材料

(8.2.5)

○

混和剤

混和剤の種類

○

改修標準仕様書(8.2.5)(4)(a)による

・図示（図面番号： ）

○

混和材

混和材の種類

○

改修標準仕様書(8.2.5)(4)(b)による

・図示（図面番号： ）

⑤

調合管理強度

(8.2.5)
(8.8.3)
(8.10.2)

構造体強度補正值(S)

・3N/mm²

・6N/mm²

○（改修工事標準仕様書8.2.4による）

6

養生

(8.7.7)

・普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間()

⑦

型枠

(8.2.7)
(8.7.8)

材料

○

複合合板（厚さ○12mm・()）

スリーブ

・材質()規格()

型枠存置期間及び取外し

・普通エコセメント使用の場合の最小存置期間()

⑧

暑中コンクリート

(8.10.2)

構造体強度補正值(S)

○

6N/mm²

・()

9

無筋コンクリート

(8.11.1)

コンクリートの種類

・普通コンクリート

・()

設計基準強度

・18N/mm²

・()

スランプ

・15cm

・18cm

・()

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)

10

コンクリートの打込み工法等

(8.21.8)
(8.23.5)

部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号： ） ・()
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号： ） ・()
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号： ） ・()
	・()	・図示（図面番号： ） ・()
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号： ） ・()
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号： ） ・()
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号： ） ・()
	・()	・図示（図面番号： ） ・()

(8.23.6)

柱頭柱脚の隙間部間の型枠

・発泡プラスチック保温材等を埋込む

・()

柱頭柱脚の隙間寸法

・図示（図面番号： ）

打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ

・図示（図面番号： ）

・60mm

・()

⑪

増設壁工事後の仕上げ

(8.21.10)
(8.23.7)

○

図示（図面番号： A-144）

8
の
5

耐震改修工事

あと施工アンカー工事

(あと施工アンカー)

① あと施工アンカーの材料
(表8.2.4)
(表8.2.2)

② あと施工アンカーの施工
(8.12.4)
(8.12.6)
(8.12.7)

(場所打ちコンクリート壁の増設工事)

3 シアコネクタ

種類

・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型)
径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号 :)
引張耐力 ・ 図示 (図面番号 :)
せん断耐力 ・ 図示 (図面番号 :)
接合防の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号 :)

○ 接着系 アンカーの種類 ○ カプセル型回転・打撃式 ・ ()
接着剤の品質 ・ 有機系 ○ 無機系
径及び埋込み長さ ○ 図示 (図面番号 : A-144)
引張耐力 ・ 図示 (図面番号 :)
せん断耐力 ・ 図示 (図面番号 :)
アンカー筋の種類 ○ 図示 (図面番号 : A-144)
アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号 :)
あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ○ 行わない

穿孔
埋込み配管等の探索の方法
○ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
・ はつり出しによる。
・ ()

あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ○ 実施しない
試験方法 ・ 引張試験機による引張試験 ・ ()
1ロットの単位 ・ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ ()
試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本(無作為) ・ ()
確認強度 ・ ()

場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ
種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
径[mm] ・ D10
長さ[mm] ・ 増打壁厚－40 ・ ()
彫込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ・ ()
間隔[mm] ・ 500×500

シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()

8
の
6

耐震改修工事

鉄骨工事

1 鉄骨製作工場
(8.1.5)

2 鉄骨製作工場における
施工管理技術者
(8.1.6)

3 鋼材
(8.2.8)

4 高力ボルト
(8.2.9)
(8.14.2)
(8.14.7)

5 溶接材料
(8.2.10)

6 仮組
(8.13.10)

7 溶接作業を行う
技能資格者
(8.15.3)

8 溶接の準備
(8.15.4)

9 溶接施工
(8.15.7)

10 溶接部の試験
(8.15.12)

㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・ J ・ R ・ M ・ H ・ S

施工管理技術者（鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等）の配置
・ しない ・ する

種類・形状及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）

高力ボルトの適用
・ トルシナ形高力ボルト2種（S10T）
・ JIS形高力ボルト2種（F10T）
・ 熔融亜鉛めっき高力ボルト1種（F8T相当）

ねじの呼び
・ 図示（図面番号： ）

すべり試験
・ 行う（試験方法等 図示：図面番号 ）

JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量
・ ()

・ 改修標準仕様書(8.2.10)(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・ 図示（図面番号： ）

仮組の実施
・ 実施する() ・ 実施しない

溶接作業における技能資格者の技量付加試験
・ 実施する() ・ 実施しない

開先の形状 ・ 図示（図面番号： ）

鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ）
切断面の仕上げ ・ ()

鋼製エンドタブに代わるその他の工法
鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ（セラミックタブ又はフラックスタブ）を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。
１．相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。
２．製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習修了者（溶接技能者・A級以上）又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・ 低応力高サイクル疲労を受けける部位 図示（図面番号： ）

スカラップの形状 ・ 図示（図面番号： ）

溶接部の外観試験 ・ 試験方法（ ） ・ 確認方法（ ）

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
工場溶接の場合
・ 全数試験とする
・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(イ)による。
平均出良品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ ()
検査水準 ・ 第6水準 ・ ()
ロットの構成 ()

工事現場溶接の場合
・ 全数試験とする
・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(イ)による。
平均出良品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ ()

	1 1鉄骨の錆止め塗装 (8.17.2) (8.17.4) ・改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) ()種 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示(図面番号:) ・改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) ()種 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示(図面番号:)	部位 種類 材料・工法 耐火性能
8の7 耐震改修工事 グラウト工事	(グラウト工事) 1モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.12) (表8.2.5) (表8.2.10) ・改修標準仕様書(8.2.12)(1)による () グラウト材 ・改修標準仕様書(8.2.12)(2)による。 (現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等) 増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造物との隙間の処置方法 部位 処理方法 備考 ・増設壁の上部 ・グラウト材を注入 ・寸法は図示による ・() ・() ・() 2既存構造物との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)	
8の8 耐震改修工事 柱補強工事	(連続繊維補強工事) 1連続繊維シート等による工法 (8.24.1) 連続繊維の材料 ・() 工法 ・() 引張強度(含浸硬化後) ・() ヤング係数(含浸硬化後) ・() 2連続繊維シートの施工準備 仕上げモルタルの除去 ・既存構造躯体面まで除去する ・モルタル除去は行わない ・() 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法 4銅板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6) 柱頭柱脚の隙間寸法 ・図示(図面番号:) 5耐震補強後の仕上げ (8.23.7) (8.24.7) ・図示(図面番号:) 6炭素繊維シートの施工 炭素繊維の目付量 ・図示(図面番号:) ・200g/m² ・300g/m² ・() 炭素繊維シートの巻き数 ・図示(図面番号:) ・1巻き ・2巻き ・() 7連続繊維補強材の強度試験 (8.24.6) 引張強度試験 ・実施する(JIS A1191に準拠する) ・試験数量() ・実施しない 付着強度試験 ・実施する(JIS A6909に準拠する) ・試験数量() ・実施しない	

8
の
9

耐震補強工事

スリット新設工事

免震改修工事

制振改修工事

(耐震スリット新設工事)

1 スリットの種類
(8. 25. 1)
(8. 25. 2)

耐震スリットの種類及び形状
完全スリットの形状

	一般型	一面せん断型	
記号			
形状	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	
幅W（mm）	・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）	・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）	
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ （ ）	・ 切断してよい ・ （ ）	

部分スリットの形状

	片側スリット	両面スリット	
記号			
形状	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	
幅W（mm）	・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）	・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）	
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	
ts（mm）	・ （ ）	・ （ ）	
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ （ ）	・ 存置する ・ 切断してよい	

2 スリットの施工

スリット部の配管等の調査

範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
 ・ 図示（図面番号： ）
 ・ （ ）

方法 ・ 鉄筋探査機（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

スリットの逃げ位置

壁上部部 ・ 梁との接合部 ・ （ ）

壁の柱きわ部 ・ 柱の仕上げを逃げたきわ部 ・ （ ）

壁下部部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ・ （ ）

撤去部の修繕

・ 図示（図面番号： ）

充填材

・ 耐火材 使用箇所（ ） 仕様（ ）

・ 遮音材 使用箇所（ ） 仕様（ ）

3 免震・制振改修
(8. 26. 1)～
(8. 27. 9)

免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。

8
の
10

その他工事

1 土工事
(8. 28. 2)
(8. 28. 3)

既存杭の撤去

・ 図示（図面番号： ）

埋戻し及び盛土の材料及び工法

・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種

建設発生土の処理

・ 処分地指定 処分地（ ）

○ 処分地未定につき相互協議する。

暫定運搬距離 ・ 8km ○ 4km ・ （ ）

山留めの撤去

・ 撤去（鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 直ちに砂で充填する ・ （ ））

・ 存置

2 地業工事
(8. 28. 4)

杭の施工監理

杭工事特記仕様書による。

適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。

国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。

保管期間は契約書第3 1条第4項又は第5項（第3 8条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から1 0年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験掘

・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示（図面番号： ）による。

・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示（図面番号： ）による。

杭の支持層

支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

水平方向の位置ずれの精度

・ （ ）mm以下

杭の載荷試験

試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ （ ）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

位置 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ ）kN

報告書 ・ 提出部数 2部

環境配慮改修工事

地盤の載荷試験
試験方法 ・ 平板載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部
杭地業の工法、寸法
・ 図示(図面番号:)
杭頭処置
・ 行う ・ 行わない
砂利及び砂地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 60 ・ ()
捨てコンクリート地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 50 ・ ()

⑨

①

石綿含有建材の除去工事
(9.1.1)

①

石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
①	測定 2		・ 調査対象室外部の付近 ① 処理作業室外(敷地境界)	計 4 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排気出し口 以下位置	計 点
①	測定 5	処理作業後 (シート養生中)	① 処理作業室外(敷地境界)	計 4 点
①	測定 6		・ 処理作業室内 ① 処理作業室外(敷地境界)	計 4 点
・	測定 7	処理作業後シート除去後1週間以降	処理作業室内	計 点
・	測定 8		調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	① 10 ・ ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	① 240 ・ ()

(9.1.3)

・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.4)

・ 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ()
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.5)

① 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ① 図示(図面番号: A-19)
石綿含有せっこうボードの処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
① 埋立処分(安定型最終処分場) ① 中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.6)

① 石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ① 図示(図面番号: A-46、A-48)
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
① 埋立処分(安定型最終処分場) ① 中間処理(熔融又は無害化による)
※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。
① 除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

2

断熱アスファルト防水改修工事
(9.2.1)~
(9.2.3)

3

外断熱改修工事
(9.3.2)

4

断熱・防露改修工事
(9.5.2)

5

屋上緑化改修工事
(9.6.1)
(9.6.2)
(9.6.3)

改修特記仕様書3章による

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所
・ 図示(図面番号:) ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3)

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

(9.3.4)

工法
通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない
不陸等の下地調整 ・ 行う

・ 断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(9.5.3)

・ 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ ()
厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ ()
施工箇所 ・ 図示(図面番号:)

・ 現場発泡断熱材
(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による
(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4)

・ 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ ()	・ 有	・ 無

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・ 適用する ・ 適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない
かん水装置 ・ 設置する(種類 ・ ・)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6

透水性アスファルト舗装改修工事
(9.5.2)~
(9.5.7)
(9.5.9)

既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ[mm]
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰(・特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・特号 ・ 1号)
添加量(kg/m2) (目標CBR ・ 5以上 ・)
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()
厚さ[mm] ・ 0.5~1.0 ・ ()
引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・ ()
透水係数 ・ 1.5×10⁻²~1cm/sec 以上 ・ ()

試験
路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ ()
路盤材料 ・ 再生材のクラッシャーラン
・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・ 図示(図面番号:)
・ ()

試験
路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号:) ・ ()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()

設計
監理

類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2025. 2. 21.

変更・訂正

・ ・ ・

・ ・ ・

・ ・ ・

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺

建築工事特記仕様書7(改修) ・ S=NS

・

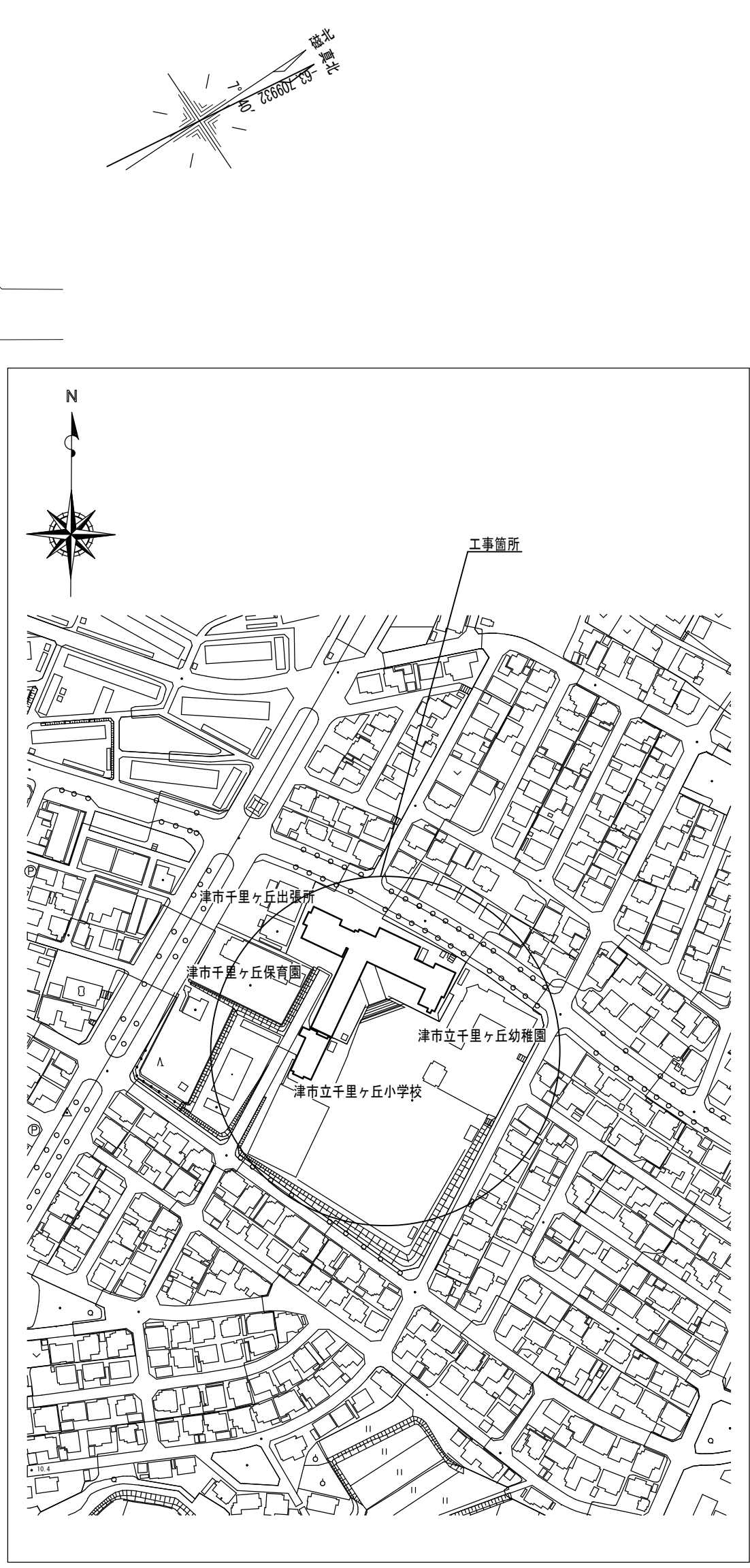
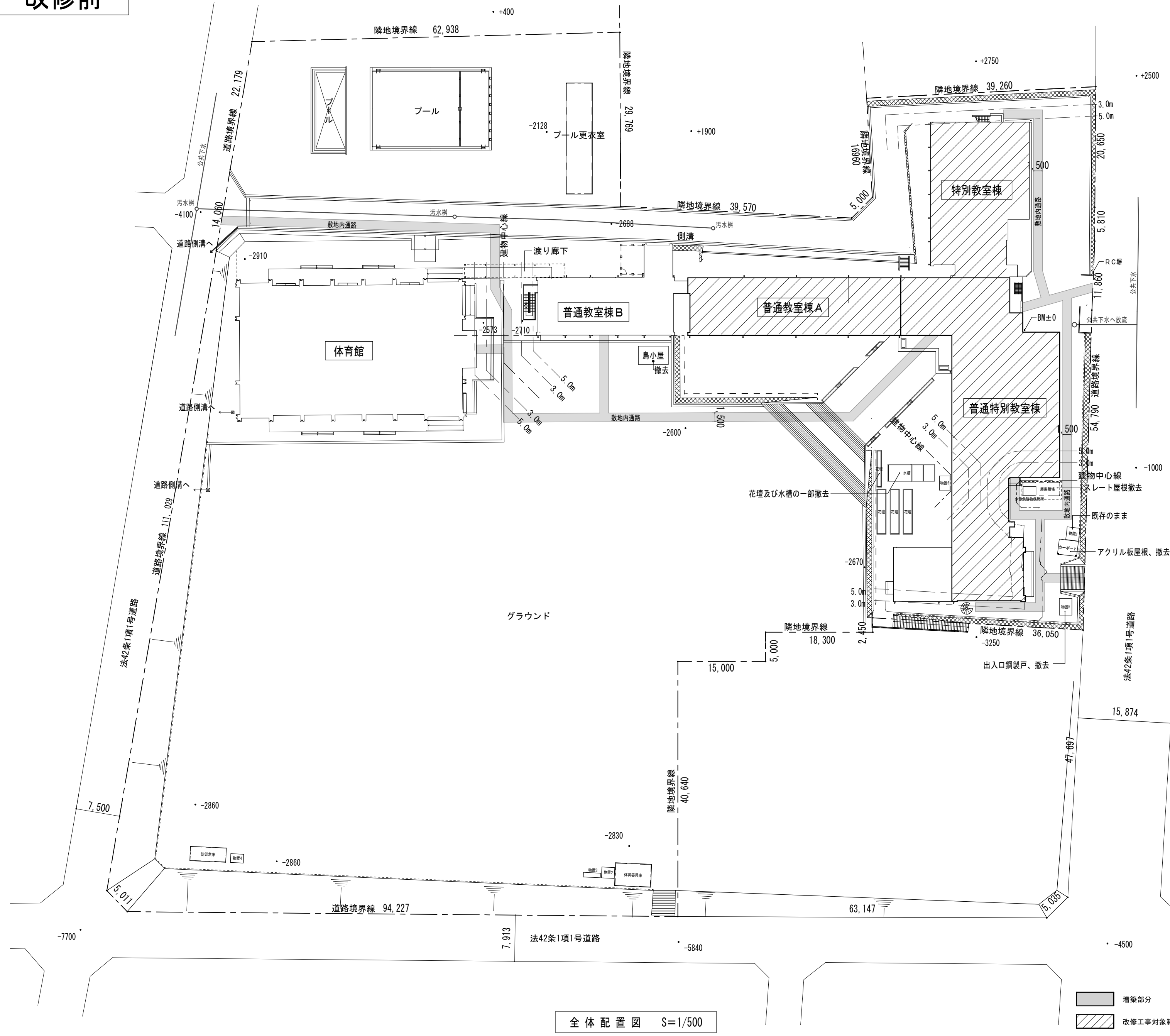
・

図面 No

A-015

原因: A 2

改修前



全 体 配 置 図 S=1/500

付近見取図



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

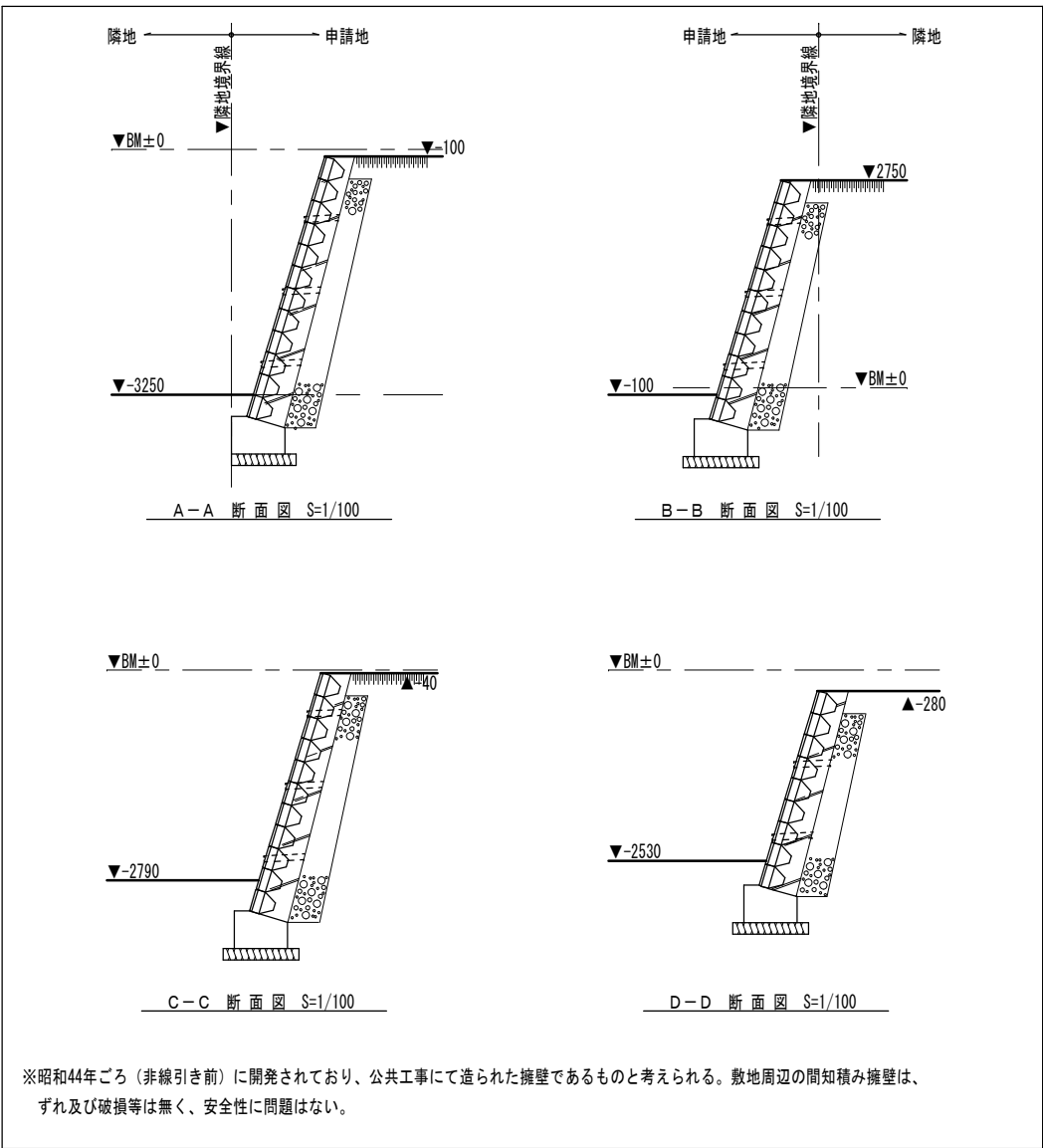
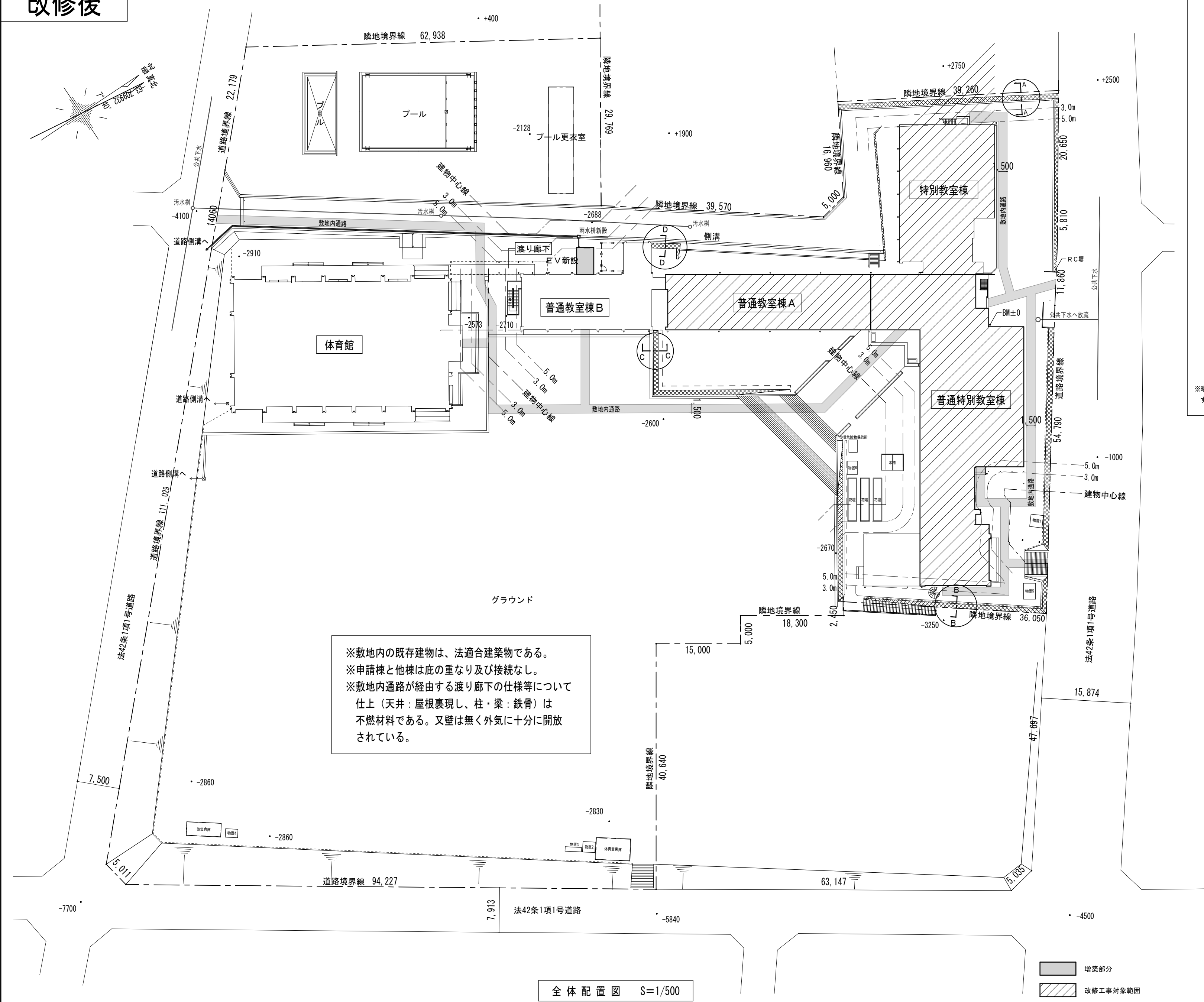
一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.
管理建築士	設計者			変更・訂正
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

設計番号 No.	備考
津市立千ヶ丘小学校長寿命化改修工事	

図面名称	縮尺
全体配置図 (改修前)	S=1/500 (A3: 1/705)
付近見取図	S=NS

図面 No.	A-016
原因: A 2	

改修後



※昭和44年ごろ（非線引き前）に開発されており、公共工事にて造られた擁壁であるものと考えられる。敷地周辺の間接積み擁壁は、ずれ及び破損等は無く、安全性に問題はない。

設 計 概 要					外 部 仕 上 表【増 築 部】					主 要 構 造 部 (増 築 部)										
工 事 名 称		津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事			部 位		仕 上			部 位		仕 上			部 位		使 用 材 料		認 定	
工 事 場 所		津市河芸町千里ヶ丘13番			屋 根	平場：ウレタン塗膜防水 通気暖衛工法 (X-1) 遮熱仕様 (フッ素)			外 壁		ALC-厚100 複層塗材 E吹付 (フッ素)			屋 根	合成スラブ用デッキプレート 71.2		FP060FL-0100			
用 途 地 域		第一種低層住居専用地域				立上り：ウレタン塗膜防水新設 密着工法 (X-2) 遮熱仕様 (フッ素)			EXP. J		アルミ製 (1時間耐火仕様)				デッキ高 50 コンクリート 厚80					
防 火 地 域		指定なし				合成スラブデッキプレート 厚1.2 溶接金網：6φ-100×100			根廻り		コンクリート打放し補修 誘発目地@3000				溶接金網：6φ-100×100					
そ の 他		22条区域				コンクリート金コテ押え 厚80+50								外壁	非耐力壁	ALC-厚100	平12建告1399号第1 ト			
						アルミ笠木 W：350 (コーナー共)								床	合成スラブ用デッキプレート 厚1.2		FP060FL-0100			
敷 地 面 積					オーバーフロー管 (塩ビ製 φ40) 2箇所								デッキ高 50 コンクリート 厚80							
建 築 面 積		面積図参照			樋	鋳鉄製横引ドレン φ100用								柱	鉄骨柱 ロックウール吹付 厚25		FP060CN-9460			
						縦 樋 ：硬質塩化ビニル製 (カラー) φ100									溶接金網：6φ-100×100					
延 べ 面 積						掃除口 ：硬質塩化ビニル製 (カラー) φ100								梁	鉄骨梁 ロックウール吹付 厚25		FP060BM-9408			
						掴み金物：S U S製@1200														

内 部 仕 上 表【増 築 部】																			
	階	内装制限	室 名	床			巾 木			壁			天 井			廻縁	天井高さ	室名札	備 考
				記号	下地	仕上	記号	仕上	高さ	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上				
E V棟	各階	準	E Vホール	B1Fのみ モルタル金こて押え 他階 セルフレベリング	ビニル床シート厚2.0張り	ビニル巾木	100		LGS下地	PB-12.5 EP塗		LGS下地	化粧PB-9.5張り	塩ビ	2500				
										既設モルタル、下地調整（RB種）の上 EP塗									
										耐火中空二重壁 EP塗									
			E Vシャフト	コンクリート金こて押え	ケイ酸質系塗布防水塗（C-U1）	ケイ酸質系塗布防水塗（C-U1）				ALC-厚100 現し 耐火中空二重壁 現し		――	デッキ現し	――	――	――			

【特 記 事 項】	【シックハウス対応策】	【仕上記号略号】			【耐火認定番号】			【内装制限凡例】	
・壁ボード張り部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 (寒冷紗・ジョイントテープ張り処理)	・仕様建材：F☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）	記号	J I S 番号		P B 厚12.5	: NM-8619	<不燃>	Ⓐ 仕上、下地共不燃材	
・ボード類 壁コーナー処理は特記なき限りコーナー保護金物の上 ジョイントコンパウンド塗とする。	・内部塗料は、F☆☆☆☆品	E P	K5663	合成樹脂エマルジョンペイント	塗料一般（E P）	: NM-8585	<不燃>	Ⓐ 仕上不燃材	
・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルム厚0.15敷き タテ、ヨコ重ね部分 L=200以上とする。	・クロルピリボス使用なし	O P	K5658	耐候性塗料	化粧 P B 厚9.5	: QM-0524	<準不燃>	Ⓑ 仕上、下地共準不燃材 以上	
・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。								Ⓑ 仕上準不燃材 以上	
・使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用する事。		【記号略号】						Ⓒ 仕上難燃材 以上	
・E V棟に石綿・ホルムアルデヒドの使用はないものとする。		記号	名称		【認定番号】				
		P B	石膏ボード		耐火中空二重壁 L G S 下地 強化 P B 厚21+強化 P B 厚21（両面）			耐火構造 FP060NP-0197	
		L G S	軽量鉄骨下地						

外 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】												
部 位			仕 上			部 位		仕 上				
屋 上	改修前	平 場：アスファルト防水 撤去（アスベスト含有） 脱気筒撤去、目地材撤去、既設ドレン撤去	シーリング 防水	改修前	建具周囲シーリング 撤去			縦樋	改修前	縦樋：硬質塩ビ管 φ100 撤去 養生管：φ125 撤去 縦樋：硬質塩ビ管 φ114 撤去 飾り柵：塩ビ製 撤去		
		改修後		建具周囲シーリング MS-2 新設			改修後		縦樋：硬質塩ビ管 φ100 新設 飾り柵：塩ビ製 新設			
		立上り：側溝・笠木：既設アスファルト防水（アスベスト含有）及びシート防水 撤去 脱気筒撤去 パラペット部：塗布防水	玄関庇	改修前	平 場：ウレタン塗膜防水 立上り：ウレタン塗膜防水 軒裏：銅板製スバンドレル			建具	改修前	アルミ製建具（外部サッシ）		
	改修後	平 場：高圧洗浄、ケレン清掃の上、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） 立上り：高圧洗浄、ケレン清掃の上、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） 軒裏：下地処理ＲＢ種の上 ＤＰ塗り			改修後	清掃の上飛散防止フィルム貼り 新設 一部、カバー工法による改修（一般サッシ及び防火設備）						
	立上り：ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） ケレン清掃の上、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水 パラペット部：高圧洗浄、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメント ノロ引き、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）	庇		改修前	吹付タイル			タラップ	改修前	ＯＰ塗り		
	改修後		高圧洗浄、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメント ノロ引き ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）			改修後	下地処理ＲＢ種の上 ＤＰ塗り					
屋 上 （平屋部）	改修前	平 場：既設シート防水（平面：断熱工法） 撤去 断熱材撤去、既設ドレン撤去	外壁	改修前	外壁：モルタル塗りの上、吹付タイル 外壁：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有） 腰壁：カラコンモザイクタイル貼り 鉄板巻き補強部：ポリウレタンエナメル塗装（2-U E）			屋外階段 （螺旋階段）	改修前	塗装仕上		
		改修後			高圧洗浄、下地調整塗材（0-1）の上、複層塗材E吹付（フッ素系） 湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（0-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系） 腰壁：カラコンモザイクタイル貼り【既存のまま】 鉄板面：下地処理ＲＢ種の上、ＤＰ塗装				改修後	下地処理ＲＢ種の上 ＤＰ塗り		
		立上り：既設シート防水 撤去 押え金物撤去 パラペット部：防水モルタル			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材（0-1）の上、外装薄塗材E吹付 湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（0-2）の上、外装薄塗材E吹付						
	平 場：ウレタン塗膜防水新設（断熱機械固定工法 X-1工法） ケレン清掃、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水 ドレン廻り補修、改修用ドレン設置、脱気筒設置、平場端末押え金物設置	軒裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付（アスベスト含有）			改修後					
	立上り：ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） ケレン清掃の上、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水 パラペット部：高圧洗浄、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメント ノロ引き、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材（0-1）の上、外装薄塗材E吹付 湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（0-2）の上、外装薄塗材E吹付								
	平 場：アスファルト防水 撤去（アスベスト含有） 脱気筒撤去、目地材撤去、既設ドレン撤去		巾木	改修前	モルタル塗りこて押え			改修後	水洗い			
立上り・側溝・笠木：既設アスファルト防水（アスベスト含有）及びシート防水 撤去 押え金物撤去												
平 場：ウレタン塗膜防水新設（通気緩衝工法 X-1工法） ケレン清掃、伸縮目地ガラス発砲骨材入り樹脂モルタル充填、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水、 ドレン廻り補修、改修用ドレン設置、脱気筒設置												
屋 上 （ベントウス）	改修後	立上り：ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） ケレン清掃の上、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水										

内 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】													
	階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考
特別普通教室棟	1	玄関ホール	改修前	長尺シート貼り	人研ぎ	100	――	――	モルタル 金こて仕上 E P 塗り	化粧PB-9.5 張り	塩ビ	3000	
									タイル貼り	モルタル 金こて仕上 E P 塗り			
			改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	――	――	――	モルタル面：下地処理ＲＢ種の上 E P 塗り	化粧PB-9.5 張り【既設のまま】	【既設のまま】	――	
									タイル貼り【既設のまま】	モルタル面：下地処理ＲＣ種の上 E P 塗り			
		昇降口	改修前	長尺シート貼り	モルタル E P 塗り	100	――	――	――	モルタル 金こて仕上 E P 塗り	石綿セメント板 厚5 目透かし張りE P 塗り	塩ビ	3000 ～ 3150
					人研ぎ								
改修後	【既設のまま】		モルタル面：下地処理ＲＢ種の上 E P 塗り	――	――	――	下地処理ＲＢ種の上 E P 塗り	下地処理ＲＣ種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――			
			人研ぎ【既設のまま】										

内 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】														
	階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考	
特別普通教室棟	1 2 3 P H	階段室B	改修前	踏面：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 蹴上げ：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	100	モルタル塗りV P	――	モルタル塗りV P	天井面：モルタル塗り E P 塗 ----- 段 裏：モルタル塗りE P 塗	――	――		
			改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	天井面：【既存のまま】 ----- 段 裏：下地処理R B種の上 E P 塗	――	――		掲示板 脱着
		階段室C	改修前	踏面：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 蹴上げ：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	100	モルタル塗りV P	――	モルタル塗りV P	天井面：P B 厚9 目透かし張り E P 塗 ----- 段 裏：モルタル塗りE P 塗	塩ビ	――		
			改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	天井面：下地処理R B種の上 E P 塗 ----- 段 裏：下地処理R B種の上 E P 塗	【既設のまま】 ――	――		掃除入れ 脱着
	普通教室棟 A	1	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 SOP 塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りV P	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り	P B 厚9 目透かし張り E P 塗	塩ビ	2480	人研ぎ手洗い（ステンレス巻き）撤去
								[窓側] R C下地、モルタル塗りV P		[窓側] R C下地、プラスター塗り 柱部：鉄板巻き SOP				
改修後				【既設のまま】	木部：下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	[教室側] 下地処理R B種の上 E P 塗り	――	[教室側] プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り 鉄板面：下地処理R B種の上 E P－G 塗り	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――	掲示板 シート張替え ステンレス製手洗い 新設	
							[窓側] 下地処理R B種の上 E P 塗り		[窓側] プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り					
教室（あゆみ1）			改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P ----- スチールパーティション	1500	ラスボード下地、プラスター塗り ----- スチールパーティション	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920		
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	――	プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――		
教室（あゆみ2）			改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P ----- スチールパーティション	1500	ラスボード下地、プラスター塗り ----- スチールパーティション	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920		
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	――	プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――		
教室（あゆみ3）			改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P ----- スチールパーティション	1500	ラスボード下地、プラスター塗り ----- スチールパーティション	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920		
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	――	プラスター面：下地処理R B種の上 ----- パーティション：【既設のまま】	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――		
教室（あゆみ4）			改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P ----- スチールパーティション	1500	ラスボード下地、プラスター塗り ----- スチールパーティション	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920		
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	――	プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――		
教室（1－3）			改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920		
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――		

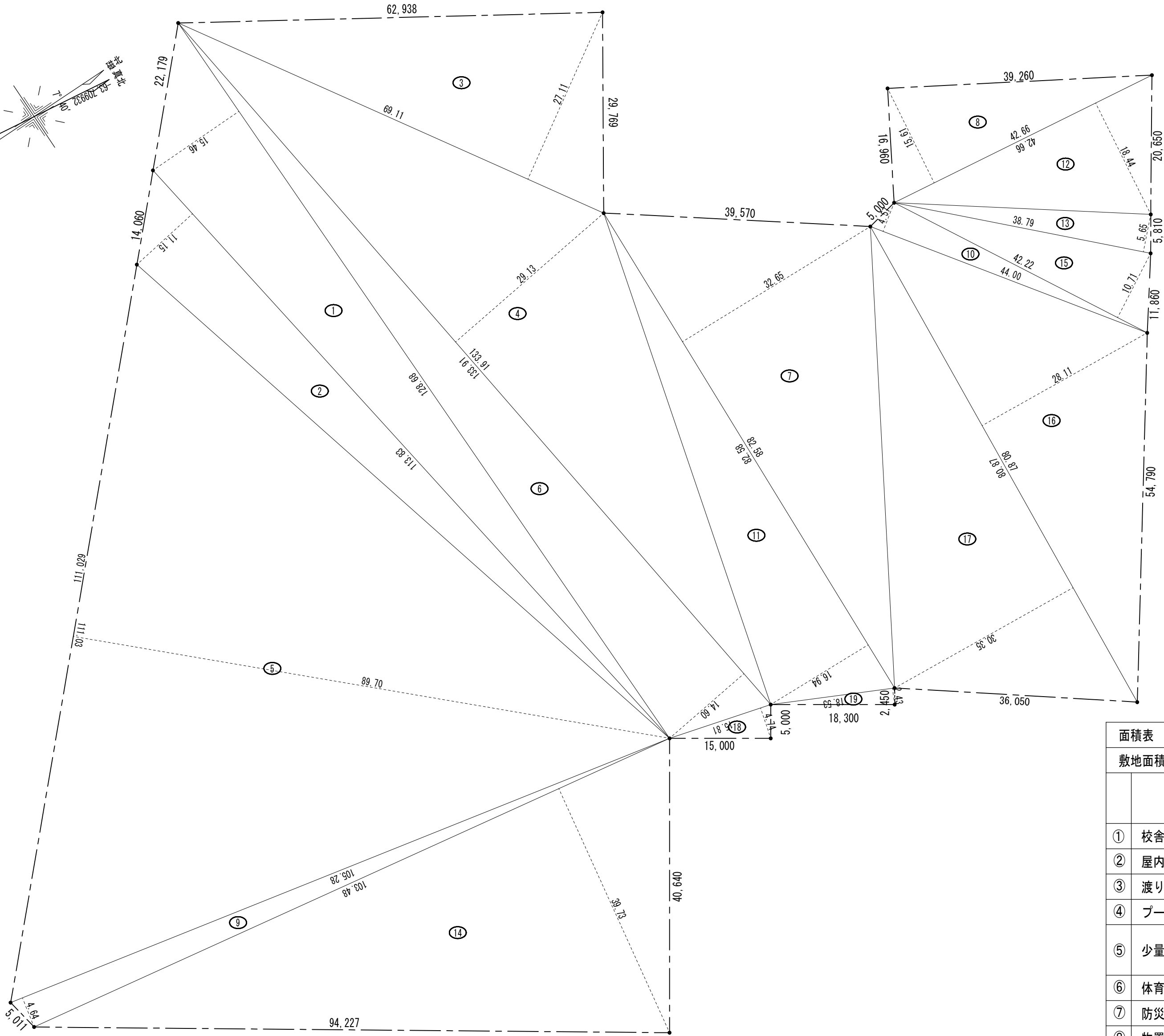
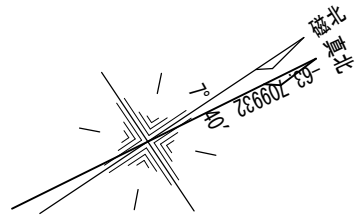
 設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所 〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No.	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	備考	図面名称	縮尺	図面 No A-021 原因：A 2
	管理建築士	設計者			変更・訂正 . . .				改修前・改修後 仕上表3（改修部）・	S-NS	
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			-----				.	.	
					-----				.	.	
					-----				.	.	

内 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】													
	階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考
普通教室棟 A	2	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 SOP塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り	PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2480	人研ぎ手洗い（ステンレス巻き）撤去
							[窓側] RC下地、モルタル塗りVP		[窓側] RC下地、プラスター塗り				
			改修後	【既設のまま】	木部：下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り	――	[教室側] 下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	掲示板 シート張替え ステンレス製手洗い 新設
							[窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り		[窓側] 下地処理RB種の上、EP塗り				
		教室（2-2）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	
		教室（2-1）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	
		教室（あゆみ6）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	掲示板 シート張替え
		教室（3-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	掲示板 シート張替え
	3	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 SOP塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り	PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2480	人研ぎ手洗い（ステンレス巻き）撤去
							[窓側] RC下地、モルタル塗りVP		[窓側] RC下地、プラスター塗り 柱部：鉄板巻き SOP				
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	100	[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り	――	[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	2480	掲示板 シート張替え ステンレス製手洗い 新設
							[窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り		[窓側] プラスター面：下地処理RB種の上 EP塗り 鉄板面：下地処理RB種の上 EP-G塗り				
		教室（4-2）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	
		教室（4-1）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	掲示板 シート張替え
		教室（5-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	掲示板 シート張替え

	設計 監理	類 建 築 設 計 事 務 所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	備考	図面名称 縮尺		図面 No A-022 原図：A 2		
			管理建築士	設計者							変更・訂正 . . .	改修前・改修後 仕上表4（改修部）・ S=NS			
			一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛								.			
												.			
			〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754												

内 部 仕 上 表【E V 棟 増 築 に よ る 既 設 改 修 部】														
	階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考	
普通教室棟B	B 1	ピロティ	改修前	土間コンクリート厚120	――	――	――	――	壁・柱：モルタル塗りの上、複層塗材 E	スラブ・梁：コンクリート打放しの上、複層塗材 E	――			
			改修後	一部土間研り、グレーチング設置の上 モルタル補修	――	――	――	――	【既設のまま】	【既設のまま】	――			
	1	廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 OP 塗り	100	――	――	モルタル塗り V P ラワン合板厚12＋有孔合板厚4張り SOP 塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	2500	収納家具 撤去	
			改修後	【既設のまま】 E V 棟増築よる壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	【既設のまま】 E V 棟増築よる木製家具撤去に伴い、一部新設	―― 100	――	――	【既設のまま】 E V 棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い 柱型部モルタル補修の上、E P 塗り	【既設のまま】 E V 棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	【既設のまま】 塩ビ製撤去 塩ビ製新設	――	SUS製手洗い移設 収納家具（教室1年 1 組、1年2組）新設	
	2	廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 OP 塗り	100	――	――	モルタル塗り V P ラワン合板厚12＋有孔合板厚5.5張り SOP 塗り ラワン合板厚12＋シナ合板厚4張り SOP 塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	3040 ～ 2680	収納家具 撤去	
			改修後	【既設のまま】 E V 棟増築よる壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	【既設のまま】 E V 棟増築よる木製家具撤去に伴い、一部新設	―― 100	――	――	【既設のまま】 E V 棟増築による腰壁・垂壁及び建具撤去に伴い 一部撤去、柱型部モルタル補修の上、E P 塗り	【既設のまま】 E V 棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	【既設のまま】 塩ビ製撤去 塩ビ製新設	――	SUS製手洗い移設 緩降機移設 収納家具（教室3年 1 組、3年2組）新設	
	3	廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 OP 塗り	100	――	――	モルタル塗り V P ラワン合板厚12＋有孔合板厚5.5張り SOP 塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	2500	収納家具 撤去	
			改修後	【既設のまま】 E V 棟増築よる壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	【既設のまま】 E V 棟増築よる木製家具撤去に伴い、一部新設	―― 100	――	――	【既設のまま】 E V 棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い 一部撤去、柱型部モルタル補修の上、E P 塗り	【既設のまま】 E V 棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	【既設のまま】 塩ビ製撤去 塩ビ製新設	――	SUS製手洗い移設 緩降機移設 収納家具（教室5年 1 組、5年2組）新設	

 設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所 〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754 <tr><td colspan="4">一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号</td><td>製図年月日 2024. 5. 20.</td><td rowspan="5">設計番号 No 津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事</td><td rowspan="5">備考</td><td>図面名称</td><td>縮尺</td><td rowspan="5">図面 No A-023 原図：A 2</td></tr> <tr><td>管理建築士</td><td>設計者</td><td></td><td></td><td></td><td>変更・訂正 . . .</td><td>改修前・改修後 仕上表5（改修部）・</td><td>S=NS</td></tr> <tr><td>一級建築士 第306854号 田中 召剛</td><td>一級建築士 第306854号 田中 召剛</td><td></td><td></td><td></td><td>.....</td><td>.</td><td>.</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>.....</td><td>.</td><td>.</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>.....</td><td>.</td><td>.</td></tr>	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No 津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	備考	図面名称	縮尺	図面 No A-023 原図：A 2	管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	改修前・改修後 仕上表5（改修部）・	S=NS	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛					.	.							.	.							.	.
	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.			設計番号 No 津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	備考		図面名称	縮尺	図面 No A-023 原図：A 2																													
	管理建築士	設計者									変更・訂正 . . .	改修前・改修後 仕上表5（改修部）・		S=NS																												
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛										.		.																												
												.		.																												
						.	.																																			



敷地求積図 S=1/500

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	128.68	15.46	1,989.3928	994.69640
2	113.83	11.15	1,269.2045	634.60225
3	69.11	27.11	1,873.5721	936.78605
4	133.91	29.13	3,900.7983	1,950.39915
5	111.03	89.70	9,959.3910	4,979.69550
6	133.91	14.60	1,955.0860	977.54300
7	82.58	32.65	2,696.2370	1,348.11850
8	42.66	15.61	665.9226	332.96130
9	105.28	4.64	488.4992	244.24960
10	44.00	4.57	201.0800	100.54000
11	82.58	16.94	1,398.9052	699.45260
12	42.66	18.44	786.6504	393.32520
13	38.79	5.65	219.1635	109.58175
14	103.48	39.73	4,111.2604	2,055.63020
15	42.22	10.71	452.1762	226.08810
16	80.87	28.11	2,273.2557	1,136.62785
17	80.87	30.35	2,454.4045	1,227.20225
18	15.81	4.74	74.9394	37.46970
19	18.53	2.43	45.0279	22.51395
合 計				18,407.48335
敷地面積				18,407.48 m ²

面積表								単位: m ²
敷地面積								18,407.48
	棟名	構造	建築面積			床面積		
			既存部分	増築部分	合計	既存部分	増築部分	合計
①	校舎	RC造3F+PH	2,076.16	13.06	2,089.22	5,328.42	56.48	5,384.90
②	屋内運動場	RC造2F	1,120.24	0.00	1,120.24	1,174.10	0.00	1,174.10
③	渡り廊下	S造1F	41.04	0.00	41.04	0.00	0.00	0.00
④	プール更衣室	CB造1F	81.99	0.00	81.99	81.99	0.00	81.99
⑤	少量危険物保管所	S造1F	3.30	0.00	3.30	3.30	0.00	3.30
⑥	体育器具庫	S造1F	32.98	0.00	32.98	32.98	0.00	32.98
⑦	防災倉庫	S造1F	14.31	0.00	14.31	14.31	0.00	14.31
⑧	物置1	S造1F	4.84	0.00	4.84	4.84	0.00	4.84
⑨	物置2	S造1F	4.07	0.00	4.07	4.07	0.00	4.07
⑩	物置3	S造1F	2.32	0.00	2.32	2.32	0.00	2.32
⑪	物置4	S造1F	3.30	0.00	3.30	3.30	0.00	3.30
⑫	物置5	CB造1F	5.36	0.00	5.36	5.36	0.00	5.36
⑬	物置6	S造1F	4.32	0.00	4.32	4.32	0.00	4.32
合計			3,394.23	13.06	3,407.29	6,659.31	56.48	6,715.79



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正			

設計番号 N o

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

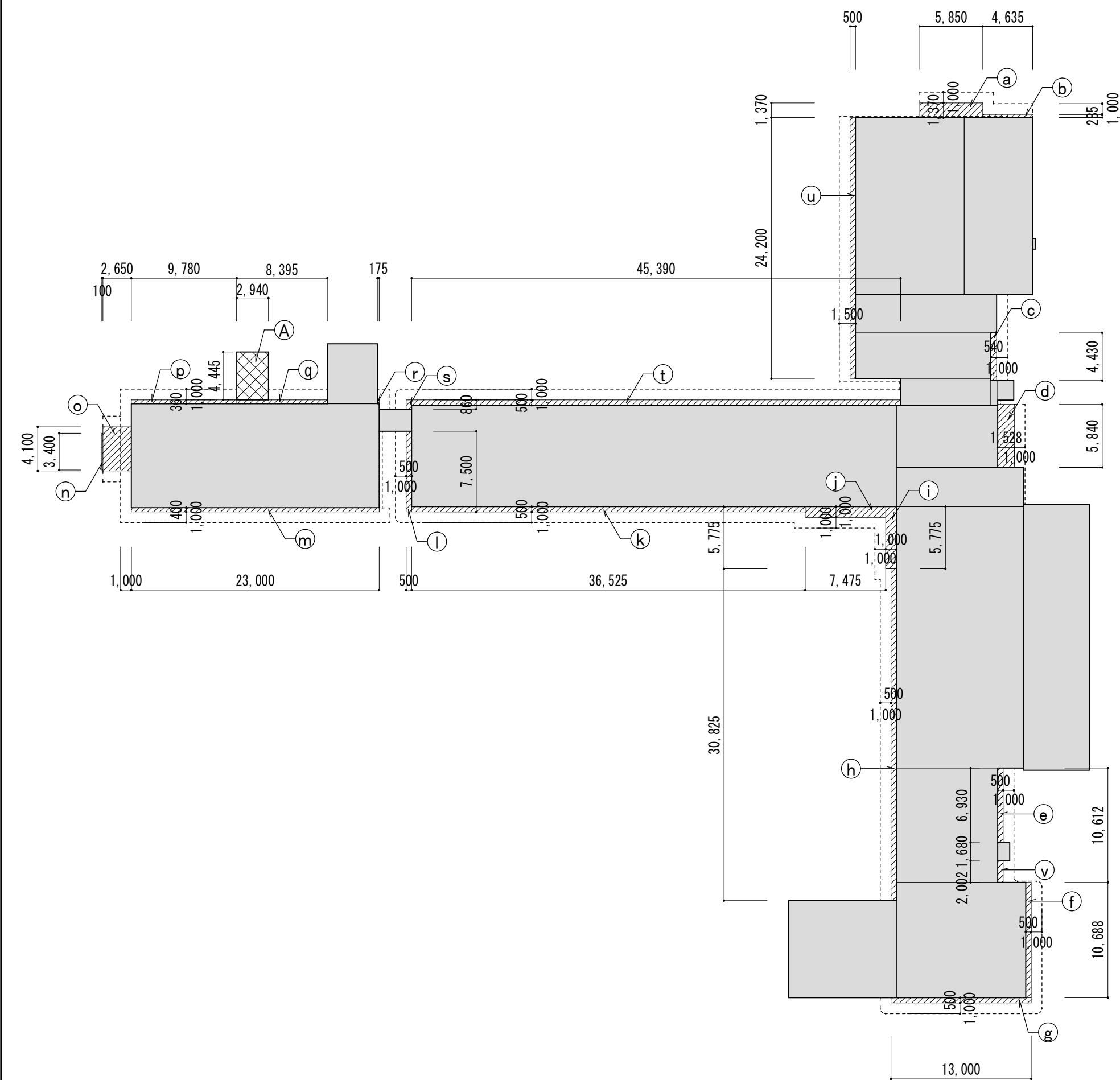
図面名称 縮尺

敷地面積求積図	S=1/500 (A3:1/705)
敷地面積計算表	S=NS
敷地内建物面積表	S=NS

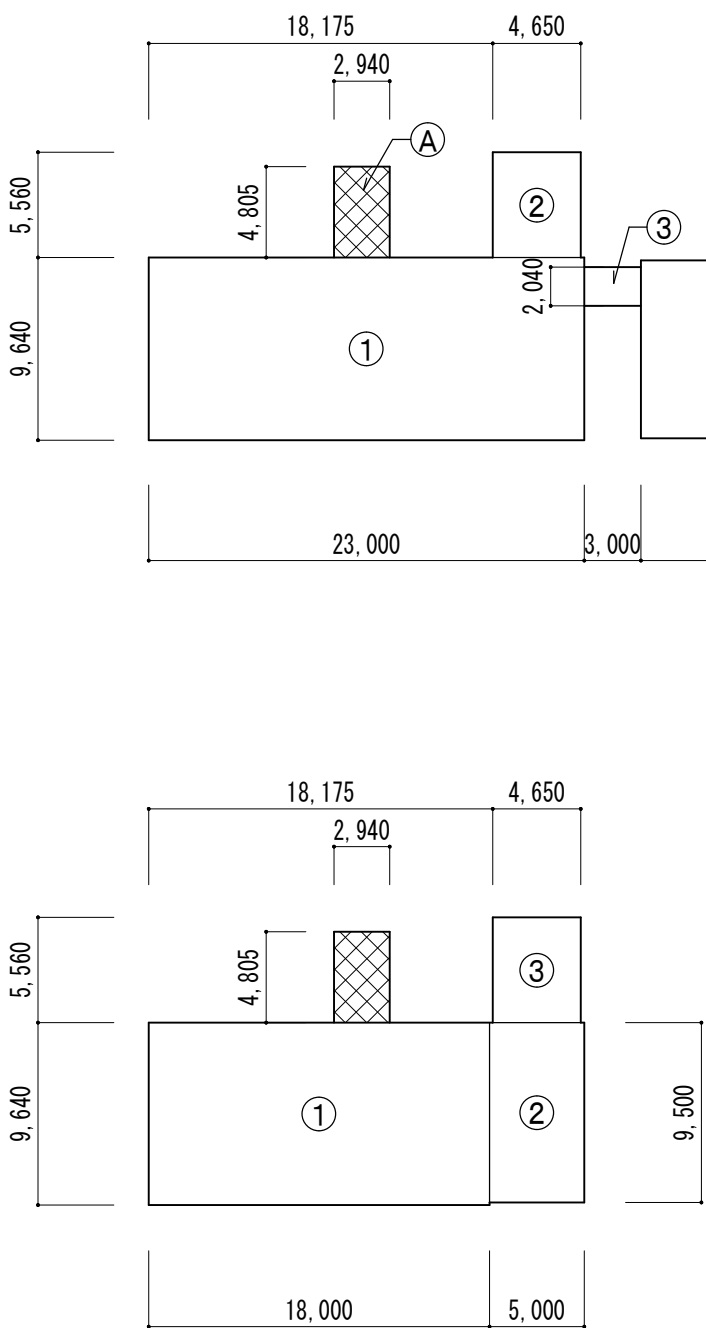
図面 No

A-024

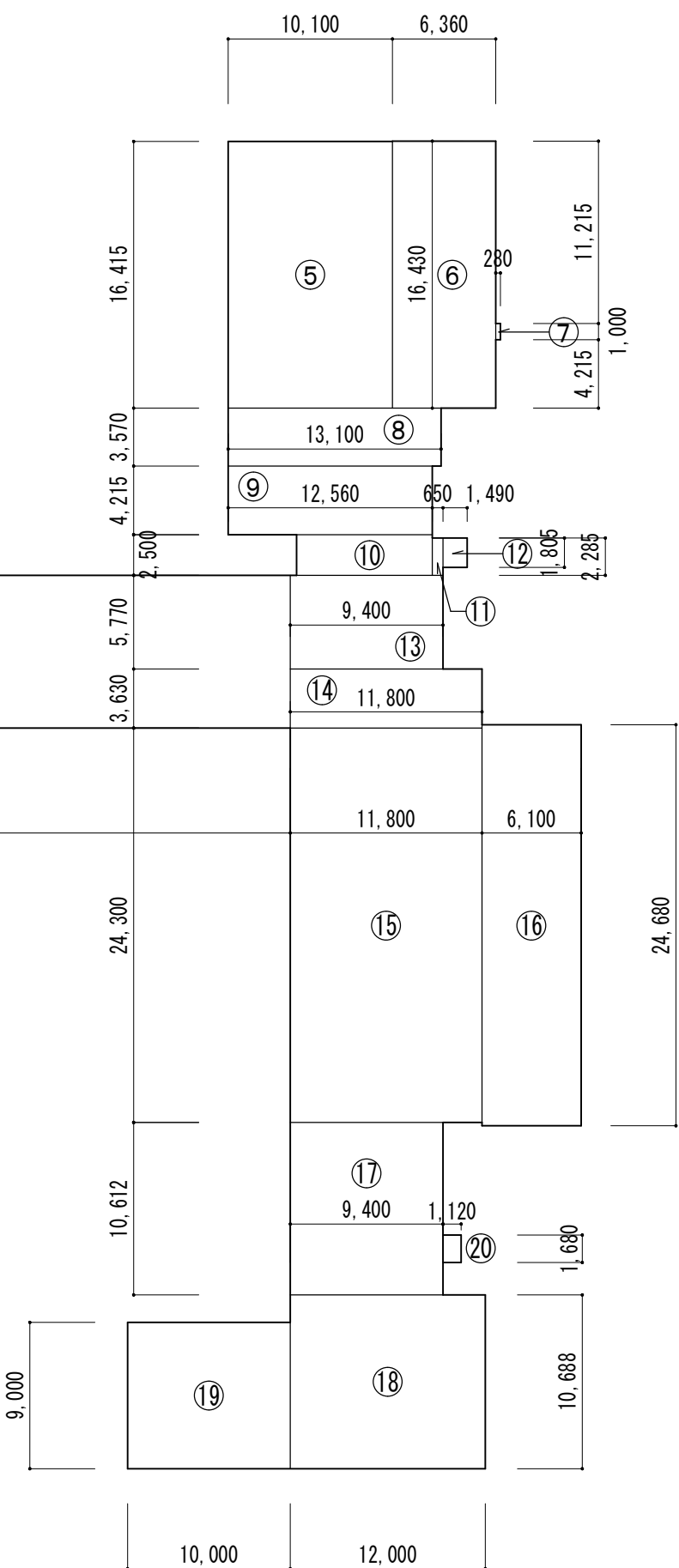
原図: A 2



建築面積図 S=1/400



B1階 面積図 S=1/400



1階 面積図 S=1/400



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

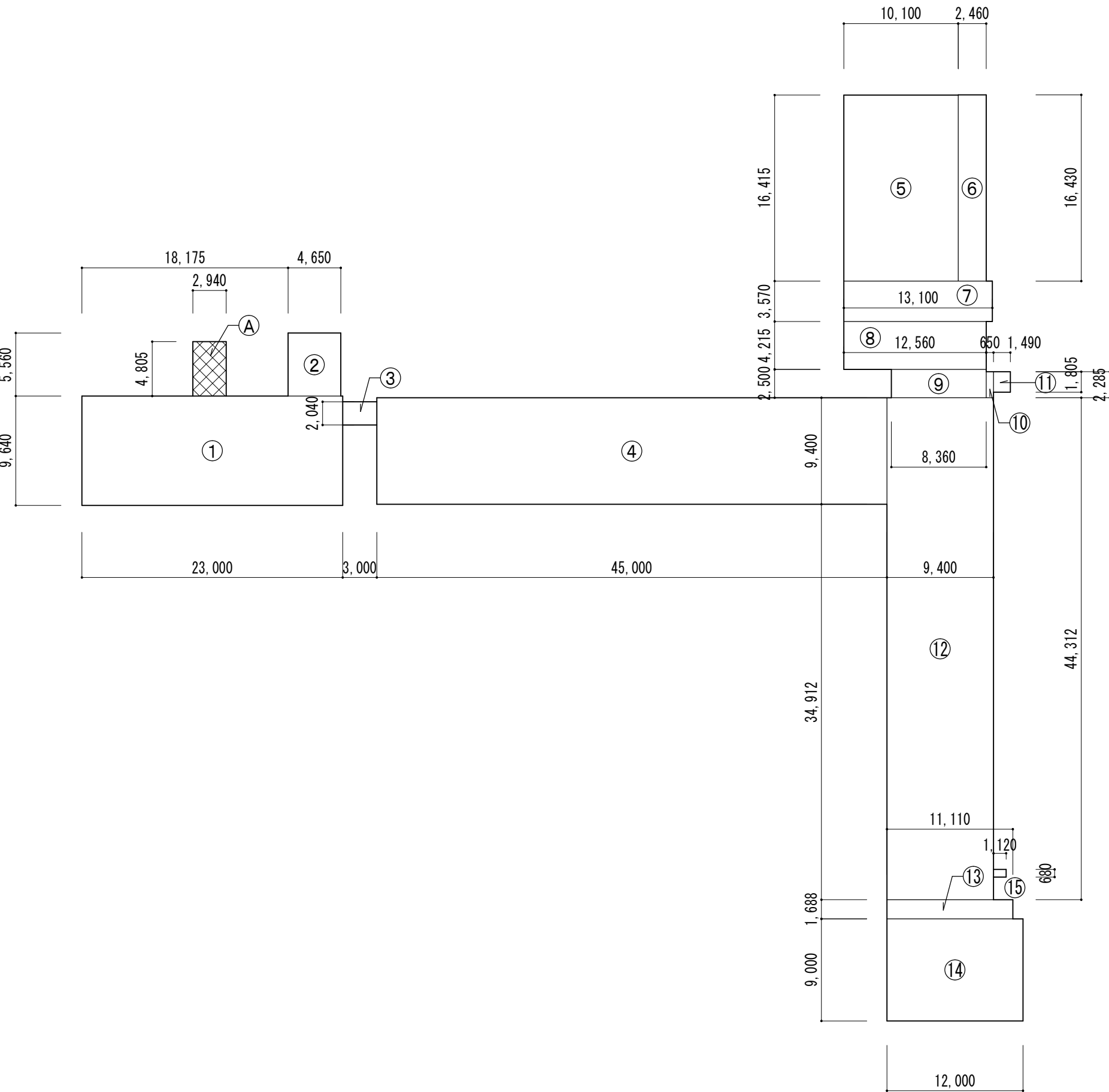
備考

図面名称 縮尺
棟別面積図 1 S=1/400 (A3:1/564)

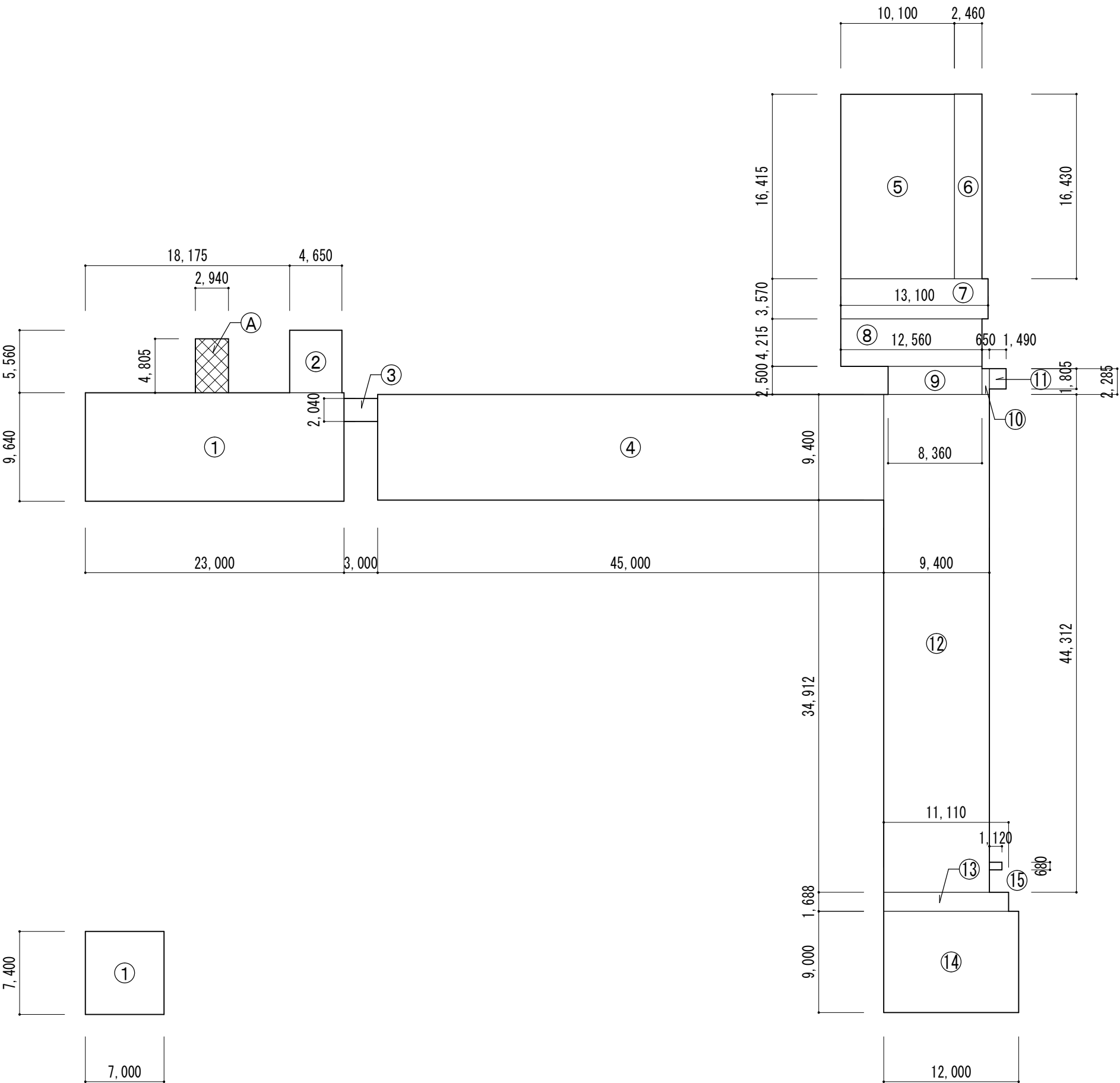
図面 No

A-025

原図: A 2



2階 面積図 S=1/400



PH階 面積図 S=1/400

3階 面積図 S=1/400



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	.	.	.
	.	.	.
	.	.	.

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺
棟別面積図 2 S=1/400 (A3:1/564)

図面 No

A-026

原図: A 2

普通特別教室棟、特別教室棟、普通教室棟【既設増築】

■ 建築面積求積表

【単位：㎡】

	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築 面積	既存部分		既存部分 1階床面積計算による		1,926.292800	1,926.29
		a	1.370 × 5.850	8.014500		
		b	0.285 × 4.635	1.320975		
		c	4.430 × 0.540	2.392200		
		d	5.840 × 1.528	8.923520		
		e	6.930 × 0.500	3.465000		
		f	10.688 × 0.500	5.344000		
		g	0.500 × 13.000	6.500000		
		h	30.825 × 0.500	15.412500		
		i	5.775 × 1.000	5.775000		
		j	1.000 × 7.475	7.475000		
		k	0.500 × 36.525	18.262500		
		l	7.500 × 0.500	3.750000		
		m	0.400 × 23.000	9.200000		
		n	3.400 × 0.100	0.340000		
		o	4.100 × 2.650	10.865000		
		p	0.360 × 9.780	3.520800		
		q	0.360 × 8.395	3.022200		
		r	0.360 × 0.175	0.063000		
		s	0.860 × 0.500	0.430000		
		t	0.500 × 45.390	22.695000		
		u	24.200 × 0.500	12.100000		
	v	2.002 × 0.500	1.001000	149.872195	149.87	
増築部分	A	4.445 × 2.940	13.068300	13.068300	13.06	
合計				2,089.22		

2,076.180000

■ B 1階 床面積求積表

【単位：㎡】

階数	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計	
B1階	既存部分	①	9.640	× 18.000	173.520000	246.874000	
		②	9.500	× 5.000	47.500000		
		③	5.560	× 4.650	25.854000		
	増築部分	Ⓐ	4.805	× 2.940	14.126700	14.126700	14.12
	合計		260.99				

■ 1階 床面積求積表

【単位：㎡】

階数	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計	
1階	既存部分	①	9.640	× 23.000	221.720000		
		②	5.560	× 4.650	25.854000		
		③	2.040	× 3.000	6.120000		
		④	9.400	× 45.000	423.000000		
		⑤	16.415	× 10.100	165.791500		
		⑥	16.430	× 6.360	104.494800		
		⑦	1.000	× 0.280	0.280000		
		⑧	3.570	× 13.100	46.767000		
		⑨	4.215	× 12.560	52.940400		
		⑩	2.500	× 8.360	20.900000		
		⑪	2.285	× 0.650	1.485250		
		⑫	1.805	× 1.490	2.689450		
		⑬	5.770	× 9.400	54.238000		
		⑭	3.630	× 11.800	42.834000		
		⑮	24.300	× 11.800	286.740000		
		⑯	24.680	× 6.100	150.548000		
		⑰	10.612	× 9.400	99.752800		
		⑱	10.688	× 12.000	128.256000		
		⑲	9.000	× 10.000	90.000000		
		⑳	1.680	× 1.120	1.881600		
	増築部分	A	4.805	× 2.940	14.126700	14.126700	14.12
	合計					1,940.41	

■ 2階 床面積求積表

【単位：㎡】

階数	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計	
2階	既存部分	①	9.640	× 23.000	221.720000	1,551.733480	1,551.73
		②	5.560	× 4.650	25.854000		
		③	2.040	× 3.000	6.120000		
		④	9.400	× 45.000	423.000000		
		⑤	16.415	× 10.100	165.791500		
		⑥	16.430	× 2.460	40.417800		
		⑦	3.570	× 13.100	46.767000		
		⑧	4.215	× 12.560	52.940400		
		⑨	2.500	× 8.360	20.900000		
		⑩	2.285	× 0.650	1.485250		
		⑪	1.805	× 1.490	2.689450		
		⑫	44.312	× 9.400	416.532800		
		⑬	1.688	× 11.110	18.753680		
		⑭	9.000	× 12.000	108.000000		
		⑮	0.680	× 1.120	0.761600		
	増築部分	A	4.805	× 2.940	14.126700	14.126700	14.12
	合計		1,565.85				

■ 3階 床面積求積表

【単位：㎡】

階数	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計	
3階	既存部分	①	9.640	× 23.000	221.720000	1,551.733480	1,551.73
		②	5.560	× 4.650	25.854000		
		③	2.040	× 3.000	6.120000		
		④	9.400	× 45.000	423.000000		
		⑤	16.415	× 10.100	165.791500		
		⑥	16.430	× 2.460	40.417800		
		⑦	3.570	× 13.100	46.767000		
		⑧	4.215	× 12.560	52.940400		
		⑨	2.500	× 8.360	20.900000		
		⑩	2.285	× 0.650	1.485250		
		⑪	1.805	× 1.490	2.689450		
		⑫	44.312	× 9.400	416.532800		
		⑬	1.688	× 11.110	18.753680		
		⑭	9.000	× 12.000	108.000000		
		⑮	0.680	× 1.120	0.761600		
	増築部分	A	4.805	× 2.940	14.126700	14.126700	14.12
	合計					1,565.85	

■ PH階 床面積求積表

【単位：㎡】

階数	エリア	記号	面積計算式	小計	合計
R階	既存部分	①	7.400 × 7.000	51.800000	51.80
	合計				51.80

5,328.420000

■ 延べ床面積計算表

【単位：㎡】

	エリア	B1階	1階	2階	3階	PH階	合計
延べ床面積	既存部分	246.87	1,926.29	1,551.73	1,551.73	51.80	5,328.42
	増築部分	14.12	14.12	14.12	14.12	—	56.48
	合計	260.99	1,940.41	1,565.85	1,565.85	51.80	5,384.90

■ 建築面積計算表

【単位：㎡】

	エリア	合計
建築面積	既存部分	2,076.16
	増築部分	13.06
	合計	2,089.22

屋内運動場【既設】

27,050

①

6,490

②

41,150

1,100

22,900

③

22,000

⑤

⑥

22,900

8,285

6,330

8,285

6,450

26,275

5,225

37,950

2,475

22,900

⑦

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

22,900

1,975

1,775

1,775

30,250

4,475

3,225

5,725

10,550

5,725

450

450

4,700

525

建築面積図 S=1/400

1階 面積図 S=1/400

2階 面積図 S=1/400

■ 建築面積求積表

【単位：㎡】

	記号	面積計算式		小計	合計
建築面積	①	1.100 × 6.490	7.139000	1,120.246500	1,120.24
	②	41.150 × 27.050	1,113.107500		
	合計	1,120.24			

■ 1階 床面積求積表

【単位：㎡】

	記号	面積計算式		小計	合計
1階 床面積	③	2.475 × 6.330	15.666750	861.074250	861.07
	④	6.450 × 22.900	147.705000		
	⑤	26.275 × 22.000	578.050000		
	⑥	5.225 × 22.900	119.652500		
合計	861.07				

■ 2階 床面積求積表

【単位：㎡】

	記号	面積計算式		小計	合計
2階 床面積	⑦	4.475 × 22.900	102.477500	313.038126	313.03
	⑧	1.775 × 30.250	53.693750		
	⑨	1.775 × 30.250	53.693750		
	⑩	3.225 × 0.450	1.451250		
	⑪	3.225 × 0.450	1.451250		
	⑫	5.225 × 5.725	29.913125		
	⑬	5.225 × 5.725	29.913125		
	⑭	0.525 × 5.725 × 0.5	▲ 1.502812		
	⑮	0.525 × 5.725 × 0.5	▲ 1.502812		
	⑯	1.975 × 22.000	43.450000		
合計	313.03				

■ 延べ床面積計算表

【単位：㎡】

	1階	2階	合計
延べ床面積	861.07	313.03	1,174.10

渡り廊下【既設】

17,100

①

2,400

面積図 S=1/400

■ 建築面積求積表

【単位：㎡】

	記号	面積計算式		小計	合計
建築面積	①	2.400 × 17.100	41.040000	41.040000	41.040000
	合計	41.04			

プール更衣室【既設】

18,850

①

4,350

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位：㎡】

	記号	面積計算式		小計	合計
建築面積 床面積	①	4.350 × 18.850	81.997500	81.997500	81.997500
	合計	81.99			

設計
監理

類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士

設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正 . . .

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

図面 No

棟別面積図 4

S=1/400 (A3:1/564)

S=1/200 (A3:1/282)

A-028

原図：A 2

体育器具庫【既設】

7,250

①

4,550

面積図 S=1/400

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	4.550 × 7.250	32.987500	32.987500	32.987500
	合計	32.98			

防災倉庫【既設】

6,090

①

2,350

面積図 S=1/400

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	2.350 × 6.090	14.311500	14.311500	14.311500
	合計	14.31			

少量危険物保管所及び塵集積場【既設】

2,200

①

1,500

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

3.300000【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	1.500 × 2.200	3.300000	3.300000	3.300000
	合計	3.30			

物置 1【既設】

2,200

①

2,200

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	2.200 × 2.200	4.840000	4.840000	4.840000
	合計	4.84			

物置 2【既設】

2,200

①

1,850

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	1.850 × 2.200	4.070000	4.070000	4.070000
	合計	4.07			

物置 3【既設】

2,900

①

1,800

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	0.800 × 2.900	2.320000	2.320000	2.320000
	合計	2.32			

物置 4【既設】

2,200

①

1,500

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	1.500 × 2.200	3.300000	3.300000	3.300000
	合計	3.30			

物置 5【既設】

2,680

①

2,000

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	2.000 × 2.680	5.360000	5.360000	5.360000
	合計	5.36			

物置 6【既設】

2,400

①

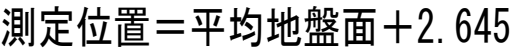
1,800

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	1.800 × 2.400	4.320000	4.320000	4.320000
	合計	4.32			



敷地	三重県津市河芸町千里ヶ丘13		
用途地域	第1種低層住居専用地域		
日影時間	5m<敷地境界線からの水平距離≤10m 4時間		
	敷地境界線からの水平距離>10m 2.5時間		
高さ	平均地盤面から1.5m 但し、東側敷地との高低差があるため、測定高さ緩和により 隣地B：1.5m＋（1.900m＋1.390m－1.000m）／2＝2.645mとする		
節気	冬至	緯度	北緯 34° 48′ 20″ 499
測定時間	8時～16時	経度	東経 136° 32′ 34″ 230
時刻法	真太陽時		

影倍率表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

時 刻	太陽 高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	8°36'	−53°28'	6.614	−5.315	3.937
8:30	13°23'	−48°26'	4.204	−3.145	2.789
9:00	17°47'	−42°57'	3.117	−2.123	2.282
9:30	21°45'	−36°58'	2.507	−1.508	2.003
10:00	25°10'	−30°27'	2.129	−1.079	1.835
10:30	27°57'	−23°25'	1.884	−0.749	1.729
11:00	30°02'	−15°55'	1.730	−0.474	1.664
11:30	31°19'	−8°03'	1.644	−0.230	1.628
12:00	31°45'	0°00'	1.616	0.000	1.616
12:30	31°19'	8°03'	1.644	0.230	1.628
13:00	30°02'	15°55'	1.730	0.474	1.664
13:30	27°57'	23°25'	1.884	0.749	1.729
14:00	25°10'	30°27'	2.129	1.079	1.835
14:30	21°45'	36°58'	2.507	1.508	2.003
15:00	17°47'	42°57'	3.117	2.123	2.282
15:30	13°23'	48°26'	4.204	3.145	2.789
16:00	8°36'	53°28'	6.614	5.315	3.937

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=16.110(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=13.465(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	89.058
8:30	4.204	56.607
9:00	3.117	41.970
9:30	2.507	33.757
10:00	2.129	28.667
10:30	1.884	25.368
11:00	1.730	23.294
11:30	1.644	22.136
12:00	1.616	21.759
12:30	1.644	22.136
13:00	1.730	23.294
13:30	1.884	25.368
14:00	2.129	28.667
14:30	2.507	33.757
15:00	3.117	41.970
15:30	4.204	56.607
16:00	6.614	89.058

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=12.040(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=9.395(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	62.139
8:30	4.204	39.497
9:00	3.117	29.284
9:30	2.507	23.553
10:00	2.129	20.002
10:30	1.884	17.700
11:00	1.730	16.253
11:30	1.644	15.445
12:00	1.616	15.182
12:30	1.644	15.445
13:00	1.730	16.253
13:30	1.884	17.700
14:00	2.129	20.002
14:30	2.507	23.553
15:00	3.117	29.284
15:30	4.204	39.497
16:00	6.614	62.139

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=13.293(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=10.648(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	70.426
8:30	4.204	44.764
9:00	3.117	33.190
9:30	2.507	26.695
10:00	2.129	22.670
10:30	1.884	20.061
11:00	1.730	18.421
11:30	1.644	17.505
12:00	1.616	17.207
12:30	1.644	17.505
13:00	1.730	18.421
13:30	1.884	20.061
14:00	2.129	22.670
14:30	2.507	26.695
15:00	3.117	33.190
15:30	4.204	44.764
16:00	6.614	70.426

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=13.110(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=10.465(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	69.216
8:30	4.204	43.995
9:00	3.117	32.619
9:30	2.507	26.236
10:00	2.129	22.280
10:30	1.884	19.716
11:00	1.730	18.104
11:30	1.644	17.204
12:00	1.616	16.911
12:30	1.644	17.204
13:00	1.730	18.104
13:30	1.884	19.716
14:00	2.129	22.280
14:30	2.507	26.236
15:00	3.117	32.619
15:30	4.204	43.995
16:00	6.614	69.216

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=12.100(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=9.455(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	62.535
8:30	4.204	39.749
9:00	3.117	29.471
9:30	2.507	23.704
10:00	2.129	20.130
10:30	1.884	17.813
11:00	1.730	16.357
11:30	1.644	15.544
12:00	1.616	15.279
12:30	1.644	15.544
13:00	1.730	16.357
13:30	1.884	17.813
14:00	2.129	20.130
14:30	2.507	23.704
15:00	3.117	29.471
15:30	4.204	39.749
16:00	6.614	62.535

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=10.860(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=8.215(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	54.334
8:30	4.204	34.536
9:00	3.117	25.606
9:30	2.507	20.595
10:00	2.129	17.490
10:30	1.884	15.477
11:00	1.730	14.212
11:30	1.644	13.505
12:00	1.616	13.275
12:30	1.644	13.505
13:00	1.730	14.212
13:30	1.884	15.477
14:00	2.129	17.490
14:30	2.507	20.595
15:00	3.117	25.606
15:30	4.204	34.536
16:00	6.614	54.334

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=9.910(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=7.265(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	48.051
8:30	4.204	30.542
9:00	3.117	22.645
9:30	2.507	18.213
10:00	2.129	15.467
10:30	1.884	13.687
11:00	1.730	12.568
11:30	1.644	11.944
12:00	1.616	11.740
12:30	1.644	11.944
13:00	1.730	12.568
13:30	1.884	13.687
14:00	2.129	15.467
14:30	2.507	18.213
15:00	3.117	22.645
15:30	4.204	30.542
16:00	6.614	48.051

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=8.690(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=6.045(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	39.982
8:30	4.204	25.413
9:00	3.117	18.842
9:30	2.507	15.155
10:00	2.129	12.870
10:30	1.884	11.389
11:00	1.730	10.458
11:30	1.644	9.938
12:00	1.616	9.769
12:30	1.644	9.938
13:00	1.730	10.458
13:30	1.884	11.389
14:00	2.129	12.870
14:30	2.507	15.155
15:00	3.117	18.842
15:30	4.204	25.413
16:00	6.614	39.982

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=8.290(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=5.645(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	37.336
8:30	4.204	23.732
9:00	3.117	17.595
9:30	2.507	14.152
10:00	2.129	12.018
10:30	1.884	10.635
11:00	1.730	9.766
11:30	1.644	9.280
12:00	1.616	9.122
12:30	1.644	9.280
13:00	1.730	9.766
13:30	1.884	10.635
14:00	2.129	12.018
14:30	2.507	14.152
15:00	3.117	17.595
15:30	4.204	23.732
16:00	6.614	37.336

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=6.870(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=4.225(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	27.944
8:30	4.204	17.762
9:00	3.117	13.169
9:30	2.507	10.592
10:00	2.129	8.995
10:30	1.884	7.960
11:00	1.730	7.309
11:30	1.644	6.946
12:00	1.616	6.828
12:30	1.644	6.946
13:00	1.730	7.309
13:30	1.884	7.960
14:00	2.129	8.995
14:30	2.507	10.592
15:00	3.117	13.169
15:30	4.204	17.762
16:00	6.614	27.944

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=5.860(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=3.215(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	21.264
8:30	4.204	13.516
9:00	3.117	10.021
9:30	2.507	8.060
10:00	2.129	6.845
10:30	1.884	6.057
11:00	1.730	5.562
11:30	1.644	5.285
12:00	1.616	5.195
12:30	1.644	5.285
13:00	1.730	5.562
13:30	1.884	6.057
14:00	2.129	6.845
14:30	2.507	8.060
15:00	3.117	10.021
15:30	4.204	13.516
16:00	6.614	21.264

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=5.590(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=2.945(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	19.478
8:30	4.204	12.381
9:00	3.117	9.180
9:30	2.507	7.383
10:00	2.129	6.270
10:30	1.884	5.548
11:00	1.730	5.095
11:30	1.644	4.842
12:00	1.616	4.759
12:30	1.644	4.842
13:00	1.730	5.095
13:30	1.884	5.548
14:00	2.129	6.270
14:30	2.507	7.383
15:00	3.117	9.180
15:30	4.204	12.381
16:00	6.614	19.478

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=5.410(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=2.765(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	18.288
8:30	4.204	11.624
9:00	3.117	8.619
9:30	2.507	6.932
10:00	2.129	5.887
10:30	1.884	5.209
11:00	1.730	4.783
11:30	1.644	4.546
12:00	1.616	4.468
12:30	1.644	4.546
13:00	1.730	4.783
13:30	1.884	5.209
14:00	2.129	5.887
14:30	2.507	6.932
15:00	3.117	8.619
15:30	4.204	11.624
16:00	6.614	18.288

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

高さ=4.010(m) 測定面高さ=2.645(m)
計算高さ=1.365(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	9.028
8:30	4.204	5.738
9:00	3.117	4.255
9:30	2.507	3.422
10:00	2.129	2.906
10:30	1.884	2.572
11:00	1.730	2.361
11:30	1.644	2.244
12:00	1.616	2.206
12:30	1.644	2.244
13:00	1.730	2.361
13:30	1.884	2.572
14:00	2.129	2.906
14:30	2.507	3.422
15:00	3.117	4.255
15:30	4.204	5.738
16:00	6.614	9.028

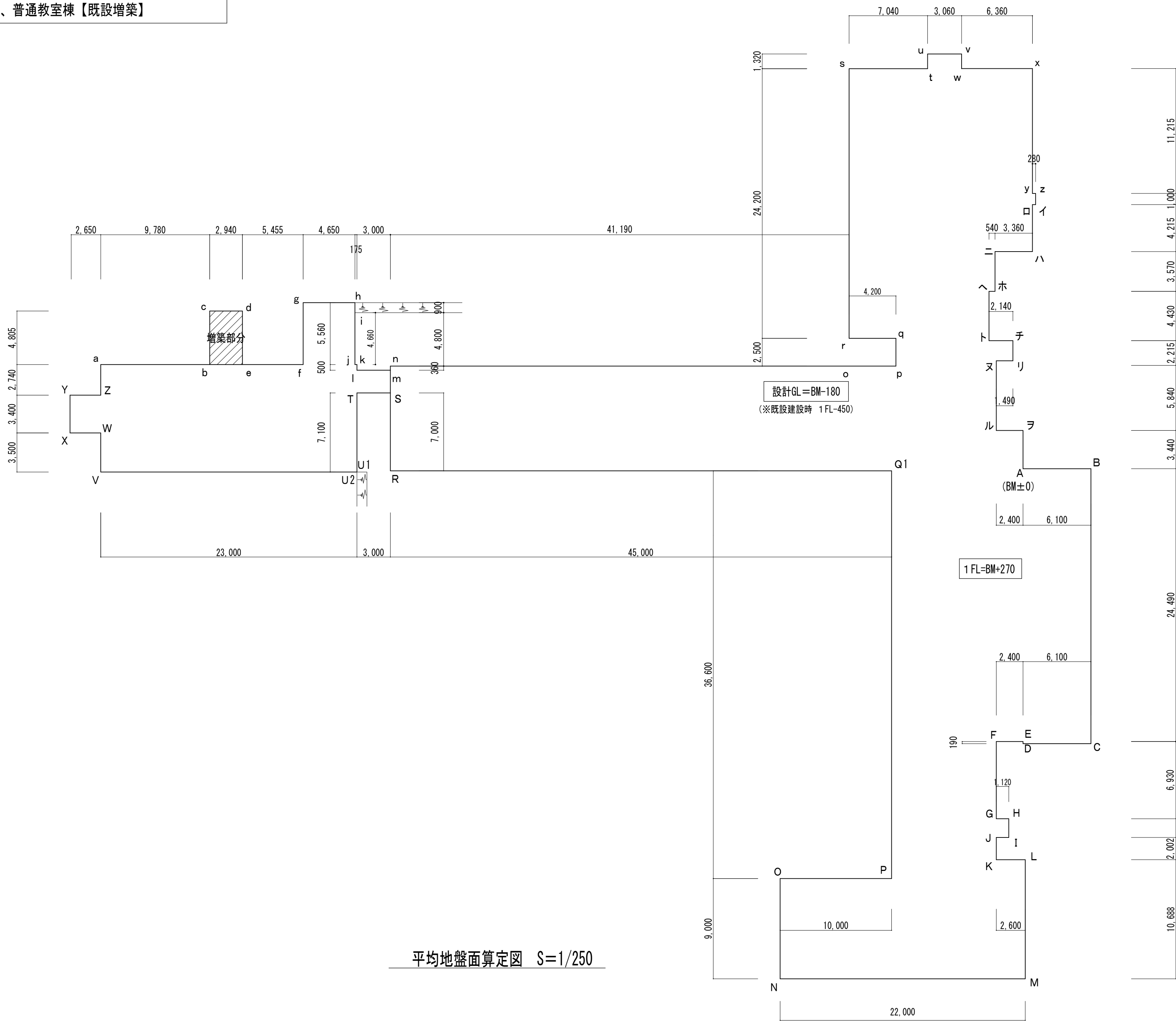


設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		



設計 類 建 築 設 計 事 務 所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	.	.	.
	.	.	.
	.	.	.

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

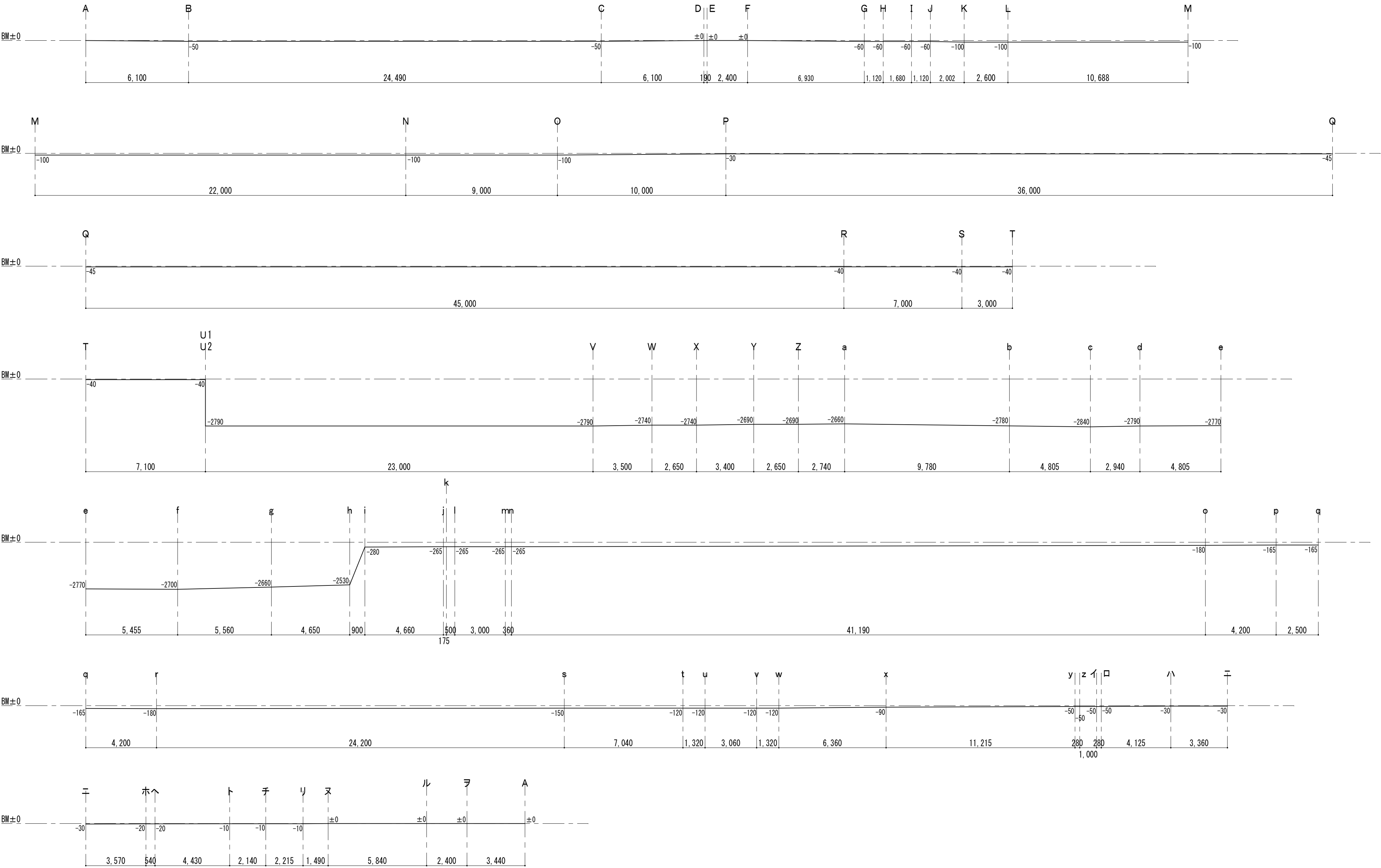
図面名称 縮尺
平均地盤面計算図1【棟別】 S=1/250 (A3:1/353)

.
.
.

図面 No

A-032

原図：A 2



建築物の全周長 431,765 m



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	.	.	.
	.	.	.
	.	.	.

設計番号 N o

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺
平均地盤面計算図2【棟別】 S=1/150 (A3:1/212)

図面 No

A-033

原図: A 2

建物接点高さ					
地点	高さ	地点	高さ	地点	高さ
A	BM±0	a	-2660	イ	-50
B	-50	b	-2780	ロ	-50
C	-50	c	-2840	ハ	-30
D	0	d	-2790	ニ	-30
E	0	e	-2770	ホ	-20
F	0	f	-2700	ヘ	-20
G	-60	g	-2660	ト	-10
H	-60	h	-2530	チ	-10
I	-60	i	-280	リ	-10
J	-60	j	-265	ヌ	±0
K	-100	k	-265	ル	±0
L	-100	l	-265	ヲ	±0
M	-100	m	-265		
N	-100	n	-265		
O	-100	o	-180		
P	-30	p	-165		
Q1	-45	q	-165		
R	-40	r	-180		
S	-40	s	-150		
T	-40	t	-120		
U1	-40	u	-120		
U2	-2790	v	-120		
V	-2790	w	-120		
W	-2740	x	-90		
X	-2740	y	-50		
Y	-2690	z	-50		
Z	-2690				

見付面積計算表

A－B	6.100 × 0.050 × 1/2 = 0.1525
B－C	24.490 × 0.050 = 1.2245
C－D	6.100 × 0.050 × 1/2 = 0.1525
D－E	0.190 × 0 = 0
E－F	2.400 × 0 = 0
F－G	6.930 × 0.060 × 1/2 = 0.2079
G－H	1.120 × 0.060 = 0.0672
H－I	1.680 × 0.060 = 0.1008
I－J	1.120 × 0.060 = 0.0672
J－K	(0.100 + 0.060) × 2.002 × 1/2 = 0.16016
K－L	2.600 × 0.100 = 0.26
L－M	10.688 × 0.100 = 1.0688
M－N	22.000 × 0.100 = 2.20
N－O	9.000 × 0.100 = 0.900
O－P	(0.100 + 0.030) × 10.000 × 1/2 = 0.65
P－Q	(0.030 + 0.045) × 36.000 × 1/2 = 1.35
Q－R	(0.045 + 0.040) × 45.000 × 1/2 = 1.9125
R－S	7.000 × 0.040 = 0.28
S－T	3.000 × 0.040 = 0.12
T－U1	7.100 × 0.040 = 0.284
U2－V	23.000 × 2.790 = 64.17
V－W	(2.790 + 2.740) × 3.500 × 1/2 = 9.6775
W－X	2.650 × 2.740 = 7.261
X－Y	(2.740 + 2.690) × 3.400 × 1/2 = 9.231
Y－Z	2.690 × 2.650 = 7.1285
Z－a	(2.690 + 2.660) × 2.740 × 1/2 = 7.3295

a－b	(2.780 + 2.660) × 9.780 × 1/2 = 26.6016
b－c	(2.840 + 2.780) × 4.805 × 1/2 = 13.50205
c－d	(2.840 + 2.790) × 2.940 × 1/2 = 8.2761
d－e	(2.790 + 2.770) × 4.805 × 1/2 = 13.3579
e－f	(2.770 + 2.700) × 5.455 × 1/2 = 14.919425
f－g	(2.700 + 2.660) × 5.560 × 1/2 = 14.9008
g－h	(2.660 + 2.530) × 4.650 × 1/2 = 12.06675
h－i	(2.530 + 0.280) × 0.900 × 1/2 = 1.2645
i－j	(0.280 + 0.265) × 4.660 × 1/2 = 1.26985
j－k	0.175 × 0.265 = 0.046375
k－l	0.500 × 0.265 = 0.1325
l－m	3.000 × 0.265 = 0.795
m－n	0.360 × 0.265 = 0.0954
n－o	(0.265 + 0.180) × 41.190 × 1/2 = 9.164775
o－p	(0.180 + 0.165) × 4.200 × 1/2 = 0.7245
p－q	2.500 × 0.165 = 0.4125
q－r	(0.165 + 0.180) × 4.200 × 1/2 = 0.7245
r－s	(0.180 + 0.150) × 24.200 × 1/2 = 3.993
s－t	(0.150 + 0.120) × 7.040 × 1/2 = 0.9504
t－u	1.320 × 0.120 = 0.1584
u－v	3.060 × 0.120 = 0.3672
v－w	1.320 × 0.120 = 0.1584
w－x	(0.120 + 0.090) × 6.360 × 1/2 = 0.6678
x－y	(0.090 + 0.050) × 11.215 × 1/2 = 0.78505
y－z	0.050 × 0.280 = 0.014
z－イ	0.050 × 1.000 = 0.05

イ－ロ	0.050 × 0.280 = 0.014
ロ－ハ	(0.050 + 0.030) × 4.125 × 1/2 = 0.165
ハ－ニ	0.030 × 3.360 = 0.1008
ニ－ホ	(0.030 + 0.020) × 3.570 × 1/2 = 0.08925
ホ－ヘ	0.540 × 0.020 = 0.0108
ヘ－ト	(0.020 + 0.010) × 4.430 × 1/2 = 0.06645
ト－チ	0.010 × 2.140 = 0.0214
チ－リ	0.010 × 2.215 = 0.02215
リ－ヌ	0.010 × 1.490 × 1/2 = 0.00745
ヌ－ル	5.840 × 0 = 0
ル－ヲ	2.400 × 0 = 0
ヲ－A	3.440 × 0 = 0

見付面積合計 241.851635 m²

平均地盤面算定

見付面積合計÷建築物の全周長＝ 241.851635 m²÷431.765m = 0.560146456
∴平均地盤面 = BM-570



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛
一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

平均地盤面計算図3【棟別】

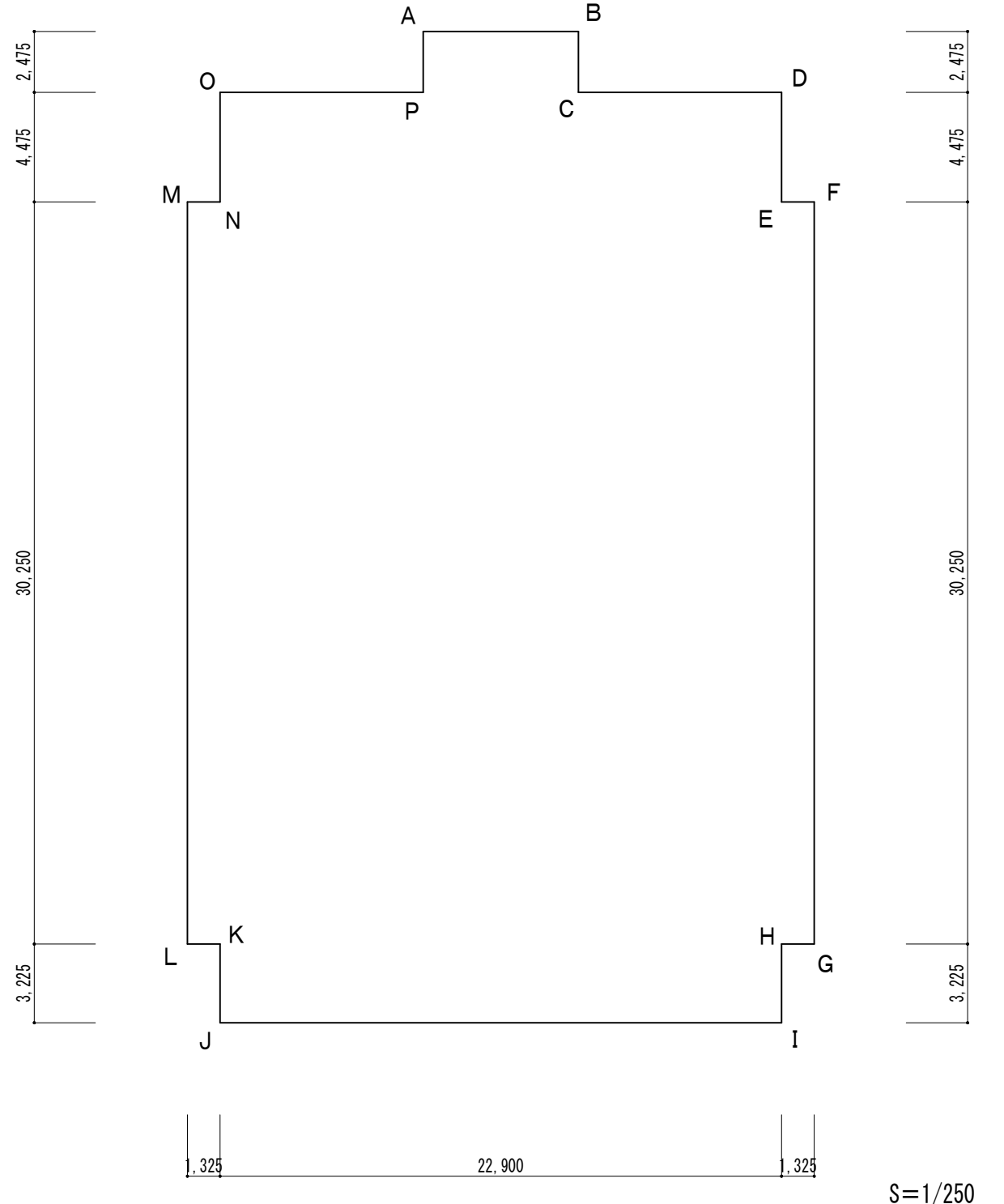
S=NS

図面 No

A-034

原図：A 2

屋内運動場【既設】

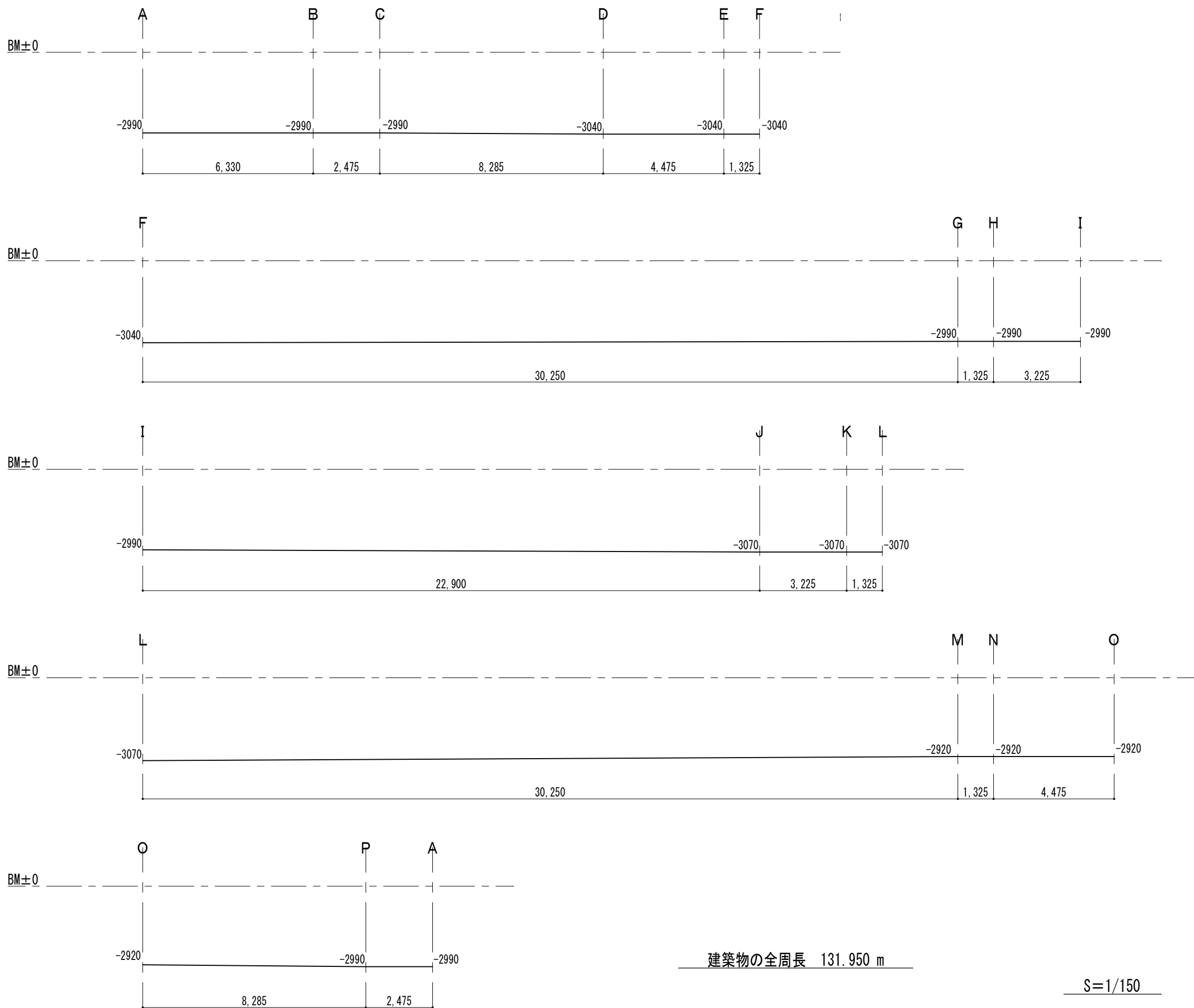


建物接点高さ					
地点	高さ	地点	高さ	地点	高さ
A	-2990	G	-2990	M	-2920
B	-2990	H	-2990	N	-2920
C	-2990	I	-2990	O	-2920
D	-3040	J	-3070	P	-2990
E	-3040	K	-3070		
F	-3040	L	-3070		

平均地盤面算定

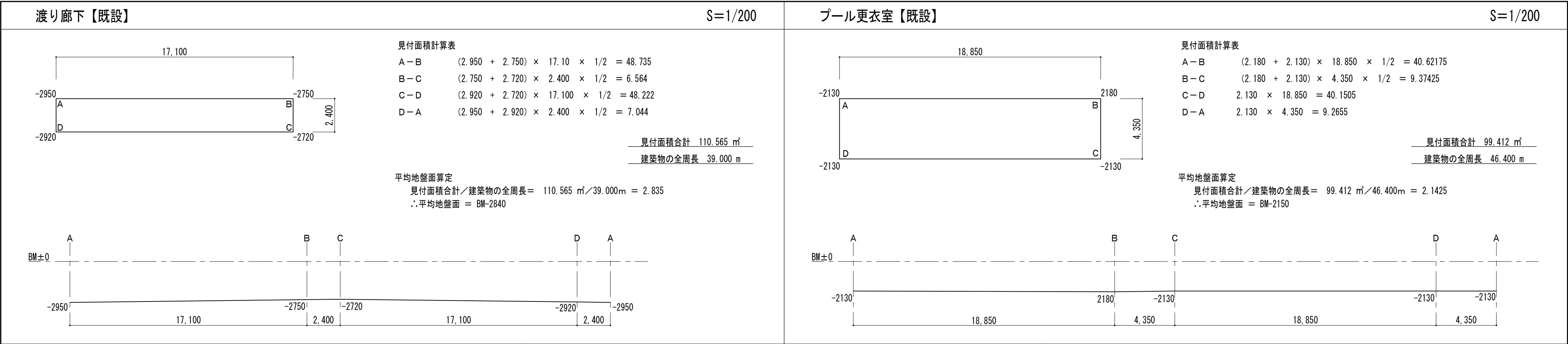
見付面積合計／建築物の全周長＝ $396.519150 \text{ m}^2 / 131.950 \text{ m} = 3.005071239$

∴平均地盤面 ＝ BM-3010

見付面積計算表

A – B	$6.330 \times 2.990 = 18.9267$	I – J	$(3.070 + 2.990) \times 22.900 \times 1/2 = 69.387$
B – C	$2.475 \times 2.990 = 7.40025$	J – K	$3.225 \times 3.070 = 9.90075$
C – D	$(3.040 + 2.990) \times 8.285 \times 1/2 = 24.979275$	K – L	$1.325 \times 3.070 = 4.06775$
D – E	$4.475 \times 3.040 = 13.604$	L – M	$(3.070 + 2.920) \times 30.250 \times 1/2 = 90.59875$
E – F	$1.325 \times 3.040 = 4.028$	M – N	$1.325 \times 2.920 = 3.869$
F – G	$(3.040 + 2.990) \times 30.250 \times 1/2 = 91.20375$	N – O	$4.475 \times 2.920 = 13.067$
G – H	$1.325 \times 2.990 = 3.96175$	O – P	$(2.990 + 2.920) \times 8.285 \times 1/2 = 24.482175$
H – I	$3.225 \times 2.990 = 9.64275$	P – A	$2.475 \times 2.990 = 7.40025$

見付面積合計 396.519150 m²



物置 4 【既設】

S=1/100

2,200

-2860

-2860

-2860

-2860

1,500

見付面積計算表

A－B

2.860

×

2.200

=

6.292

B－C

2.860

×

1.500

=

4.29

C－D

2.860

×

2.200

=

6.292

D－A

2.860

×

1.500

=

4.29

見付面積合計

21.164

m²

建築物の全周長

7.400

m

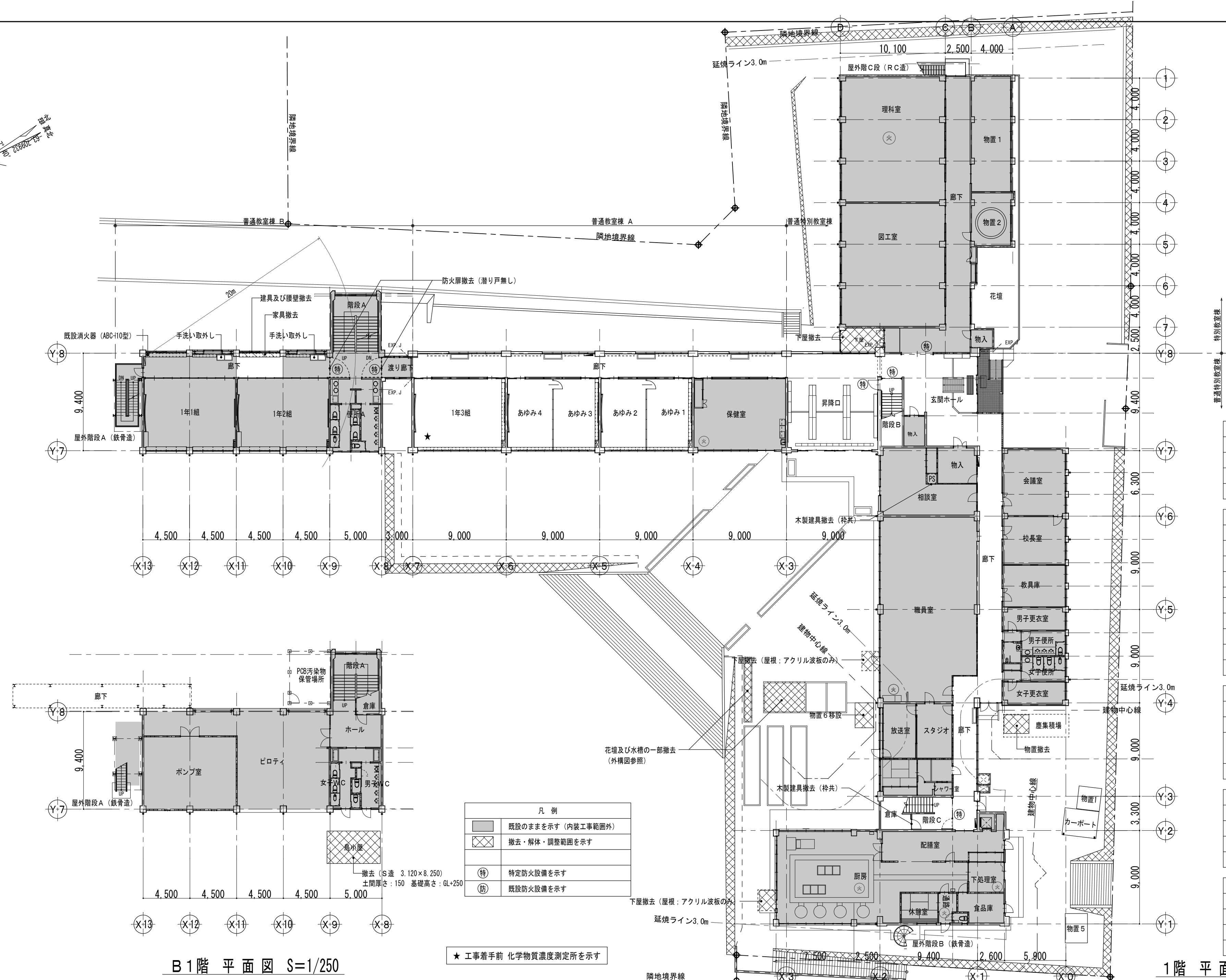
平均地盤面算定

見付面積合計／建築物の全周長＝ 21.164 m²／7.400m ＝ 2.860

∴平均地盤面 ＝ BM-2860

BM±0

改修前



RC造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	一部無し

鉄骨造屋外階段 A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 A	
幅員寸法	2,125
路面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1～F1は 138.1
手摺	一部無し

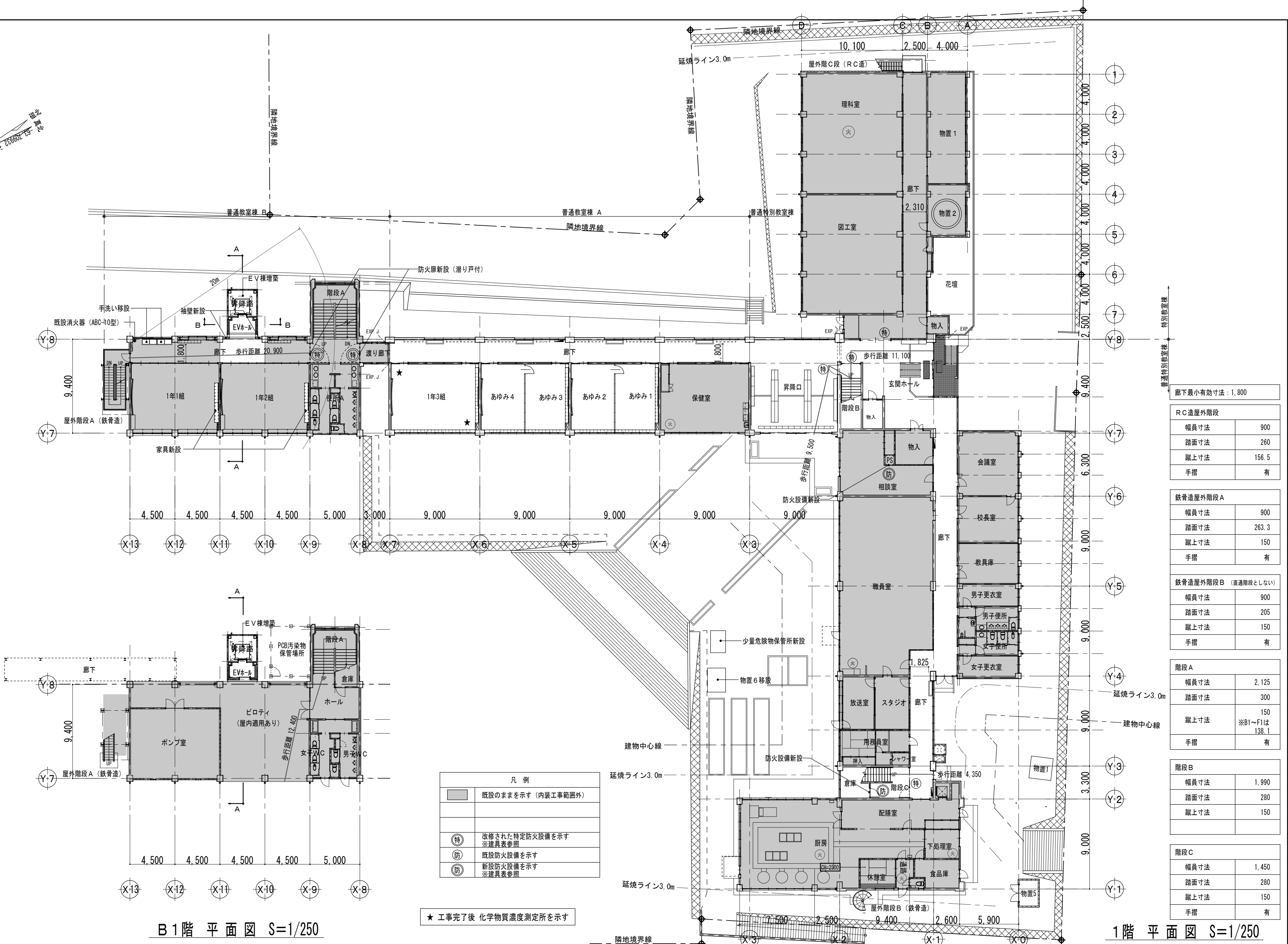
階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	無

B 1階 平面図 S=1/250

1階 平面図 S=1/250

改修後



廊下最小有効寸法：1,800

R C造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	有

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B (直達階段としない)	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1～F1は138.1
手摺	有

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有



設計 類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正			

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺

B1階平面図【改修後】 S=1/250 (A3:1/353)

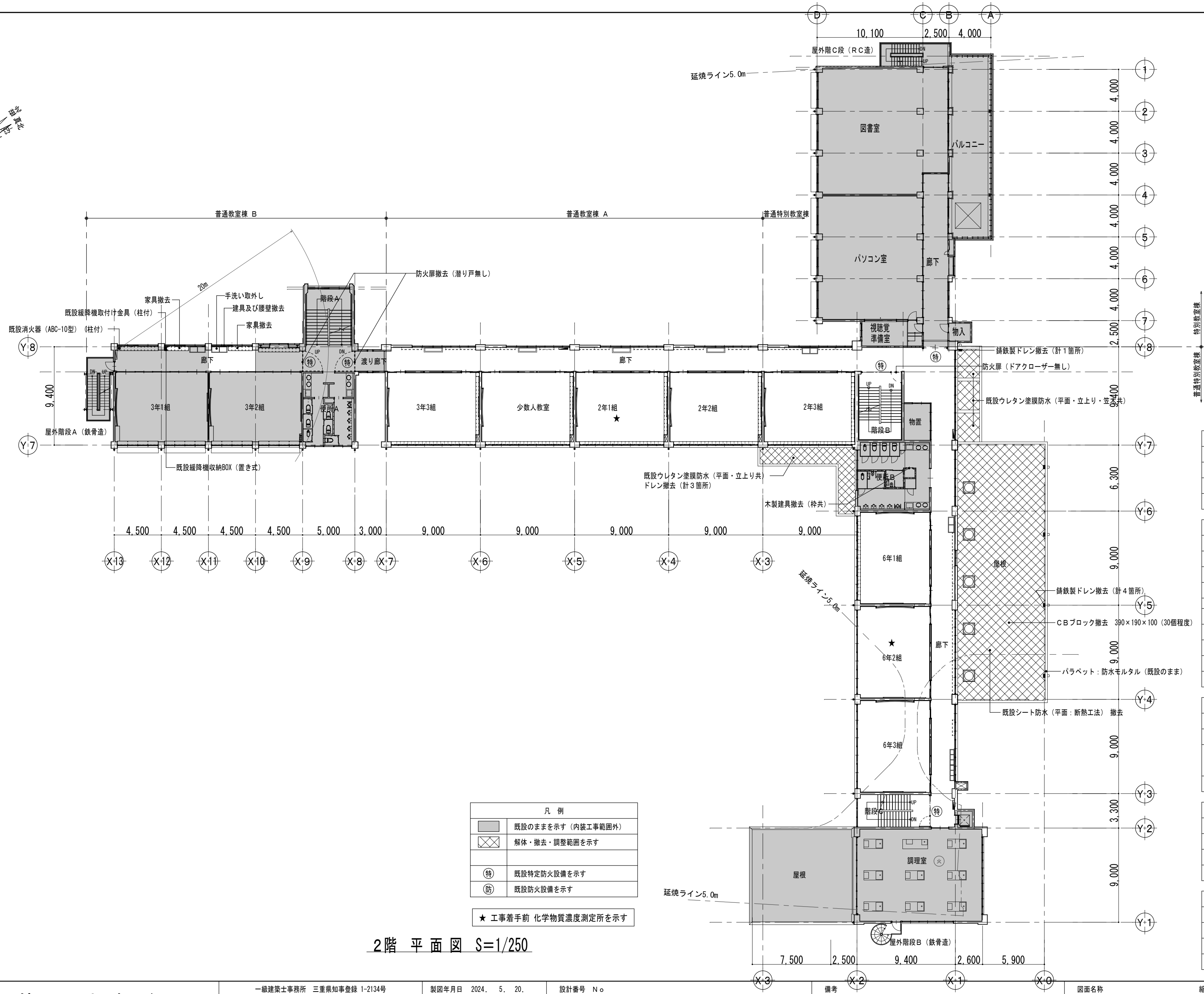
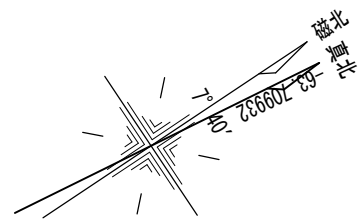
1階平面図【改修後】

図面 No

A-039

原因: A 2

改修前



RC造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	一部無し

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1~F1は138.1
手摺	一部無し

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	無

凡 例	
	既設のままを示す (内装工事範囲外)
	解体・撤去・調整範囲を示す
	既設特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す
★ 工事着手前 化学物質濃度測定所を示す	

2階 平面図 S=1/250



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 N o.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

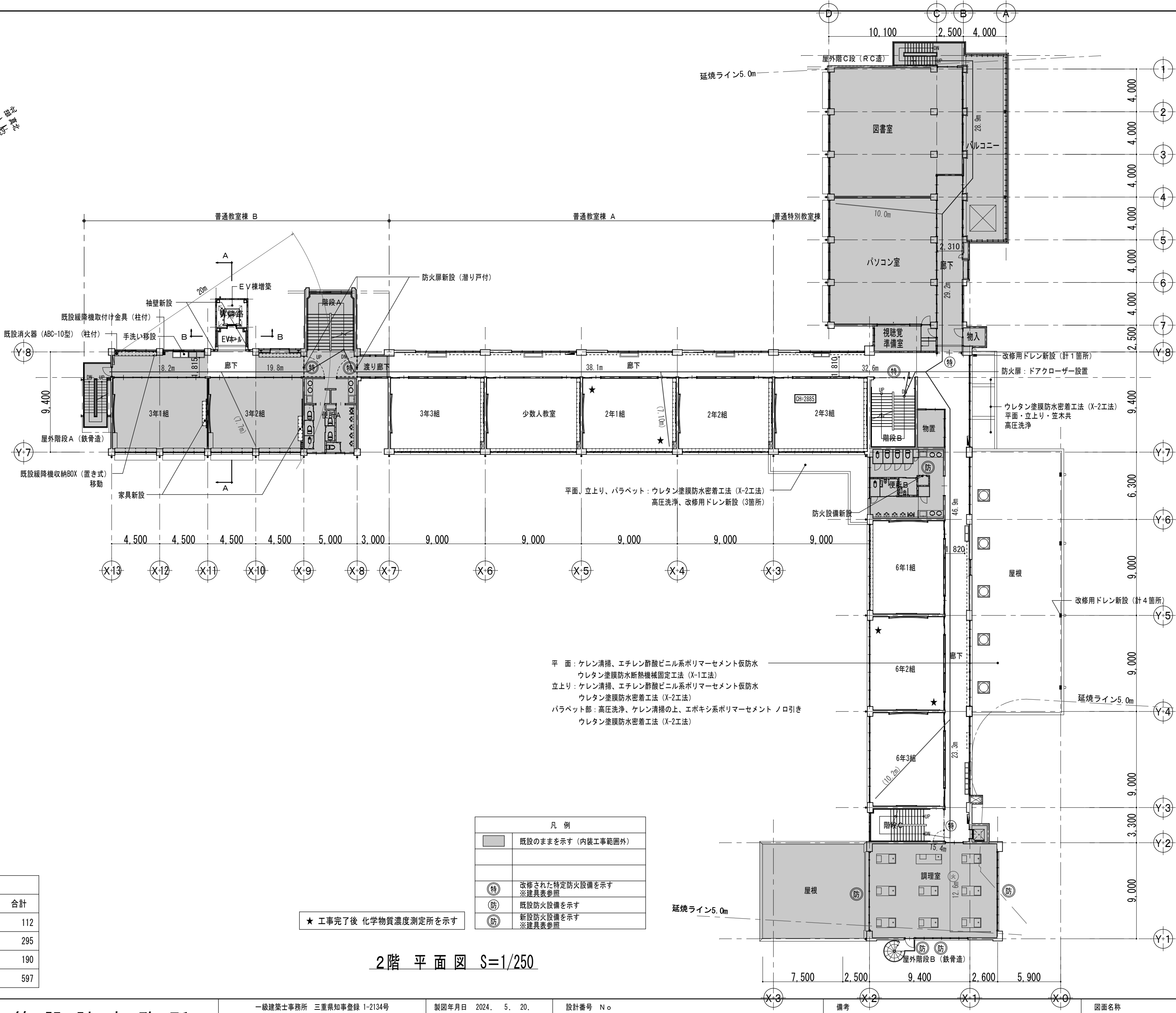
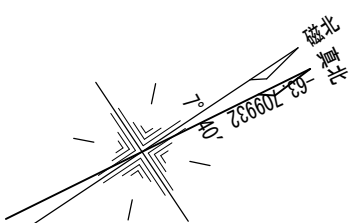
備考

図面名称 縮尺
2階 平面図【改修前】 S=1/250 (A3:1/353)

図面 No
A-040

原因: A 2

改修後



収容人員			
	職員	児童	合計
3階	25	87	112
2階	18	277	295
1階	12	178	190
合計	55	542	597

★ 工事完了後 化学物質濃度測定所を示す

2階 平面図 S=1/250



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

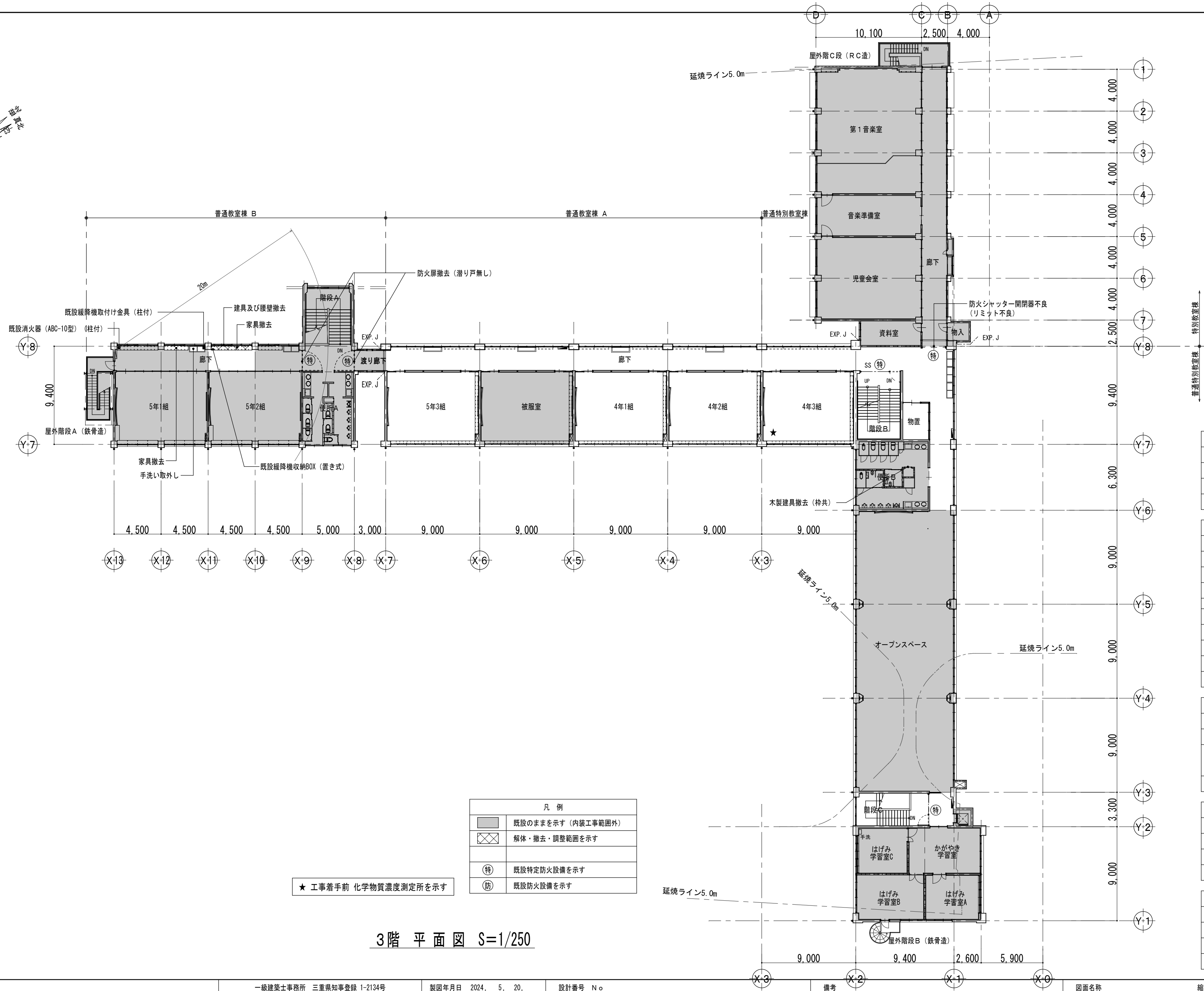
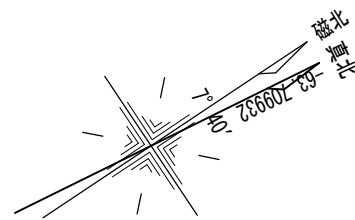
図面 No

2階 平面図【改修後】 S=1/250 (A3:1/353)

A-041

原因: A 2

改修前



★ 工事着手前 化学物質濃度測定所を示す

凡 例	
	既設のまますを示す（内装工事範囲外）
	解体・撤去・調整範囲を示す
	既設特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す

3階 平面図 S=1/250

R C造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	一部無し

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1～F1は138.1
手摺	一部無し

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	無



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 N o .

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

3階 平面図【改修前】

縮尺

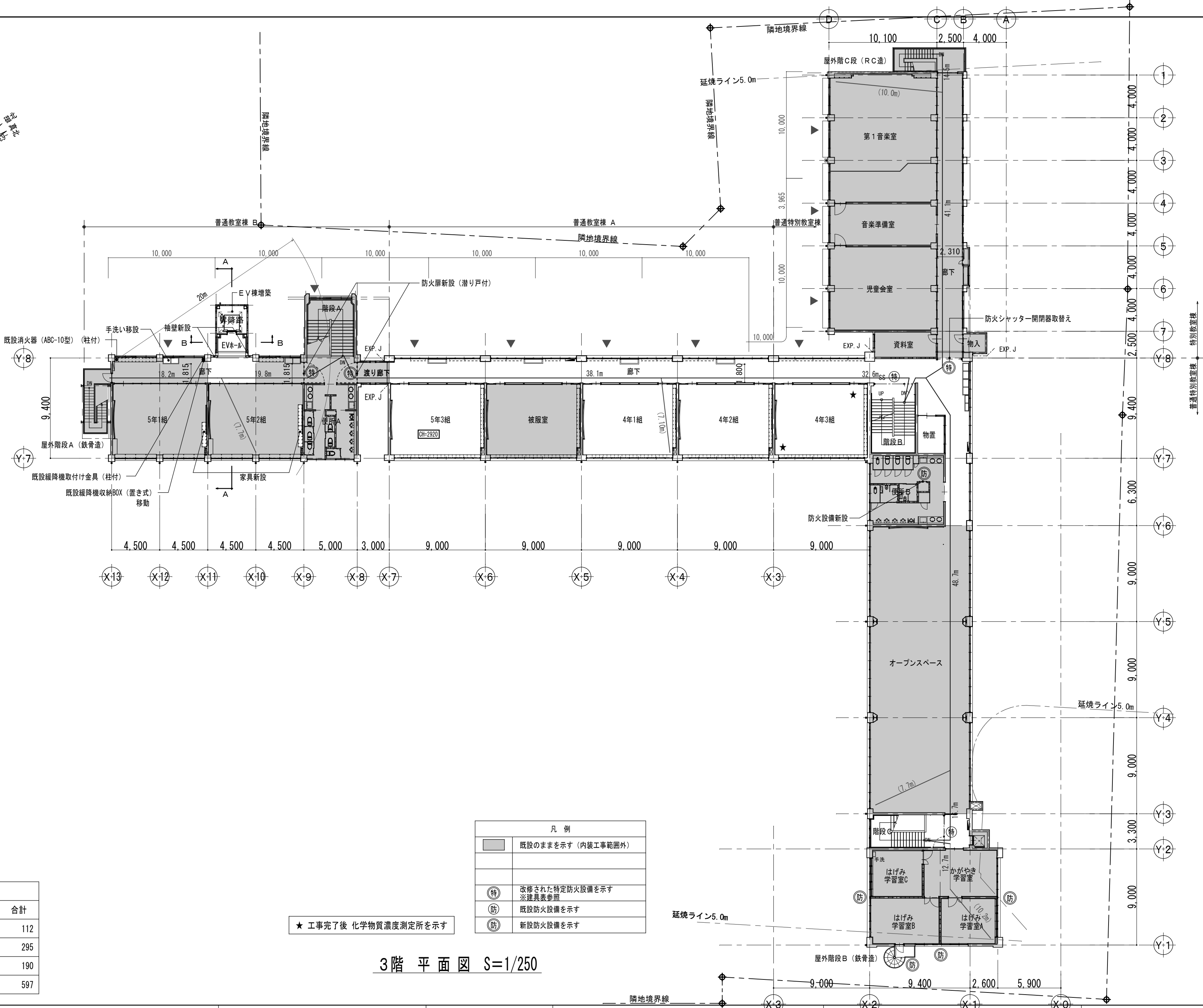
S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-042

原図: A 2

改修後



非常用の代替出入口
歩行距離を示す
重複距離を示す

廊下最小有効寸法：1,800

RC造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	有

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B（直通階段としない）	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1～F1は138.1
手摺	有

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

凡 例	
■	既設のままを示す（内装工事範囲外）
○特	改修された特定防火設備を示す ※建具表参照
○防	既設防火設備を示す
○防	新設防火設備を示す

★ 工事完了後 化学物質濃度測定所を示す

3階 平面図 S=1/250

収容人員			
	職員	児童	合計
3階	25	87	112
2階	18	277	295
1階	12	178	190
合計	55	542	597

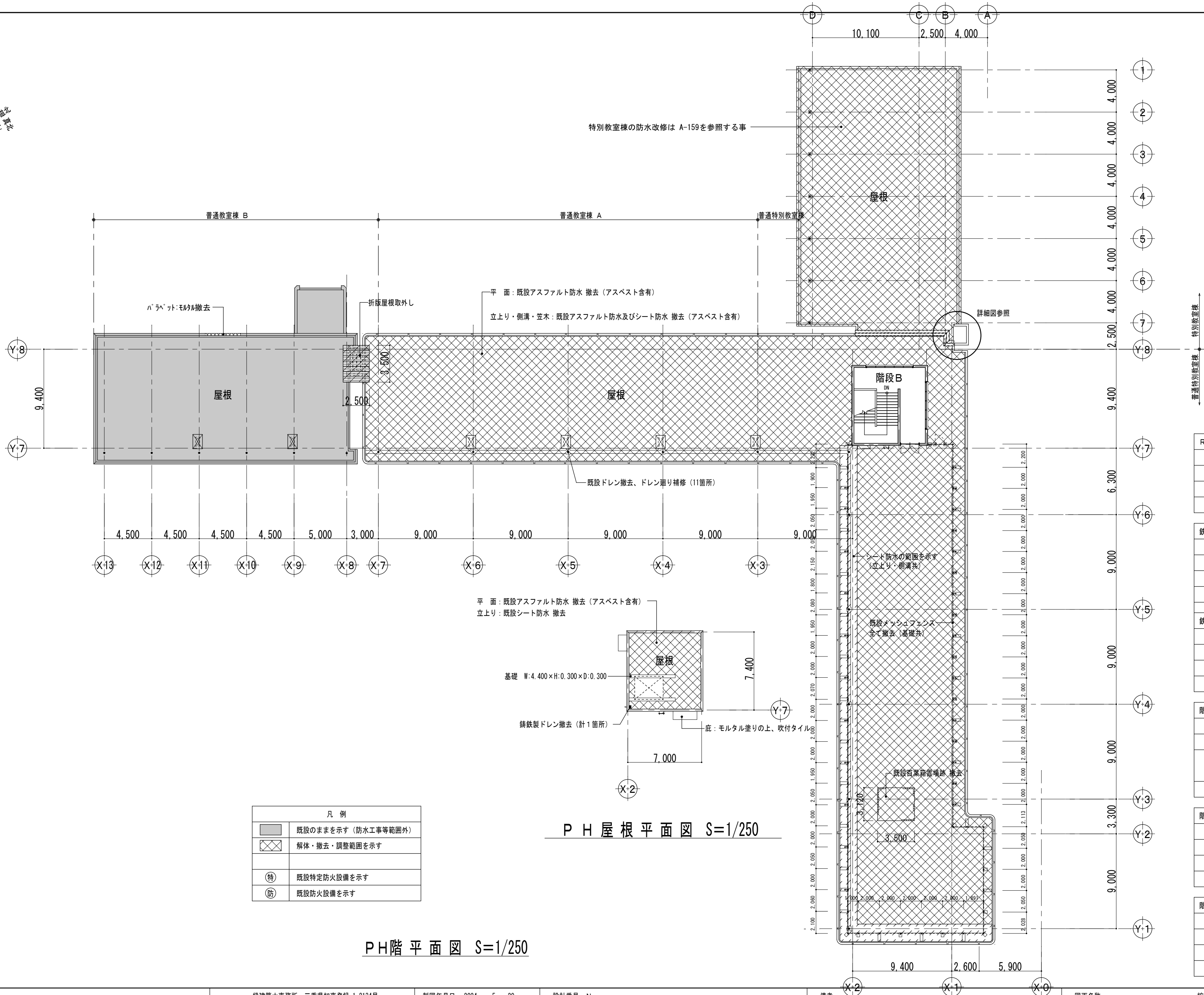
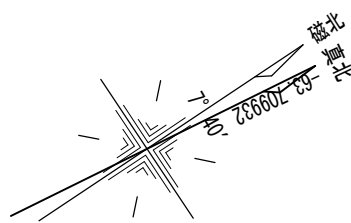


設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No.	備考	図面名称	縮尺	図面 No
管理建築士	設計者			変更・訂正			3階 平面図【改修後】	S=1/250 (A3:1/353)	A-043
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛								
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事									原因：A 2

改修前



RC造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	一部無し

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150
手摺	※B1~F1は138.1 一部無し

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	無

凡 例	
	既設のままを示す（防水工事等範囲外）
	解体・撤去・調整範囲を示す
	既設特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す

PH屋根平面図 S=1/250

PH階平面図 S=1/250



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			
管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.	変更・訂正

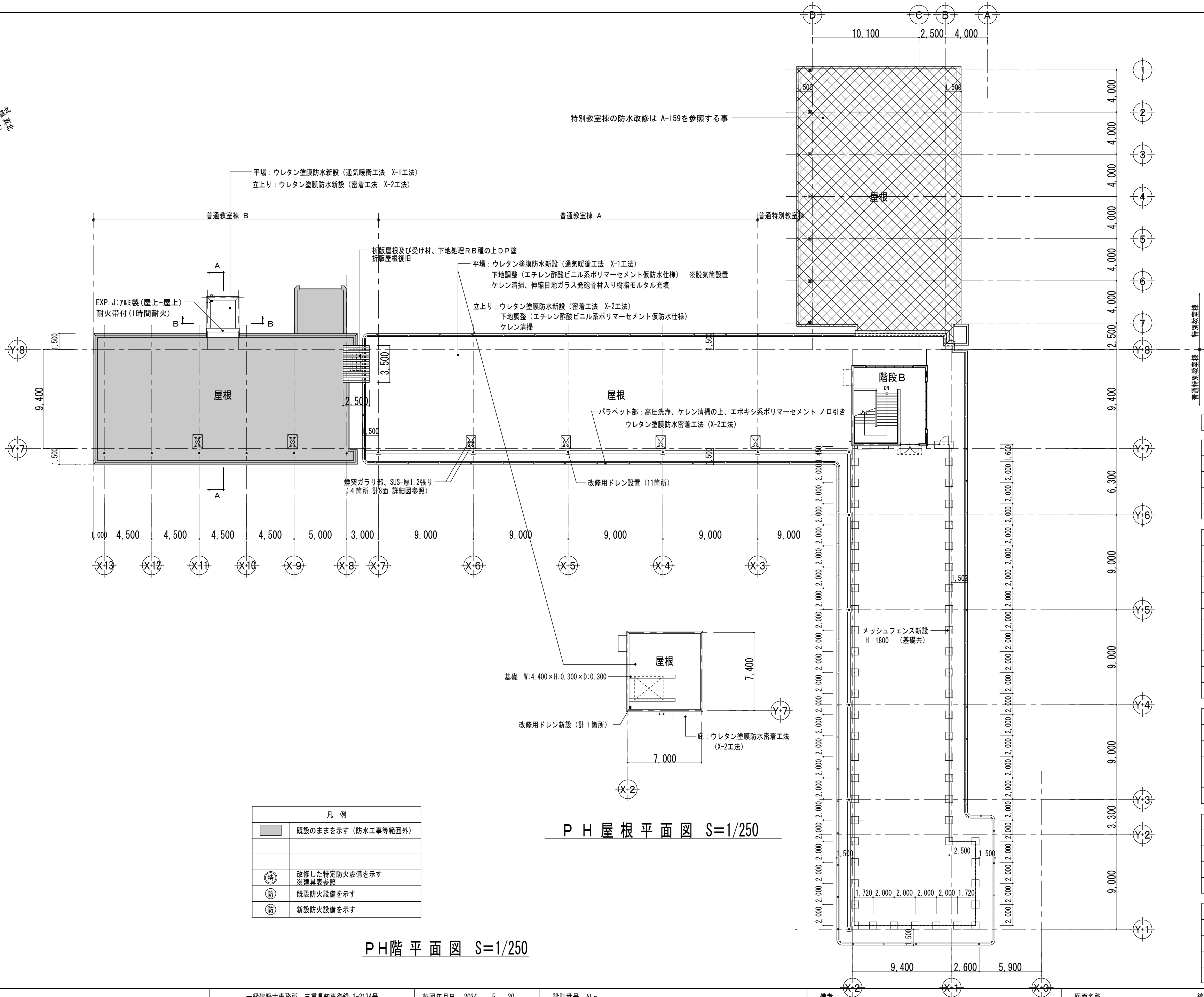
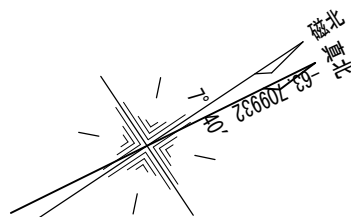
設計番号 No.	
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	

備考	

図面名称	縮尺
PH階平面図【改修前】	S=1/250 (A3:1/353)
PH屋根平面図【改修前】	S=1/250 (A3:1/353)

図面 No
A-044
原図：A 2

改修後



廊下有効寸法：1,800以上

R C造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	有

鉄骨造屋外階段 A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段 B (直通階段としない)	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1~F1は 138.1
手摺	有

階段 B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

凡 例	
■	既設のままを示す (防水工事等範囲外)
○特	改修した特定防火設備を示す ※建具表参照
○防	既設防火設備を示す
○防	新設防火設備を示す

P H 屋 根 平 面 図 S=1/250

P H階 平 面 図 S=1/250



設計 類 建 築 設 計 事 務 所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			
管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日	2024. 5. 20.
変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺
P H 階 平 面 図【改修後】	S=1/250 (A3:1/353)
P H 屋 根 平 面 図【改修後】	S=1/250 (A3:1/353)

図面 No
A-045

原因: A 2

改修前

普通特別教室棟

特別教室棟

▼建築物の高さ
▼RFL
▼3FL
▼2FL
▼1FL

12,290
11,900

650
3,600
3,600
3,600
450

▲設計BL=1FL-450
(既設建設時)

▲平均地盤面=1FL-840

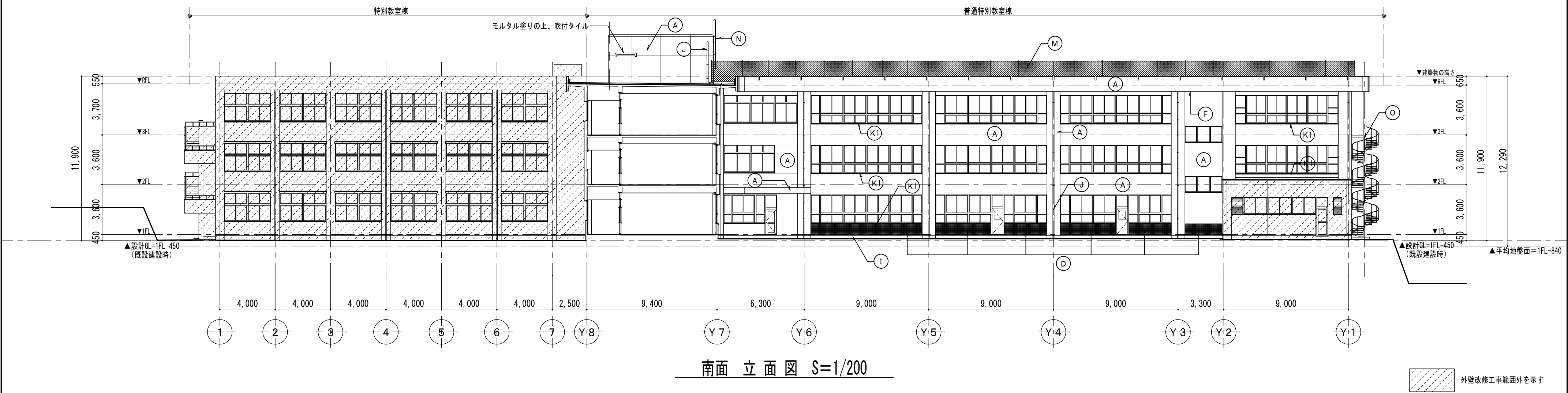
防水モルタル金コテ押
モルタル塗りの上、吹付タイル

9,000 3,300 9,000 9,000 9,000 6,300 9,400 2,500 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000

Y+1 Y+2 Y+3 Y+4 Y+5 Y+6 Y+7 Y+8 7 6 5 4 3 2 1

▲設計BL=1FL-450
(既設建設時)

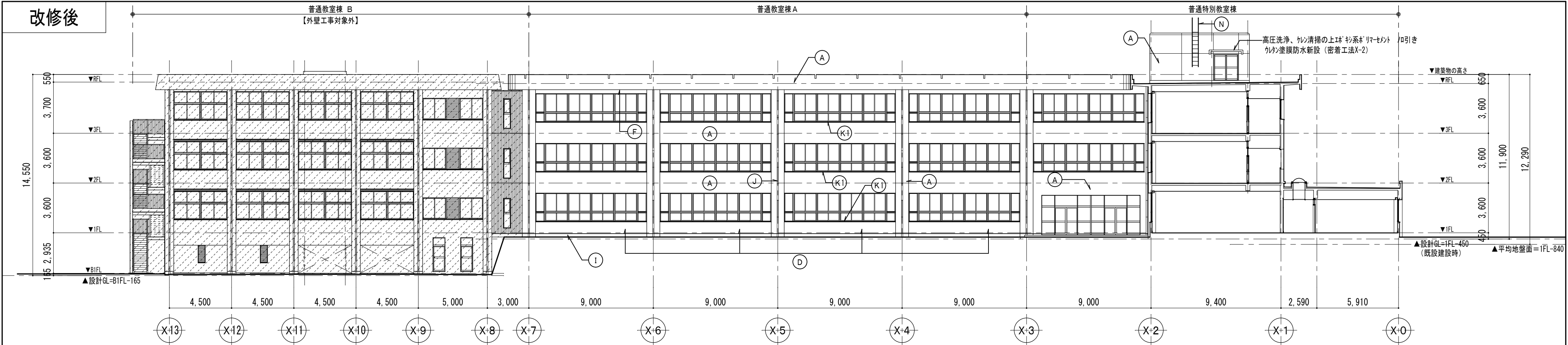
北面 立面图 S=1/200



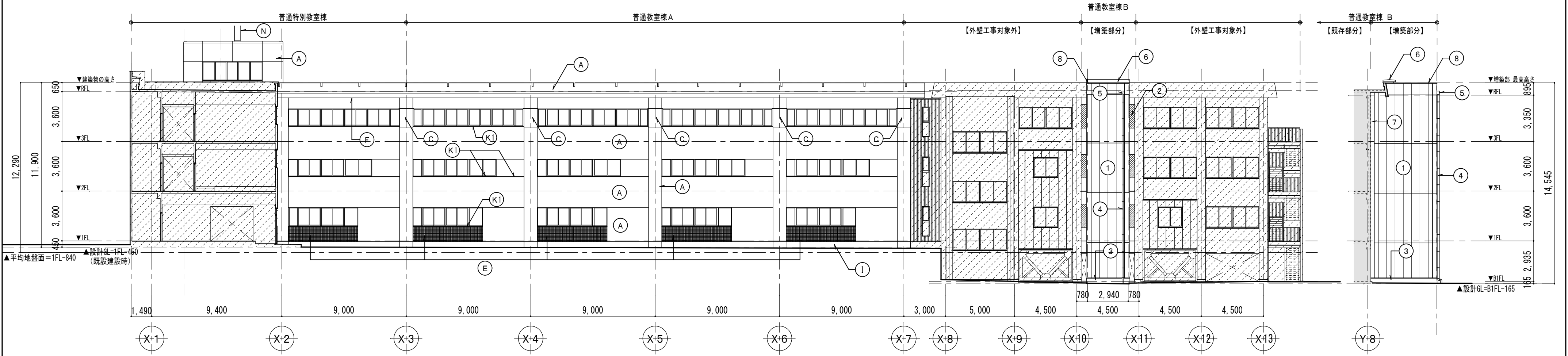
南面 立面图 S=1/200

 外壁改修工事範囲外を示す

■外部改修仕様											■EV 棟外壁仕様				■備考	
(A)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	(F)	軒天 底裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	(K1)			改修前	K1：人研ぎ K2：人研ぎの上、塗膜防水 K3：アルミ	(1)	外壁	A L C t=100下地、複層塗材E(7ヶ素)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング (PU-2) 新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設 E × P：J 部についてはシーリング (MS-2) 新設を行う。 ・壱、BOX、銅管等については下地調整 R B 種の上 D P 塗りとする。 【施工数量調査】 ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等 ・報告書：2 部 (補修方法別に調査数量を集計する。) 【外壁クック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修：Uカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/㎡、25ml/穴、25本/㎡、25ml/穴) ・欠損部改修方法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填 【外壁軒天底裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル (アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 複層塗材 E 吹付 (フッ素系)			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 外装薄塗材 E 吹付					(K2)		(2)	外壁	
(B)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル (アスベスト含有)	(G)	軒天 底裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	(K3)			改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤 (C-1) の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	(3)	巾木	コンクリート打放仕上	
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材 (C-2) の上 複層塗材 E 吹付 (フッ素系)			改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材 (C-2) の上 外装薄塗材 E 吹付					(4)	堅壁	塩ビ製 (カラー) 堅壁 φ100 (掘り金物：SUSφ1200)		
(C)	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装 (2-UE) (鉄板巻き補強部)	(H)	玄関庇 底裏	改修前	銅板製スパンドレル	(M)	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス 撤去 (基礎共)	(5)	集水枡	塩ビ製 (カラー)		
		改修後	下地処理 R B 種の上 D P 塗装			改修後	下地処理 R B 種の上 D P 塗り			(6)	EXP. J	アルミ製 (屋上-屋上) 耐火帯付 (1時間耐火)				
(D)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	(I)	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	(N)	屋上 タラップ	改修前	OP 塗り	(7)	EXP. J	アルミ製 (壁-壁) 耐火帯付 (1時間耐火)		
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理 R B 種の上 D P 塗り	(8)	笠木	アルミ笠木 W=350		
(E)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	(J)	樋	改修前	堅樋：硬質塩ビ管 φ100 養生管：φ125撤去 堅樋：硬質塩ビ管 φ114 飾り樹：塩ビ製撤去	(O)	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	OP 塗り					
		改修後	水洗い			改修後	堅樋：硬質塩ビ管 φ100新設 飾り樹：塩ビ製新設			改修後	下地処理 R B 種の上 D P 塗り					



東面 立面図 S=1/200



西面 立面図 S=1/200

北面 立面図 S=1/200

※最高の高さは、パラペット天端とする。その他屋上突出部分は棟飾であるため、令2条第6号による高さに算しないものとする。										 外壁改修工事範囲外を示す										水洗い									
■外部改修仕様										■E/V棟外壁仕様										■備考									
A	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル			F	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付			K1	窓水切	改修前	K1：人研ぎ K2：人研ぎの上、塗膜防水 K3：アルミ			1	外壁	A L C t=100下地、複層塗材E(7ヶ素)			・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング (PU-2) 新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP：J部についてはシーリング (MS-2) 新設を行う。 ・壁、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。 【施工数量調査】 ・調査項目：クラック、剥がれ及び剝離部、浮き部 ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等 ・報告書：2部 (補修方法別に調査数量を集計する。) 【外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修：Uカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/m、25ml/穴、25本/m、25ml/穴) ・欠損部改修方法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填 【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル (アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。						
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 複層塗材E吹付 (フッ素系)					改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 外装薄塗材E吹付 (フッ素系)					改修後	K2：高圧洗浄、下地調整剤 (C-1) の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま					2	外壁	コンクリート t=120打ち、モルタル金こて 複層塗材E(7ヶ素)							
B	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル (アスベスト含有)			G	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)			K2	改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤 (C-1) の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま			3	巾木	コンクリート打放仕上										
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダー工法、下地調整塗材 (C-2) の上 複層塗材E吹付 (フッ素系)					改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダー工法、下地調整塗材 (C-2) の上 外装薄塗材E吹付					4	縦樋	塩ビ製 (カラー) 縦樋φ100 (掘み金物：SUS@1200)													
C	柱補強鉄板巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装 (2-UE) (鉄板巻き補強部)			H	玄関庇庇裏	改修前	鋼板製スバンドレル			M	屋上フェンス	改修前	メッシュフェンス 撤去 (基礎共)			5	集水枒	塩ビ製 (カラー)									
		改修後	下地処理RB種の上DP塗装					改修後	下地処理RB種の上DP塗り					改修後	メッシュフェンス 新設 (基礎共)					6	EXP. J	アルミ製 (屋上-屋上) 耐火帯付 (1時間耐火)							
D	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り			I	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え			N	屋上タラップ	改修前	OP塗り			7	EXP. J	アルミ製 (壁-壁) 耐火帯付 (1時間耐火)									
		改修後	水洗い					改修後	水洗い					改修後	下地処理RB種の上DP塗り					8	笠木	アルミ笠木 W=350							
E	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル			J	樋	改修前	縦樋：硬質塩ビ管 φ100撤去 養生管：φ125撤去 飾り樹：塩ビ製撤去			O	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	OP塗り														
		改修後	水洗い					改修後	縦樋：硬質塩ビ管 φ100新設 飾り樹：塩ビ製新設					改修後	下地処理RB種の上DP塗り														

改修前

東面 立面図 S=1/200

外壁改修工事範囲外を示す

改修後

東面 立面図 S=1/200

外壁改修工事範囲外を示す

■外部改修仕様										■E V 棟外壁仕様				■備考	
A	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	F	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	K1	窓水切	改修前	K1：人研ぎ K2：人研ぎの上、塗膜防水 K3：アルミ	1	外壁	ALC t=100下地、複層塗材E(7ヶ素)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング（PU-2）新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP：J部についてはシーリング（MS-2）新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。 【施工数量調査】 ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等 ・報告書：2部（補修方法別に調査数量を集計する。） 【外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修：Uカットシーل充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法（16本/m²、25ml/穴、25本/m²、25ml/穴） ・欠損部改修方法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填 【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル（アスベスト含有） ・湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤（C-1）の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	2	外壁	コンクリート t=120打ち、モルタル金こて 複層塗材E(7ヶ素)	
B	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	G	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	K2		改修前	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤（C-1）の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	3	巾木	コンクリート打放仕上	
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）			改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤（C-1）の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	4	縦樋	塩ビ製（カラー） 縦樋φ100（掘み金物：SUS@1200）	
C	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装（2-UE） （鉄板巻き補強部）	H	玄関庇庇裏	改修前	鋼板製スバンドレル	M	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス 撤去（基礎共）	5	集水枒	塩ビ製（カラー）	
		改修後	下地処理RB種の上 DP塗装			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り			改修後	メッシュフェンス 新設（基礎共）	6	EXP.J	アルミ製（屋上-屋上）耐火帯付（1時間耐火）	
D	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	I	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	N	屋上 タラップ	改修前	OP塗り	7	EXP.J	アルミ製（壁-壁）耐火帯付（1時間耐火）	
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り	8	笠木	アルミ笠木 W=350	
E	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	J	樋	改修前	縦樋：硬質塩ビ管 φ100撤去 養生管：φ125撤去 縦樋：硬質塩ビ管 φ114撤去 飾り樹：塩ビ製撤去	O	屋外階段 （鉄骨造）	改修前	OP塗り				
		改修後	水洗い			改修後	縦樋：硬質塩ビ管 φ100新設 飾り樹：塩ビ製新設			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り				

設計
監理

類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

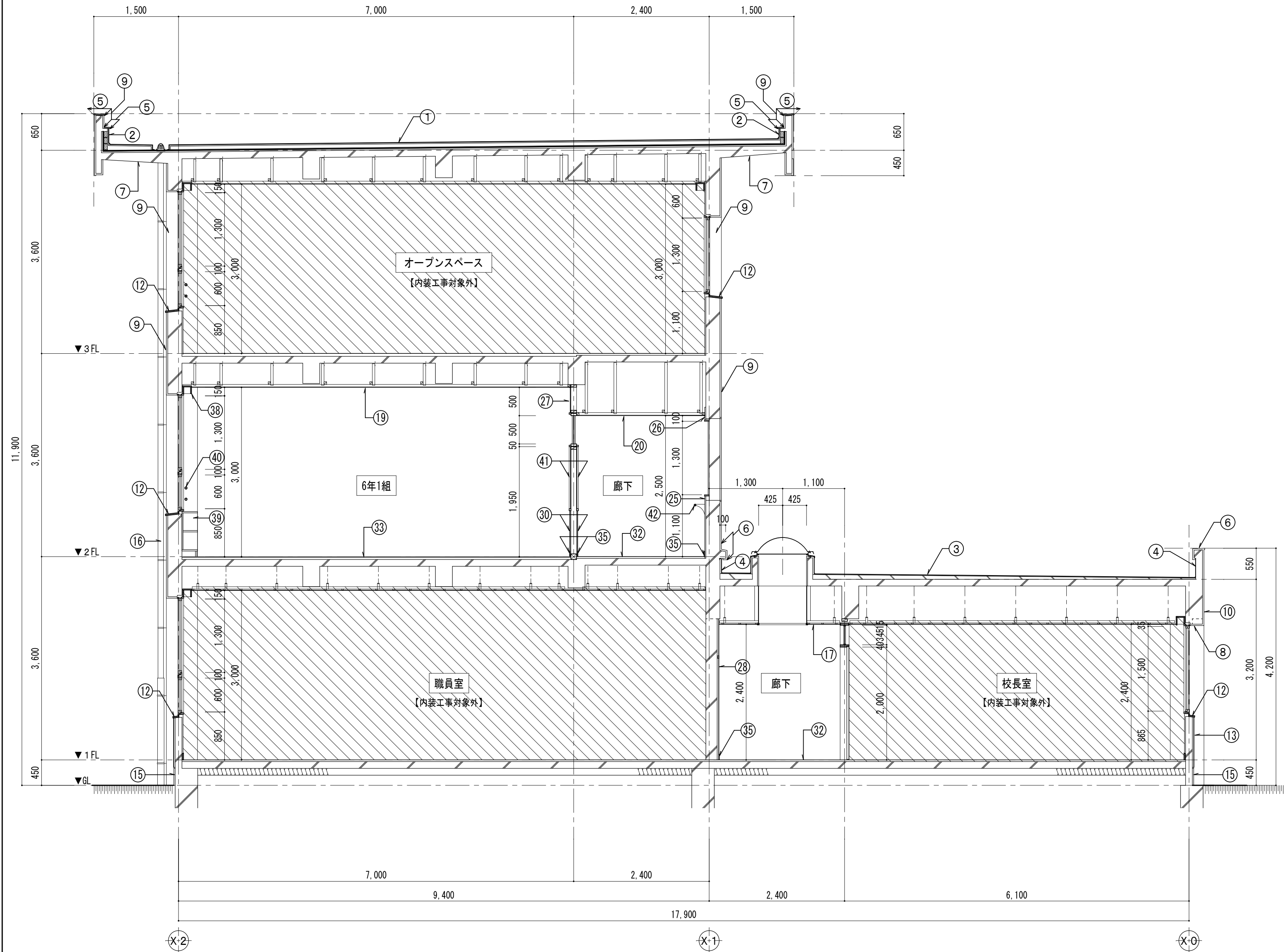
図面名称 縮尺

東立面図 【改修前・後】 S=1/200 (A3:1/282)

図面 No A-050

原因：A 2

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項

①	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
②	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
③	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
④	立上り：既設シート防水	【撤去】
⑤	パラペット笠木：塗布防水	
⑥	パラペット笠木：防水モルタル	
⑦	軒裏：アクリルリシン吹付	
⑧	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
⑨	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
⑩	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
⑪	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
⑫	窓水切り：人研ぎ	
⑬	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
⑮	巾木：モルタル塗りこて押え	
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
⑰	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
⑱	天井：吸音テックス 厚9 張り	
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
⑳	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗	
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗	【撤去】
㉒	天井：モルタル塗り EP塗	【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
㉔	階段裏：モルタル 金こて仕上 EP塗り	
㉕	壁：モルタル金こて仕上 EP塗り	
㉖	壁：RC下地、プラスター塗り	
㉗	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
㉘	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	
㉙	壁：モルタル金こて仕上 VP塗り	
㉚	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りVP	
㉛	腰壁：RC下地、モルタル塗りVP	
㉜	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW	【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㉟	巾木：木製 SOP塗り	
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX	【既設のまま】
㊴	木製収納家具	【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP塗り	【既設のまま】
㊶	掲示板	
㊷	笠掛け金物：GP20A VP塗り	
㊸	木製建具（枠共）	【撤去】
㊹	――	
㊺	――	



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

図面 No

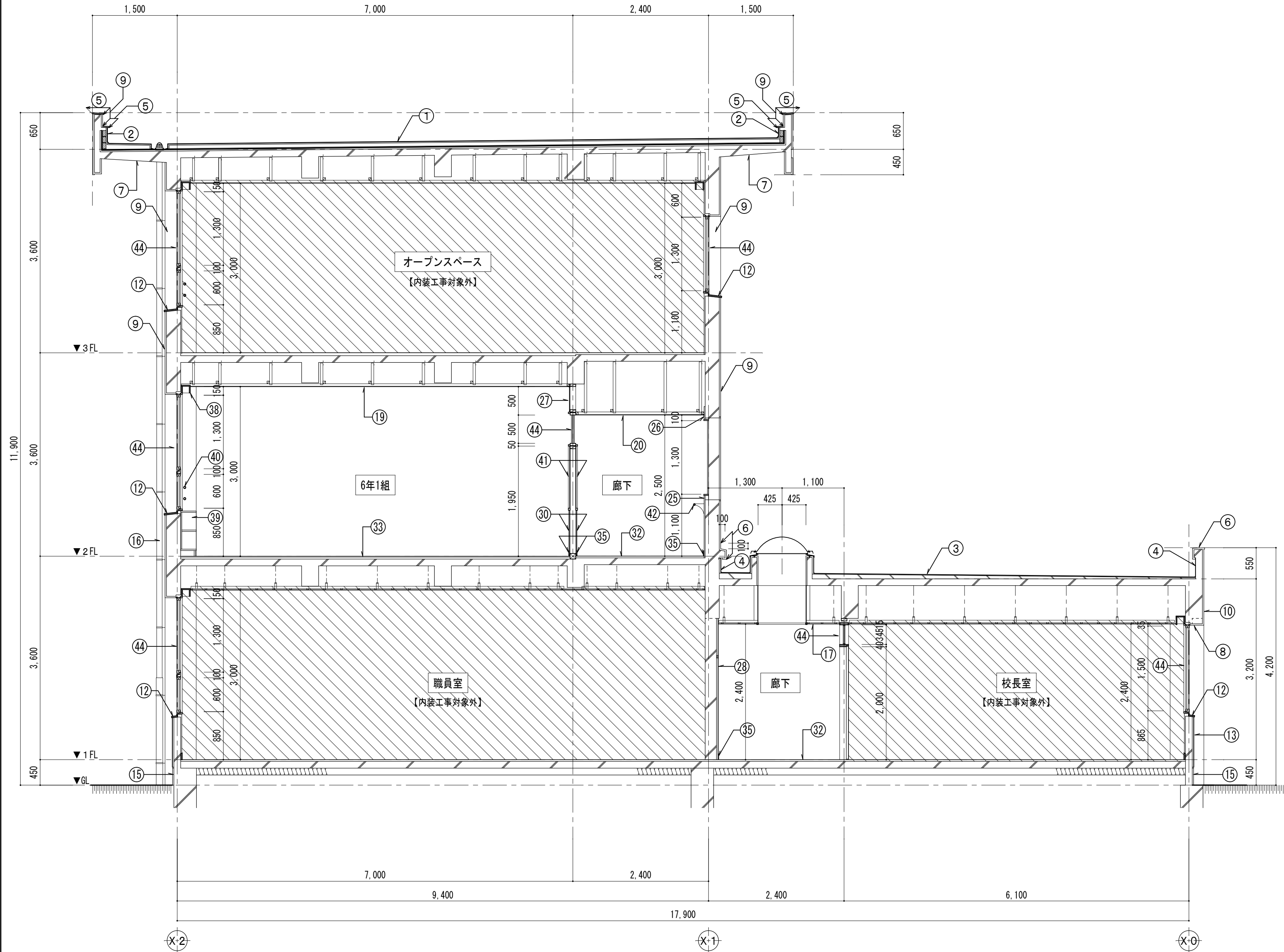
断面詳細図1（改修前）

S=1/50

A-051

原図：A 2

改修後



■ 改修事項	
①	平場：X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
②	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
③	平場：断熱機械固定工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
④	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑤	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑥	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑦	軒裏：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材E吹付
⑧	軒裏：湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、 下地調整塗材（C-2）の上、外装薄塗材E吹付
⑨	外壁・柱・庇：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）
⑩	外壁・柱：湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、 下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系）
⑪	柱（鉄板巻き部）：下地処理RB種の上、DP塗装 ＜既設＞柱（鉄板巻き部）
⑫	窓水切り：水洗い ＜既設＞人研ぎ
⑬	腰壁：水洗い ＜既設＞カラコンモザイクタイル貼り
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル ＜既設＞カラコンモザイクタイル貼り
⑮	巾木：水洗い ＜既設＞モルタル塗りこて押え
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共
⑰	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑱	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑳	天井：下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞吸音テックス 厚9 張り
㉑	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉒	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉓	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉔	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉕	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉖	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉗	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉘	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉙	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉚	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉛	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉜	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉝	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉞	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉟	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊱	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊲	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊳	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊴	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊵	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊶	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊷	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊸	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊹	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊺	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊻	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊼	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊽	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊾	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊿	天井：化粧PB 厚9.5 張り
1	床：長尺シート貼り
2	床：ナラフローリングブロックOSW
3	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り
4	木製巾木：下地処理RB種の上 EP-G塗り
5	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り
6	巾木：人研ぎ
7	木製カーテンBOX
8	木製収納家具
9	転落防止手摺：GP30A VP塗り
10	掲示板シート張替え（破損箇所がある場合は全面張替え）
11	笠掛け金物：下地処理RB種の上 EP-G塗り
12	鋼製建具（防火設備）新設
13	飛散防止フィルム貼り



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺

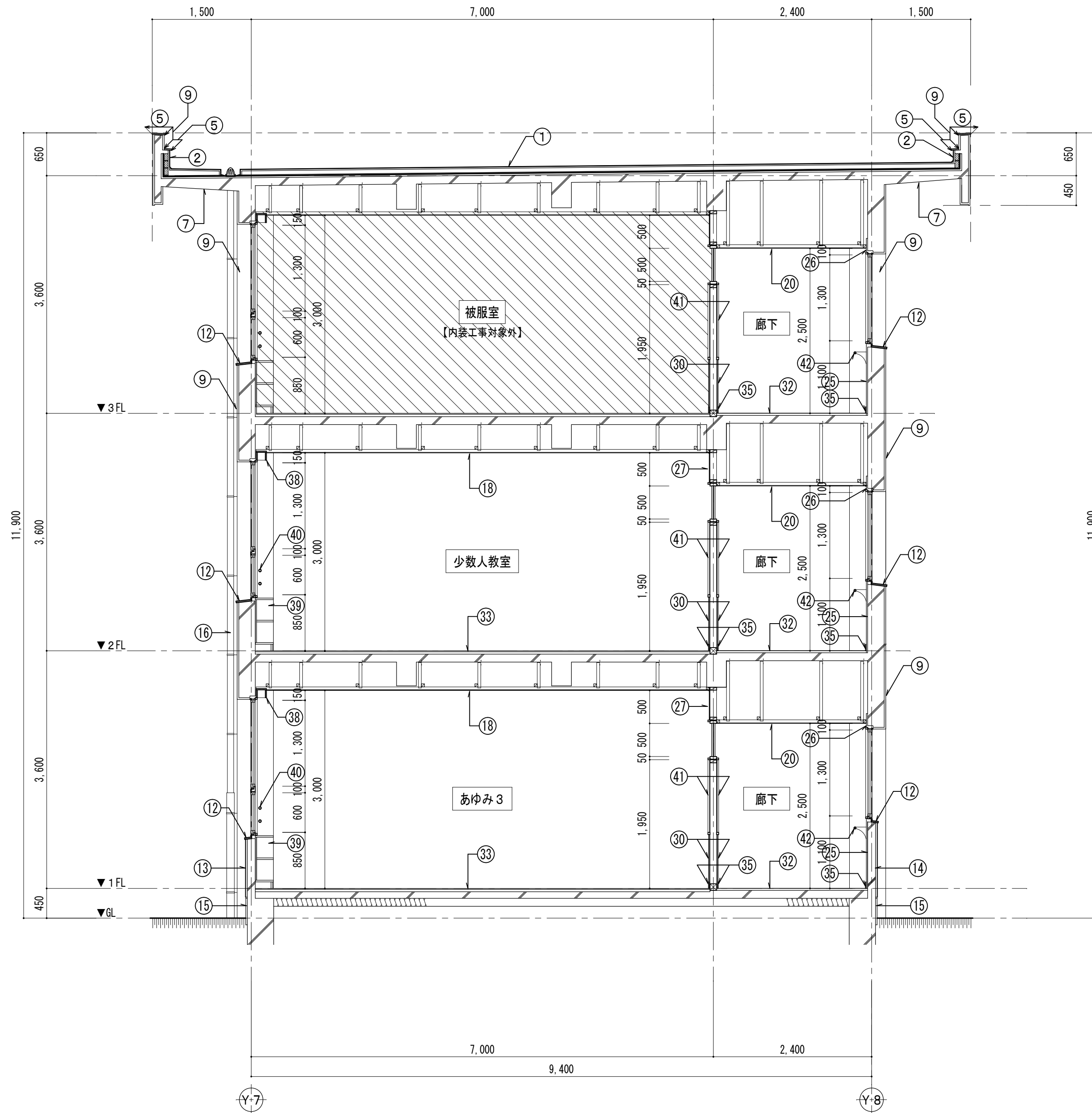
断面詳細図 1 (改修後) S=1/50

図面 No

A-052

原因: A 2

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項

①	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
②	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
③	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
④	立上り：既設シート防水	【撤去】
⑤	パラペット笠木：塗布防水	
⑥	パラペット笠木：防水モルタル	
⑦	軒裏：アクリルリシン吹付	
⑧	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
⑨	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
⑩	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
⑪	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
⑫	窓水切り：人研ぎ	
⑬	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
⑮	巾木：モルタル塗りこて押え	
⑯	竖樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
⑰	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
⑱	天井：吸音テックス 厚9 張り	
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
⑳	天井：PB 厚9 目透かし張り EP 塗	
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP 塗	【撤去】
㉒	天井：モルタル塗り EP 塗	【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
㉔	階段裏：モルタル 金こて仕上 EP 塗り	
㉕	壁：モルタル金こて仕上 EP 塗り	
㉖	壁：RC下地、プラスター塗り	
㉗	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
㉘	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	
㉙	壁：モルタル金こて仕上 VP 塗り	
㉚	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りVP	
㉛	腰壁：RC下地、モルタル塗りVP	
㉜	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW	【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㉟	巾木：木製 SOP 塗り	
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX	【既設のまま】
㊴	木製収納家具	【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP 塗り	【既設のまま】
㊶	掲示板	
㊷	笠掛け金物：GP20A VP 塗り	
㊸	木製建具（枠共）	【撤去】
㊹	――	
㊺	――	



設計監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

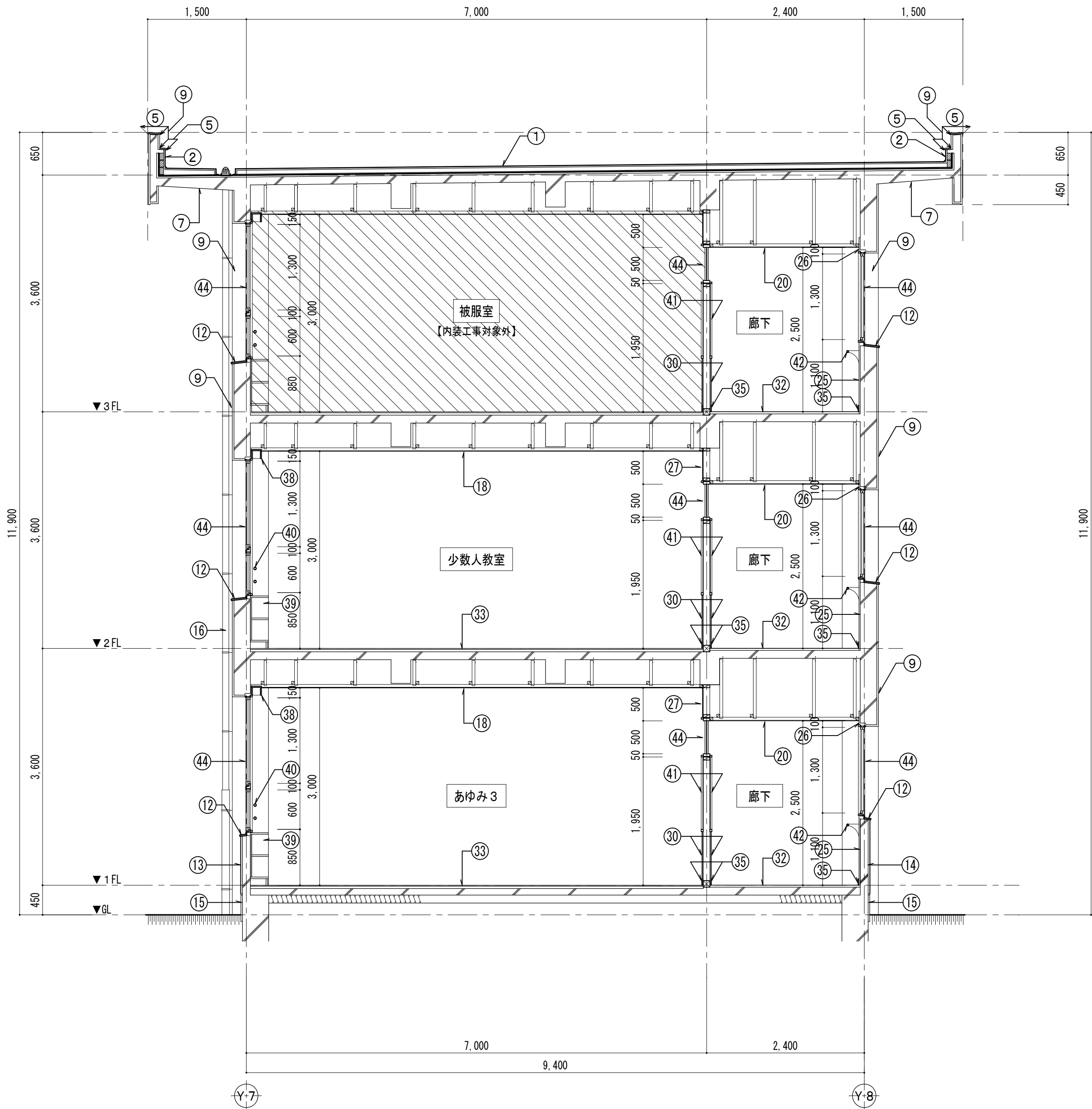
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 2 (改修前)	S=1/50	A-053
.	.	
.	.	
.	.	
		原図: A 2

改修後



■ 改修事項	
①	平場：X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
②	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
③	平場：断熱機械固定工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
④	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑤	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑥	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑦	軒裏：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材吹付
⑧	軒裏：湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上、外装薄塗材E吹付
⑨	外壁・柱・庇：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）
⑩	外壁・柱：湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系）
⑪	柱（鉄板巻き部）：下地処理RB種の上、DP塗装 <既設>柱（鉄板巻き部）
⑫	窓水切り：水洗い <既設>人研ぎ
⑬	腰壁：水洗い <既設>カラコンモザイクタイル貼り
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル <既設>カラコンモザイクタイル貼り
⑮	巾木：水洗い <既設>モルタル塗りこて押え
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共 【新設】
⑰	天井：化粧PB 厚9.5 張り <既設>LGS下地 【新設】
⑱	天井：下地処理RC種の上 EP塗り <既設>吸音テックス 厚9 張り
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】
⑳	天井：下地処理RC種の上 EP塗り <既設> PB 厚9 目透かし張り
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗 【新設】
㉒	天井：モルタル塗り EP塗 【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付 【既設のまま】
㉔	階段裏：下地調整RB種の上 EP塗り <既設>モルタル 金こて仕上 EP塗り
㉕	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉖	壁：プaster面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉗	壁：プaster面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉘	壁：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㉙	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉚	腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉛	腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉜	床：長尺シート貼り 【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW 【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
㉟	木製巾木：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ 【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX 【既設のまま】
㊴	木製収納家具 【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP塗り 【既設のまま】
㊶	掲示板シート張替え（破損箇所がある場合は全面張替え）
㊷	笠掛け金物：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㊸	鋼製建具（防火設備）新設 【新設】
㊹	飛散防止フィルム貼り
㊺	――



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

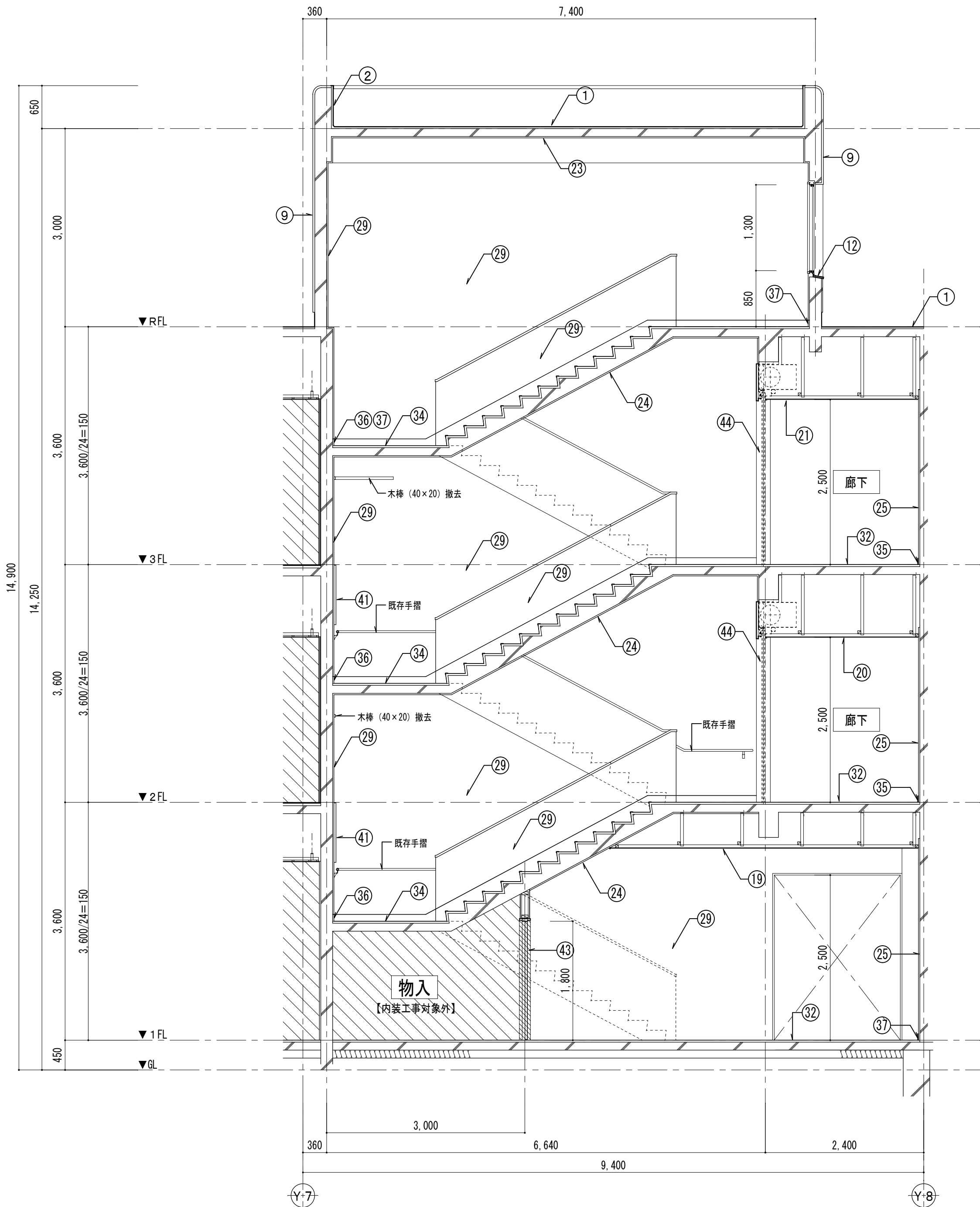
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 2 (改修後)	S=1/50	A-054
		原因: A 2

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項		
①	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
②	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
③	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
④	立上り：既設シート防水	【撤去】
⑤	パラペット笠木：塗布防水	
⑥	パラペット笠木：防水モルタル	
⑦	軒裏：アクリルリシン吹付	
⑧	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
⑨	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
⑩	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
⑪	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
⑫	窓水切り：人研ぎ	
⑬	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
⑮	巾木：モルタル塗りこて押え	
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
⑰	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
⑱	天井：吸音テックス 厚9 張り	
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
⑳	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗	
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗	【撤去】
㉒	天井：モルタル塗り EP塗	【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
㉔	階段裏：モルタル 金こて仕上 EP塗り	
㉕	壁：モルタル金こて仕上 EP塗り	
㉖	壁：RC下地、プラスター塗り	
㉗	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
㉘	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	
㉙	壁：モルタル金こて仕上 VP塗り	
㉚	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りVP	
㉛	腰壁：RC下地、モルタル塗りVP	
㉜	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW	【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㉟	巾木：木製 SOP塗り	
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX	【既設のまま】
㊴	木製収納家具	【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP塗り	【既設のまま】
㊶	掲示板	【一時撤去】
㊷	笠掛け金物：GP20A VP塗り	
㊸	木製建具（枠共）	【撤去】
㊹	建具鉄鋼面：OP塗	
㊺	――	



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

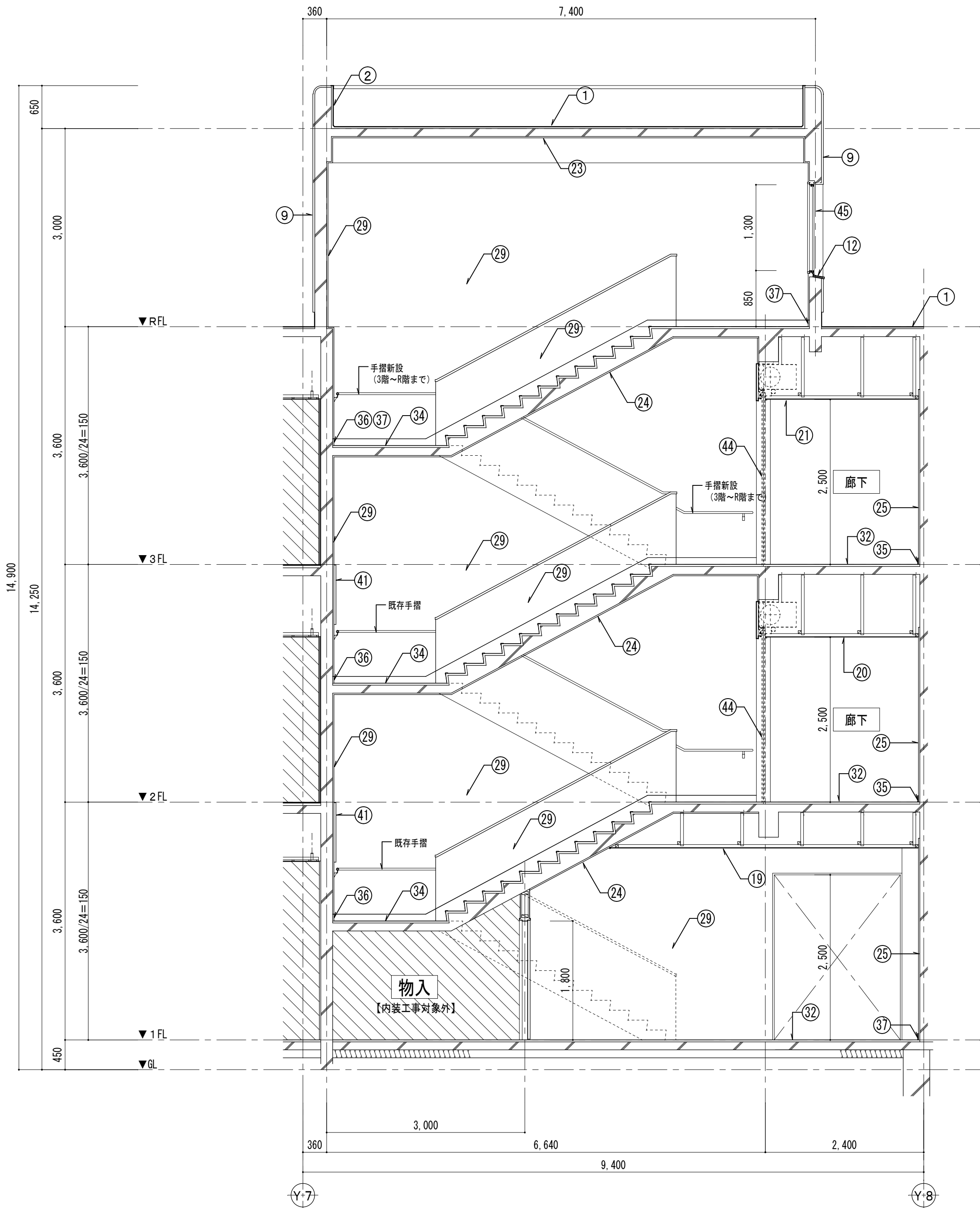
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No A-055 原図 : A 2
断面詳細図 3 (改修前)	S=1/50	
	.	
	.	
	.	
	.	

改修後



■ 改修事項	
①	平場：X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
②	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
③	平場：断熱機械固定工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
④	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑤	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑥	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑦	軒裏：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材E吹付
⑧	軒裏：湿式集塵機付きデイスケラインダーク工法、下地調整塗材（C-2）の上、外装薄塗材E吹付
⑨	外壁・柱・庇：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）
⑩	外壁・柱：湿式集塵機付きデイスケラインダーク工法、下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系）
⑪	柱（鉄板巻き部）：下地処理RB種の上、DP塗
⑫	窓水切り：水洗い
⑬	腰壁：水洗い
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り
⑮	巾木：水洗い
⑯	天井：モルタル塗りこて押え
⑰	天井：硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共
⑱	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑳	天井：下地処理RC種の上 EP塗り
㉑	天井：下地処理RC種の上 EP塗り
㉒	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗
㉓	天井：モルタル塗り EP塗
㉔	天井：アクリルリシン吹付
㉕	階段裏：下地処理RB種の上 EP塗り
㉖	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉗	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉘	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉙	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉚	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉛	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉜	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉝	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉞	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉟	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊱	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊲	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊳	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊴	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊵	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊶	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊷	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊸	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊹	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊺	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊻	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊼	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊽	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊾	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㊿	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
1	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
2	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
3	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
4	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
5	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
6	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
7	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
8	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
9	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
10	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
11	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
12	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
13	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
14	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
15	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
16	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
17	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
18	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
19	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
20	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
21	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
22	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
23	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
24	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
25	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
26	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
27	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
28	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
29	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
30	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
31	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
32	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
33	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
34	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
35	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
36	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
37	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
38	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
39	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
40	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
41	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
42	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
43	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
44	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
45	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 N o

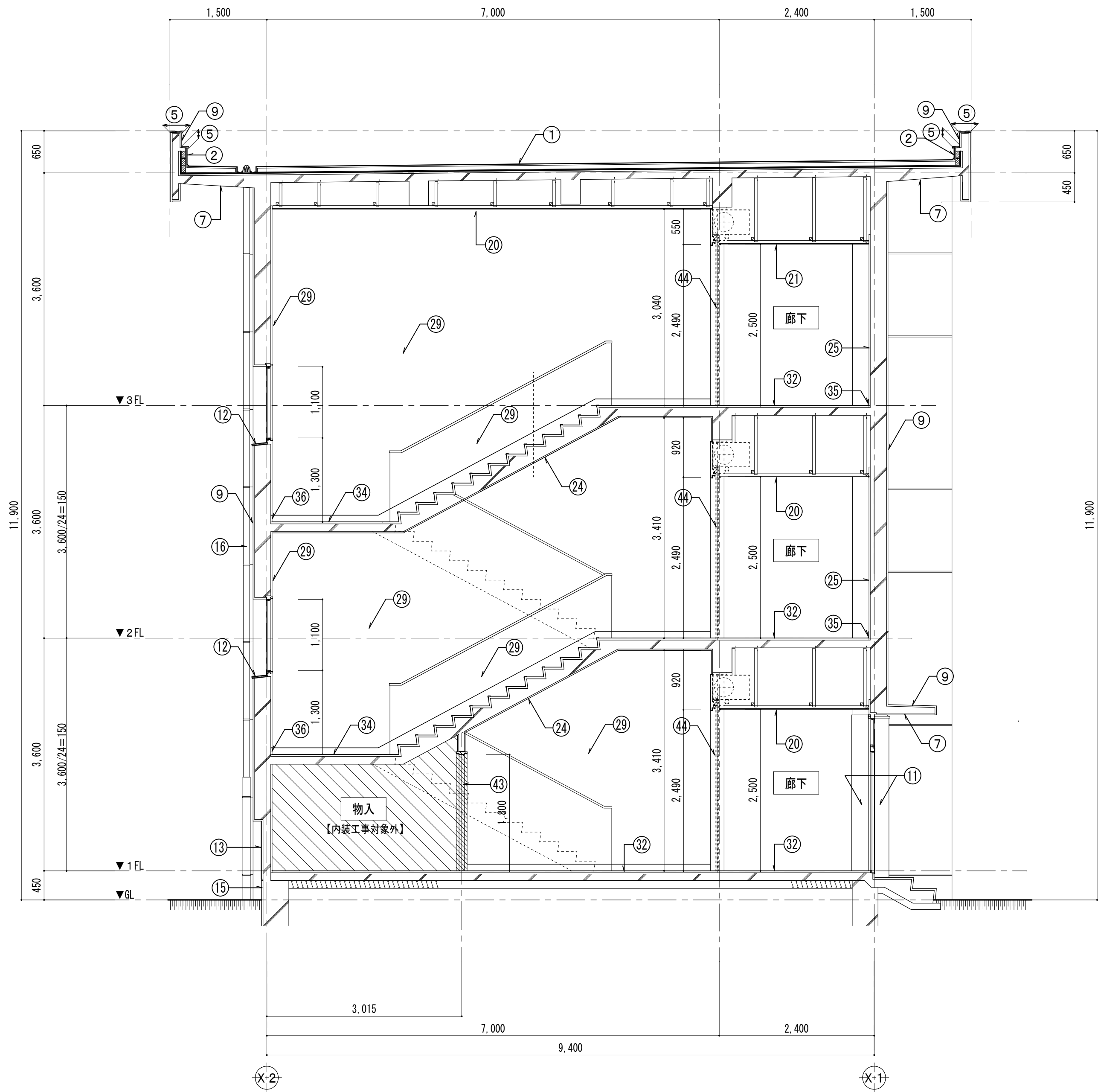
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 3 (改修後)	S=1/50	A-056

原因: A 2

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項		
①	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
②	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
③	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
④	立上り：既設シート防水	【撤去】
⑤	パラペット笠木：塗布防水	
⑥	パラペット笠木：防水モルタル	
⑦	軒裏：アクリルリシン吹付	
⑧	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
⑨	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
⑩	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
⑪	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
⑫	窓水切り：人研ぎ	
⑬	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
⑮	巾木：モルタル塗りこて押え	
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
⑰	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
⑱	天井：吸音テックス 厚9 張り	
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
⑳	天井：PB 厚9 目透かし張り EP 塗	
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP 塗	【撤去】
㉒	天井：モルタル塗り EP 塗	【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
㉔	階段裏：モルタル 金こて仕上 EP 塗り	
㉕	壁：モルタル金こて仕上 EP 塗り	
㉖	壁：RC下地、プラスター塗り	
㉗	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
㉘	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	
㉙	壁：モルタル金こて仕上 VP 塗り	
㉚	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りVP	
㉛	腰壁：RC下地、モルタル塗りVP	
㉜	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW	【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㉟	巾木：木製 SOP 塗り	
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX	【既設のまま】
㊴	木製収納家具	【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP 塗り	【既設のまま】
㊶	掲示板	
㊷	笠掛け金物：GP20A VP 塗り	
㊸	木製建具（枠共）	【撤去】
㊹	建具鉄鋼面：OP 塗	
㊺	—	



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

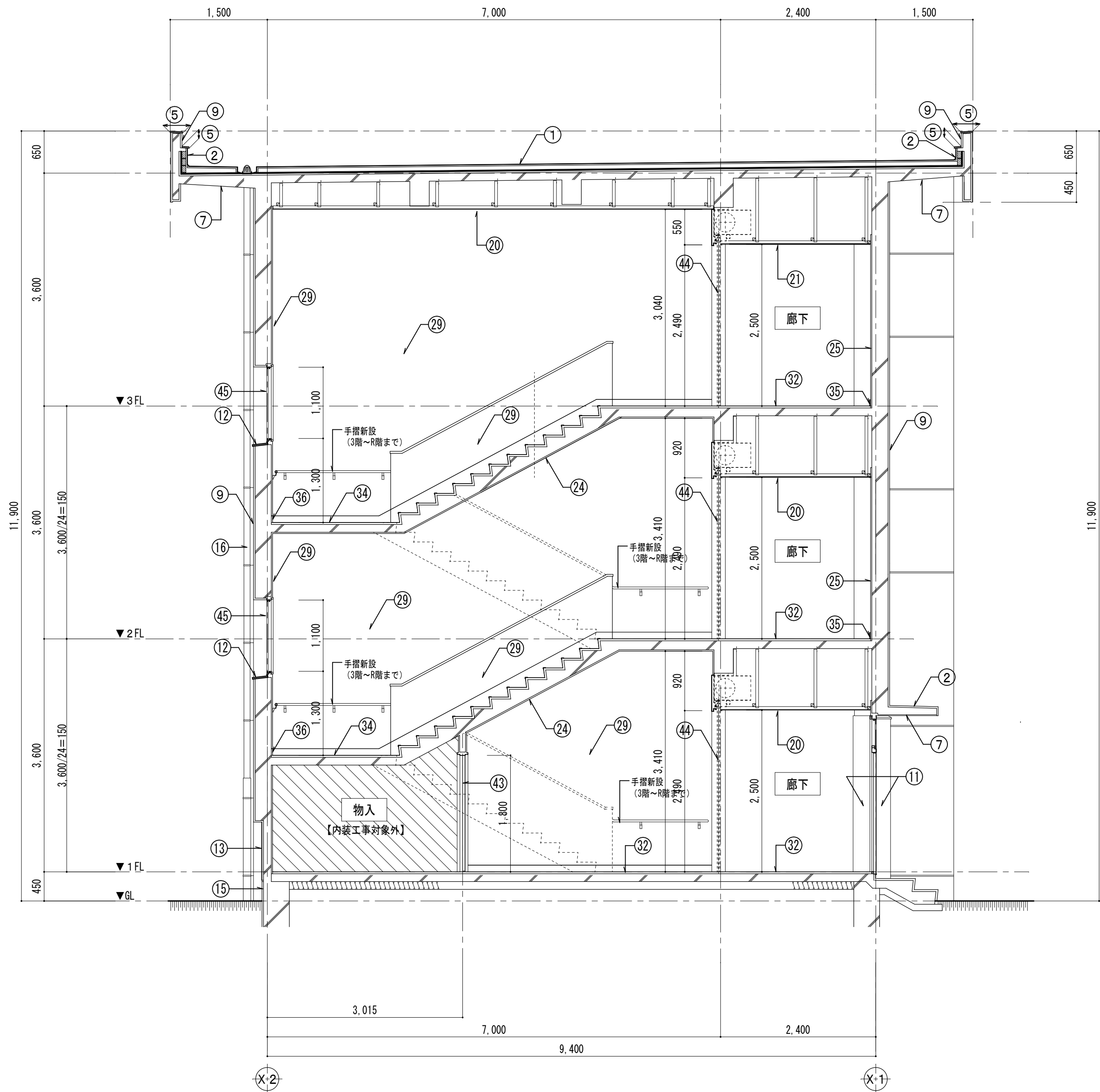
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 4 (改修前)	S=1/50	A-057
		原因: A 2

改修後



■ 改修事項

- | | |
|---|--|
| ① | 平場：X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ② | 立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ③ | 平場：断熱機械固定工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ④ | 立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ⑤ | パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ⑥ | パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ⑦ | 軒裏：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材E吹付 |
| ⑧ | 軒裏：湿式集塵機付きデイスケラインダーク工法、下地調整塗材（C-2）、外装薄塗材E吹付 |
| ⑨ | 外壁・柱・庇：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系） |
| ⑩ | 外壁・柱：湿式集塵機付きデイスケラインダーク工法、下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系） |
| ⑪ | 柱（鉄板巻き部）：下地処理RB種の上、DP塗装<既設>柱（鉄板巻き部） |
| ⑫ | 窓水切り：水洗い<既設>人研ぎ |
| ⑬ | 腰壁：水洗い<既設>カラコンモザイクタイル貼り |
| ⑭ | 腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル<既設>カラコンモザイクタイル貼り |
| ⑮ | 巾木：水洗い<既設>モルタル塗りこて押え |
| ⑯ | 縦樋：硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共 |
| ⑰ | 天井：化粧PB 厚9.5 張り<既設>LGS下地 |
| ⑱ | 天井：下地処理RC種の上 EP塗り<既設>吸音テックス 厚9 張り |
| ⑲ | 天井：化粧PB 厚9.5 張り |
| ⑳ | 天井：下地処理RC種の上 EP塗り<既設> PB 厚9 目透かし張り |
| ㉑ | 天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗 |
| ㉒ | 天井：モルタル塗り EP塗 |
| ㉓ | 天井：アクリルリシン吹付 |
| ㉔ | 階段裏：下地処理RB種の上 EP塗り<既設>モルタル 金こて仕上 EP塗り |
| ㉕ | 壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉖ | 壁：プラスター面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉗ | 壁：プラスター面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉘ | 壁：下地処理RB種の上 EP-G塗り |
| ㉙ | 壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉚ | 腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉛ | 腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉜ | 床：長尺シート貼り |
| ㉝ | 床：ナラフローリングブロックOSW |
| ㉞ | 階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り |
| ㉟ | 木製巾木：下地処理RB種の上 EP-G塗り |
| ㊱ | 巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り |
| ㊲ | 巾木：人研ぎ |
| ㊳ | 木製カーテンBOX |
| ㊴ | 木製収納家具 |
| ㊵ | 転落防止手摺：GP30A VP塗り |
| ㊶ | 掲示板シート張替え（破損箇所がある場合は全面張替え） |
| ㊷ | 笠掛け金物：下地処理RB種の上 EP-G塗り |
| ㊸ | 鋼製建具（防火設備）新設 |
| ㊹ | 建具鋼製面：下地調整RB種の上 EP-G塗り |
| ㊺ | 飛散防止フィルム貼り |



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

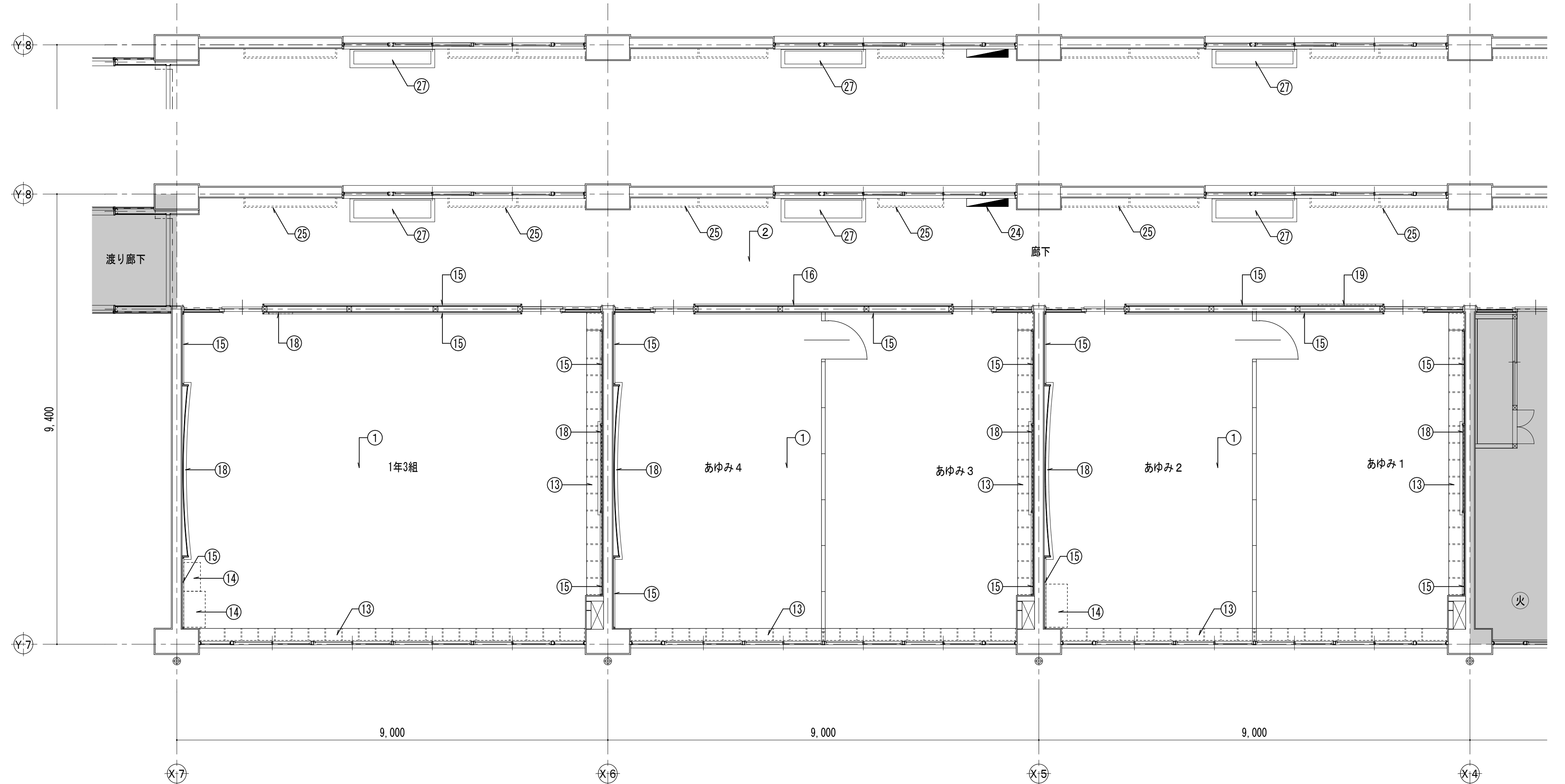
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 4 (改修後)	S=1/50	A-058

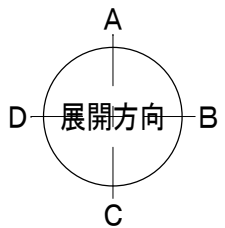
原因: A 2



■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪	卒業記念作品	——	既存のまま	⑳
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	㉑
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	——	既存のまま	⑬	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉒
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	——	既存のまま	㉓
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	——	既存のまま	⑮	傘掛け	——	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉔
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉕
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	㉖
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧	黒板	——	既存のまま	⑱	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	㉗
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	㉘
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉚	手摺	——	塩ビ手摺新設	㉙

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

既存のままを示す（内装工事範囲外）



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

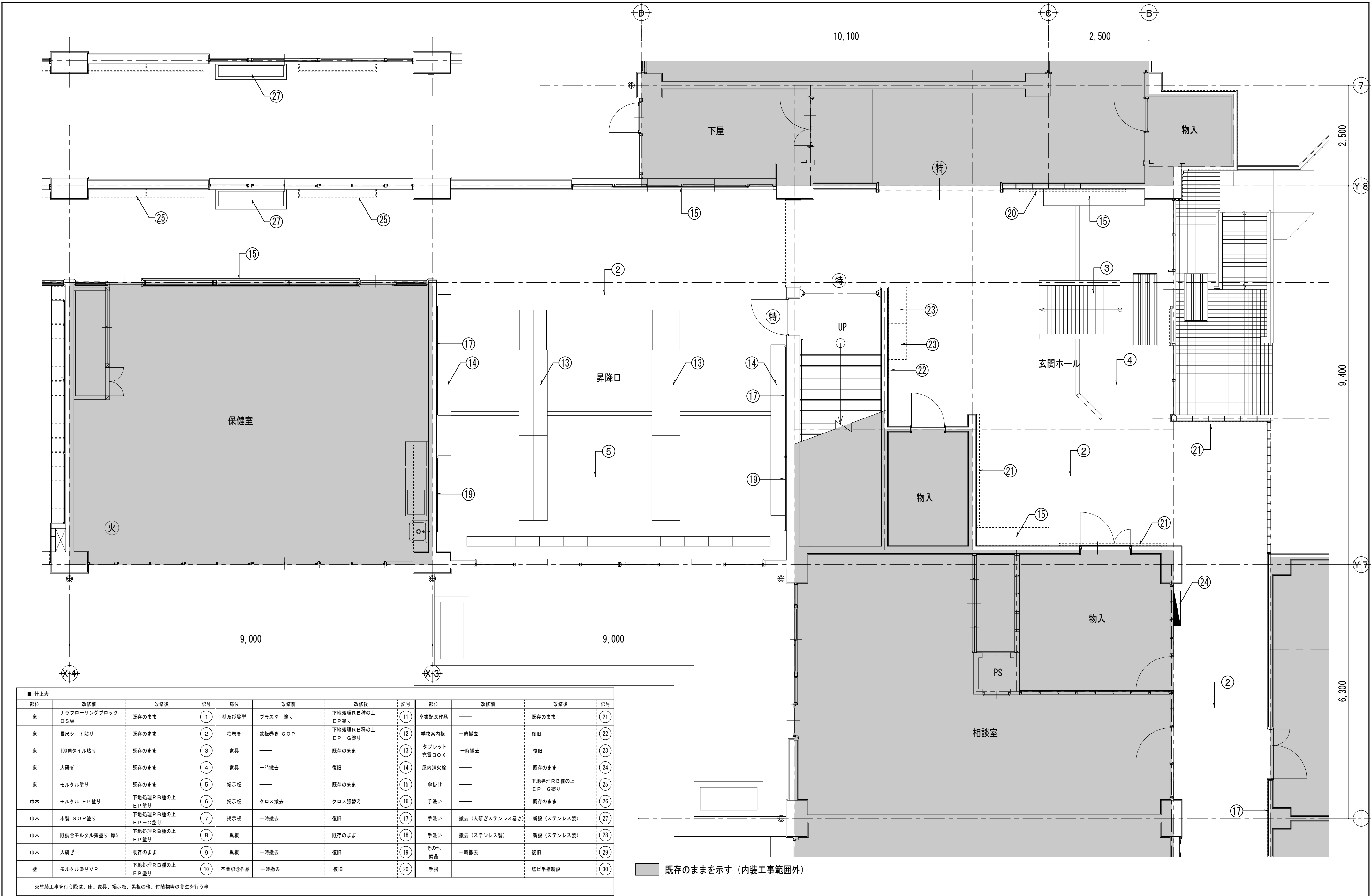
1階 平面詳細図 1
【改修前・改修後】

S=1/60 (A3:1/85)

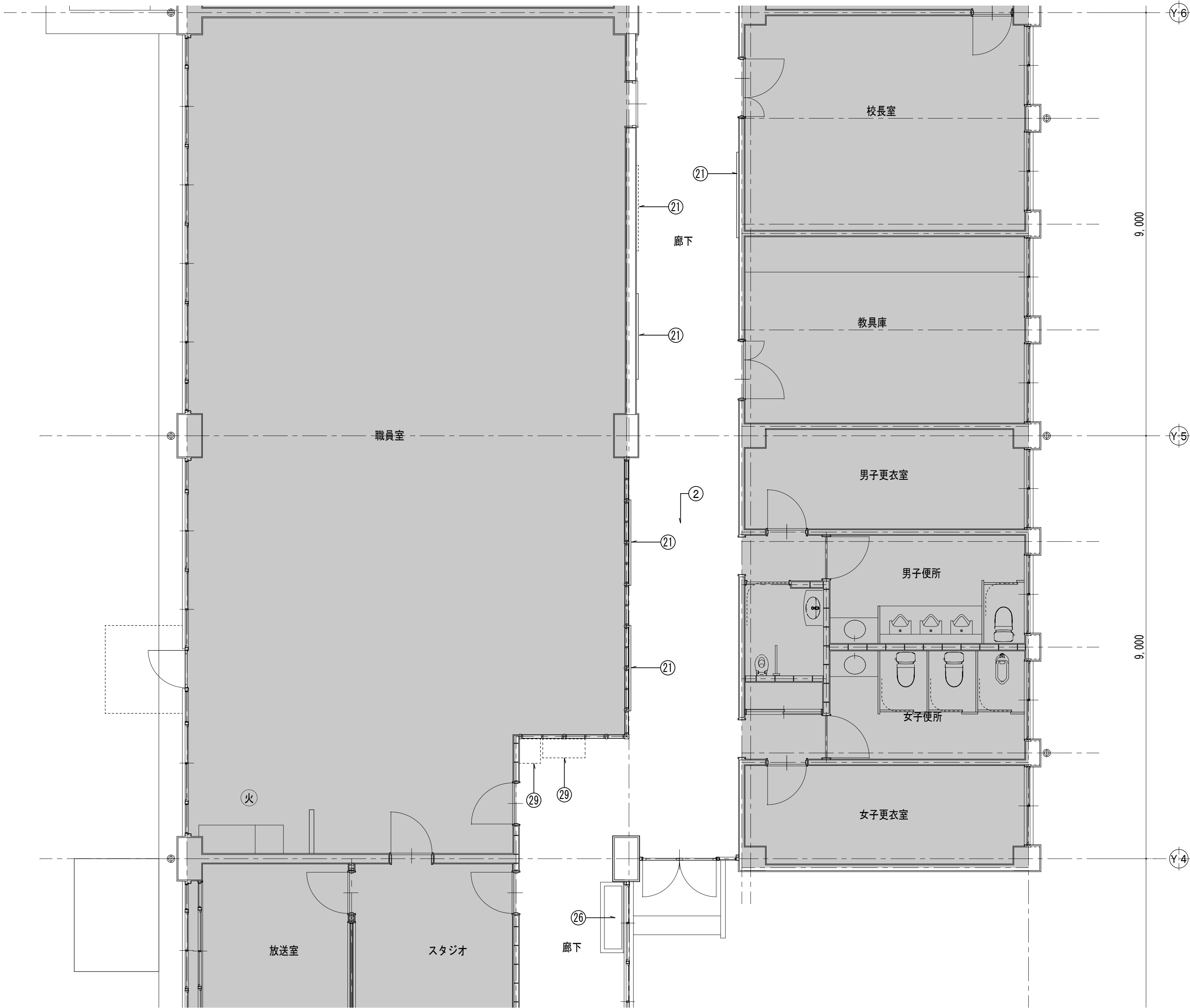
図面 No

A-059

原図: A 2



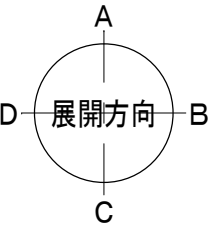
■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑪	卒業記念作品	——	既存のまま	⑲
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き　ＳＯＰ	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	⑳
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	——	既存のまま	⑬	タブレット 充電ＢＯＸ	一時撤去	復旧	㉑
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	——	既存のまま	㉒
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	——	既存のまま	⑮	傘掛け	——	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	㉓
巾木	モルタル　ＥＰ塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	——	既存のまま	㉔
巾木	木製　ＳＯＰ塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	㉕
巾木	既調合モルタル薄塗り　厚5	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑧	黒板	——	既存のまま	⑱	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	㉖
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	㉗
壁	モルタル塗り　ＶＰ	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉒	手摺	——	塩ビ手摺新設	㉘
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物の養生を行う事											



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック O S W	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑥
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑩
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電 B O X	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	㉕
手洗い	—	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	—	塩ビ手摺新設	㉚

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

1階 平面詳細図 3

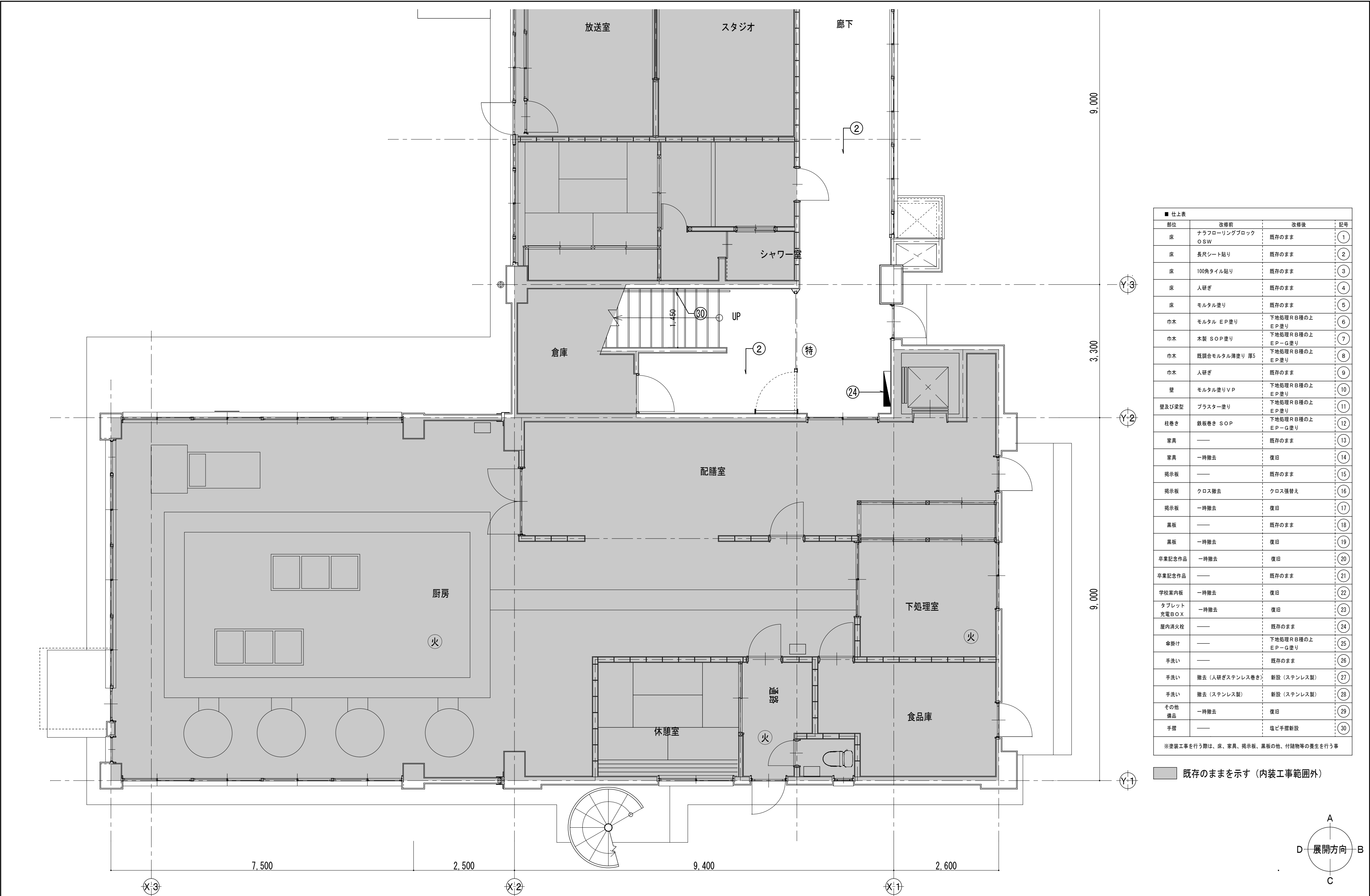
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

図面 No

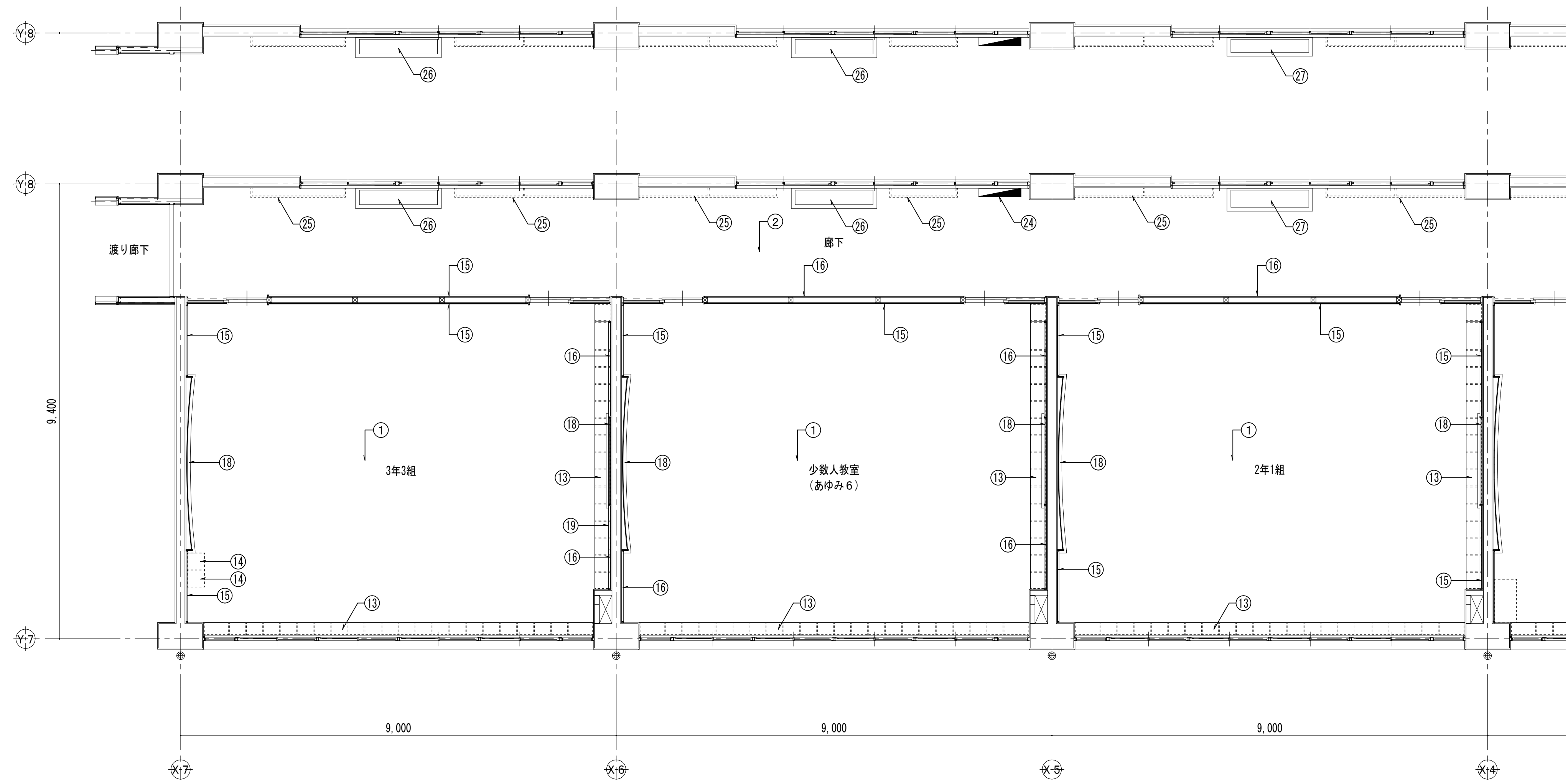
A-061

原図: A 2



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック O S W	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑥
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑩
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電 B O X	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	㉕
手洗い	—	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	—	塩ビ手摺新設	㉚

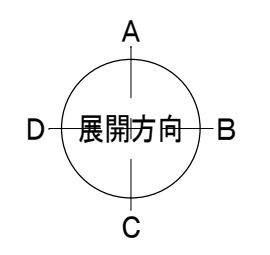
■ 既存のままを示す (内装工事範囲外)

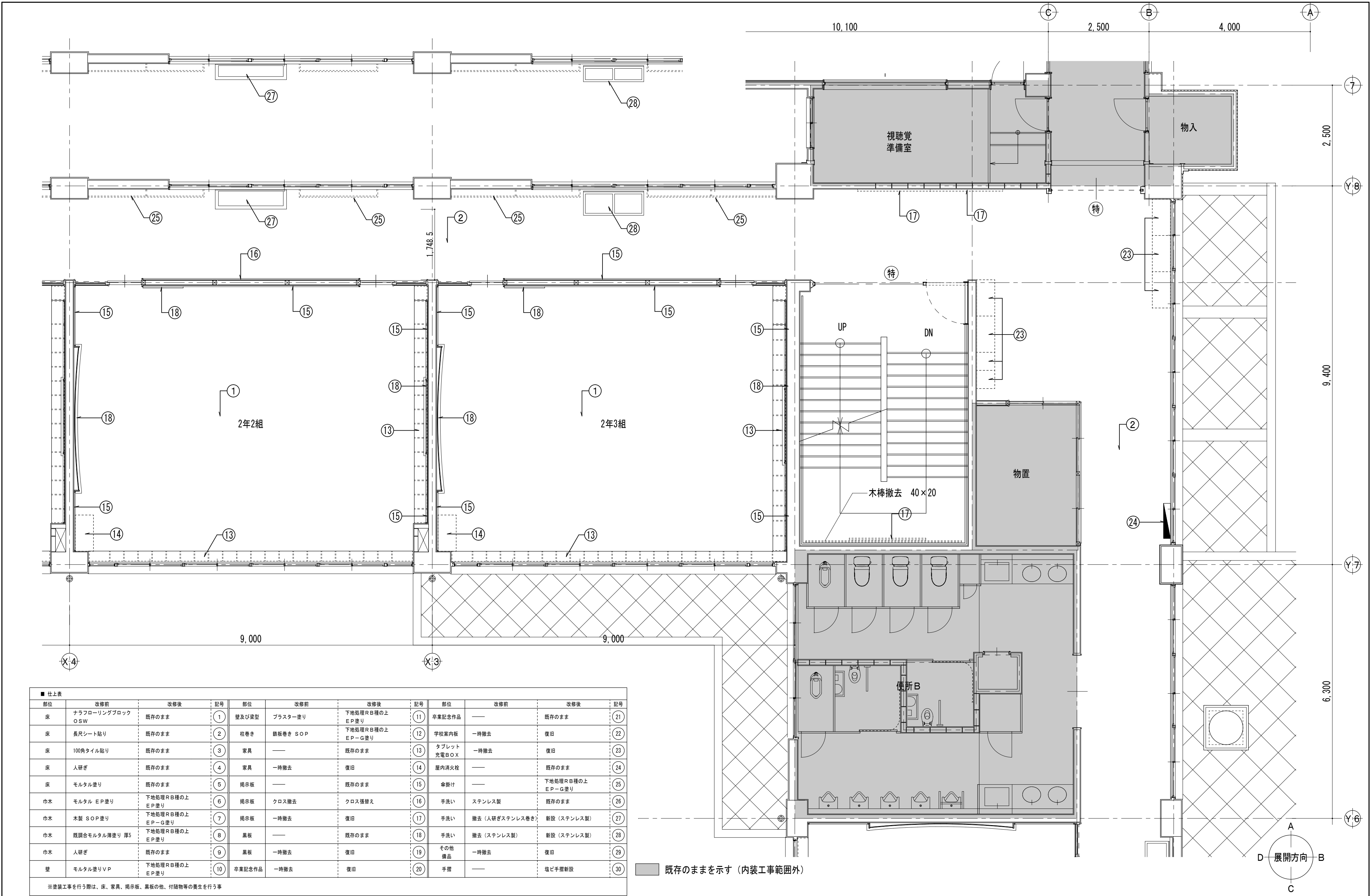


■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	1	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理R B種の上 EP塗り	11	卒業記念作品	—	既存のまま	21
床	長尺シート貼り	既存のまま	2	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理R B種の上 EP-G塗り	12	学校案内板	一時撤去	復旧	22
床	100角タイル貼り	既存のまま	3	家具	—	既存のまま	13	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	23
床	人研ぎ	既存のまま	4	家具	一時撤去	復旧	14	屋内消火栓	—	既存のまま	24
床	モルタル塗り	既存のまま	5	掲示板	—	既存のまま	15	傘掛け	—	下地処理R B種の上 EP-G塗り	25
巾木	モルタル EP塗り	下地処理R B種の上 EP塗り	6	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	16	手洗い	ステンレス製	既存のまま	26
巾木	木製 SOP塗り	下地処理R B種の上 EP-G塗り	7	掲示板	一時撤去	復旧	17	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	27
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理R B種の上 EP塗り	8	黒板	—	既存のまま	18	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	28
巾木	人研ぎ	既存のまま	9	黒板	一時撤去	復旧	19	その他 備品	一時撤去	復旧	29
壁	モルタル塗り VP	下地処理R B種の上 EP塗り	10	卒業記念作品	一時撤去	復旧	20	手摺	—	塩ビ手摺新設	30

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

既存のままを示す (内装工事範囲外)

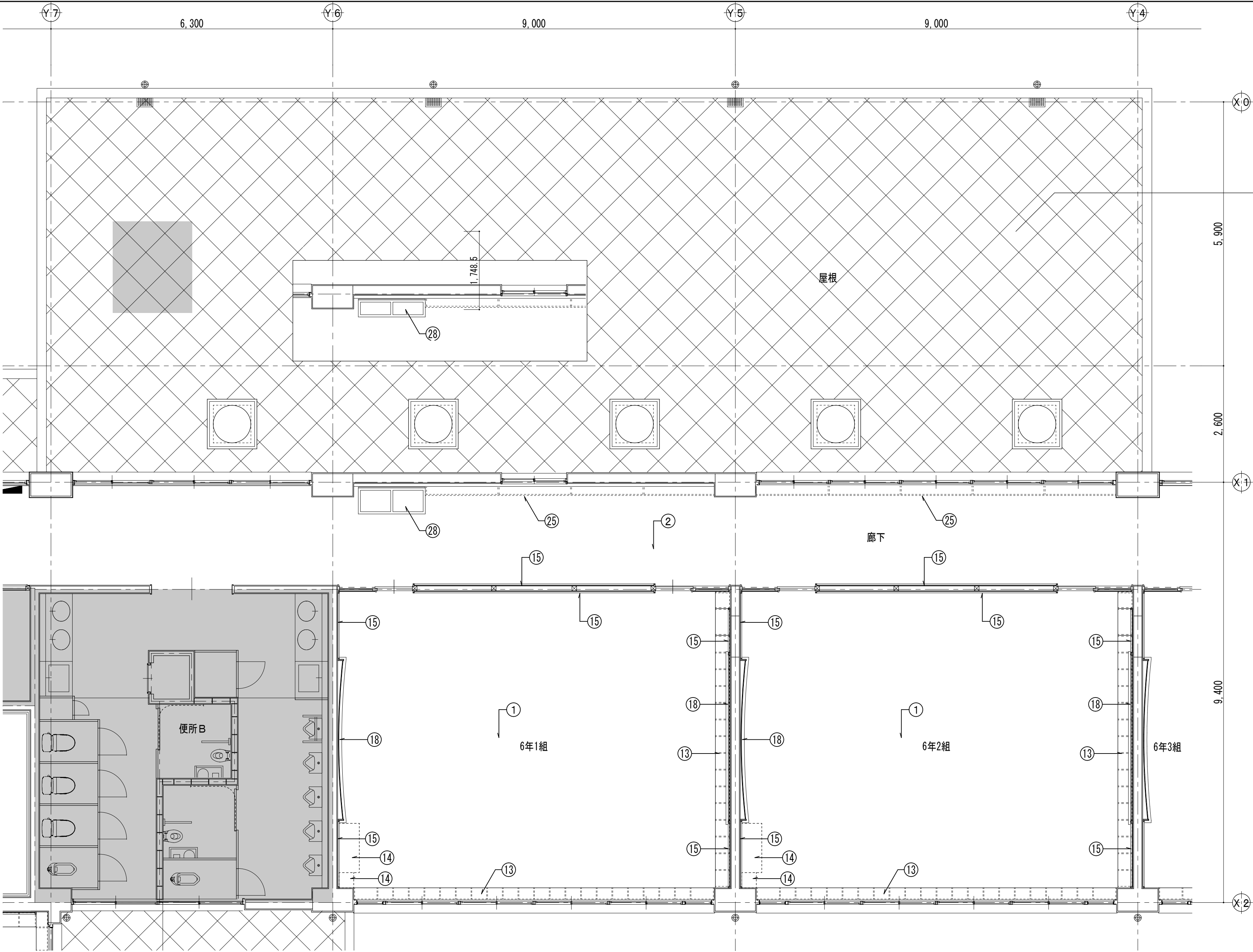




■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理R B種の上 E P塗り	⑪	卒業記念作品	—	既存のまま	⑳
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理R B種の上 E P-G塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	㉑
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	—	既存のまま	⑬	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉒
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	—	既存のまま	㉓
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	—	既存のまま	⑮	傘掛け	—	下地処理R B種の上 E P-G塗り	㉔
巾木	モルタル E P塗り	下地処理R B種の上 E P塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉕
巾木	木製 SOP塗り	下地処理R B種の上 E P-G塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉖
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理R B種の上 E P塗り	⑧	黒板	—	既存のまま	⑱	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉗
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	㉑	その他 備品	一時撤去	復旧	㉘
壁	モルタル塗り VP	下地処理R B種の上 E P塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉒	手摺	—	塩ビ手摺新設	㉙

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

既存のままを示す (内装工事範囲外)

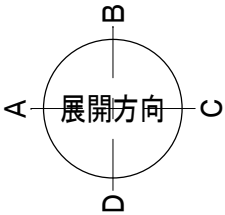


CBブロック 撤去 30個程度

■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁及び梁型	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩
柱巻き	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉕
手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	—	塩ビ手摺新設	㉚

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

2階 平面図詳細3

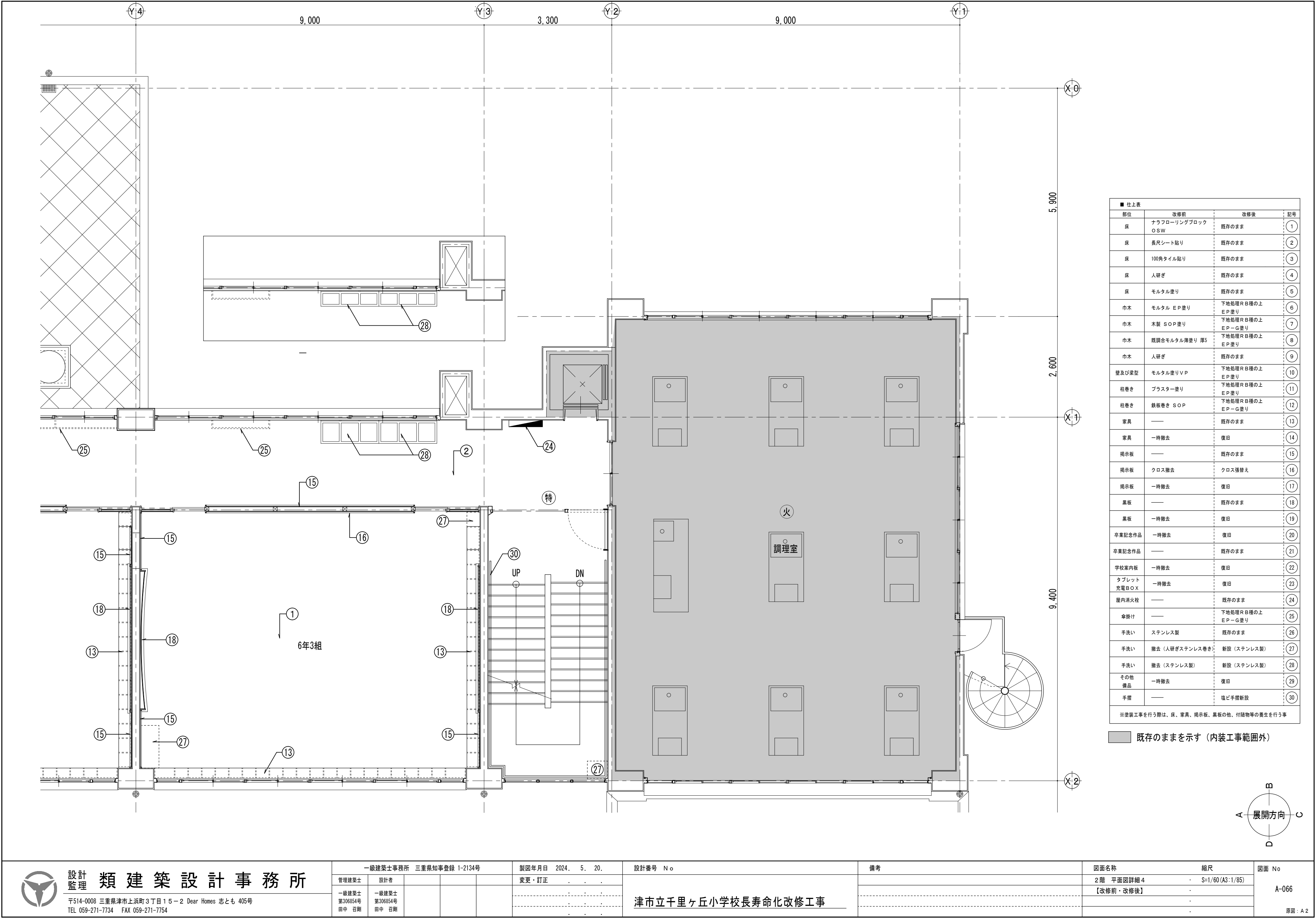
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

図面 No

A-065

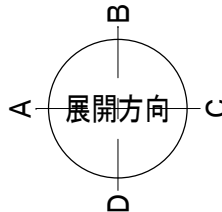
原図: A 2



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁及び梁型	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩
柱巻き	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉕
手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	—	塩ビ手摺新設	㉚

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

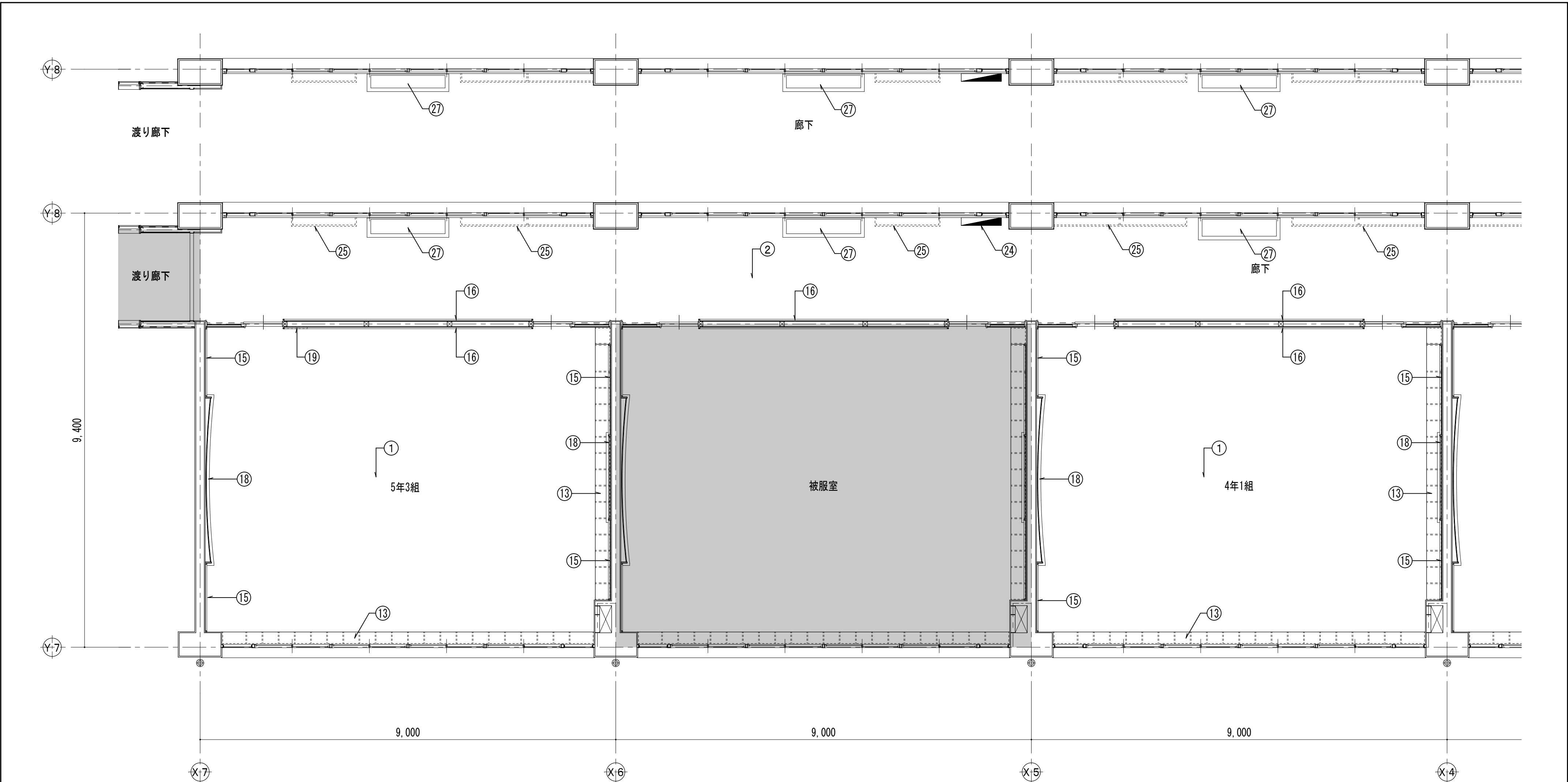
図面名称 縮尺

2階 平面図詳細 4	S=1/60 (A3:1/85)
【改修前・改修後】	

図面 No

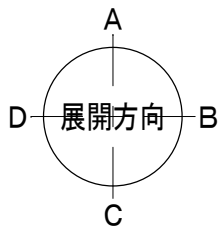
A-066

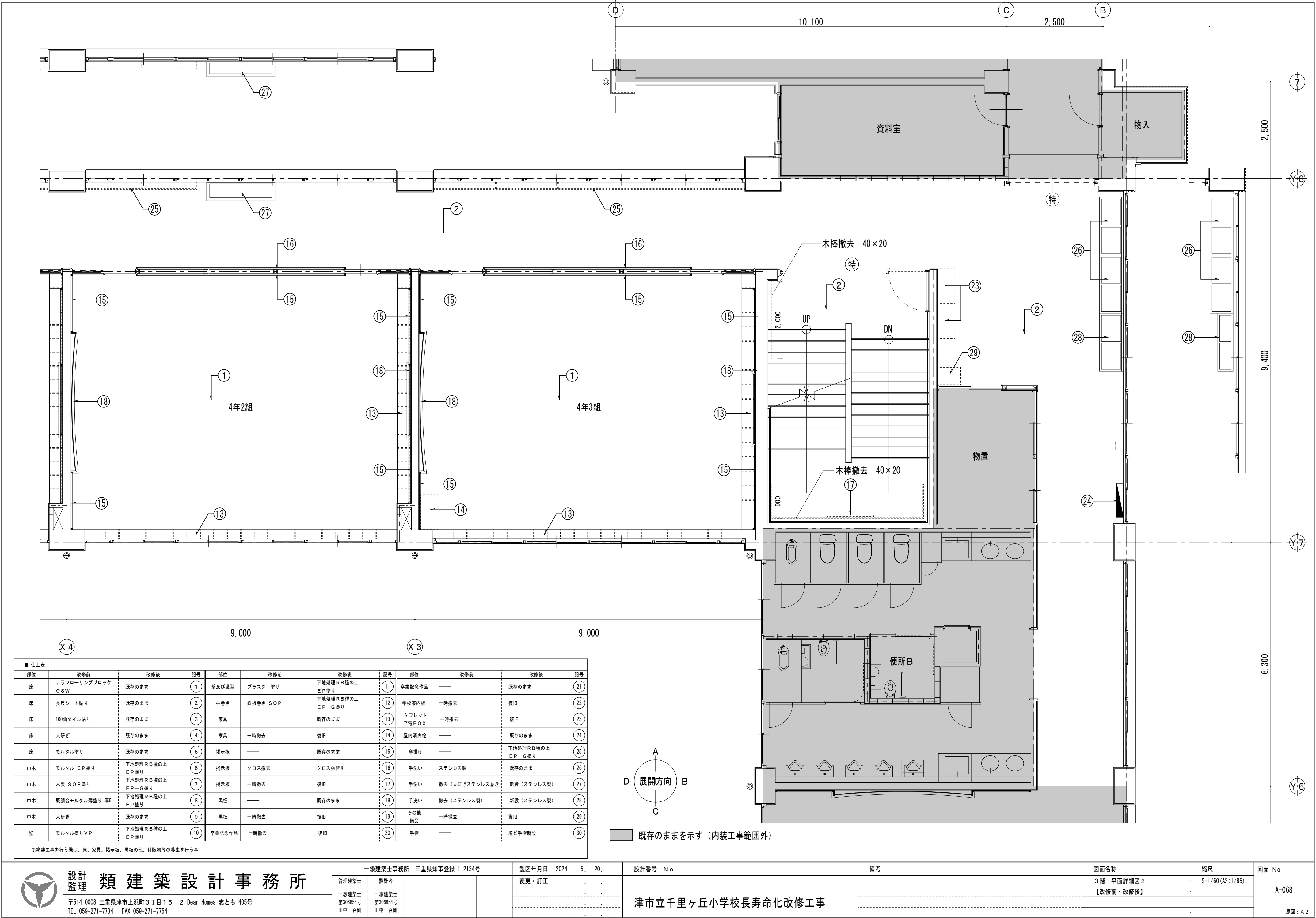
原図: A 2



■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑪	卒業記念作品	——	既存のまま	⑳
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き　ＳＯＰ	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	㉑
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	——	既存のまま	⑬	タブレット 充電ＢＯＸ	一時撤去	復旧	㉒
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	——	既存のまま	㉓
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	——	既存のまま	⑮	傘掛け	——	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	㉔
巾木	モルタル　ＥＰ塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉕
巾木	木製　ＳＯＰ塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	㉖
巾木	既調合モルタル薄塗り　厚5	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑧	黒板	——	既存のまま	⑱	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	㉗
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	㉘
壁	モルタル塗り　ＶＰ	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉚	手摺	——	塩ビ手摺新設	㉙
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											

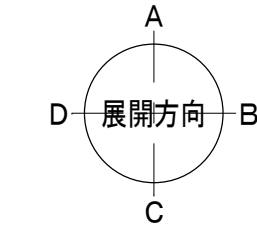
既存のままを示す (内装工事範囲外)



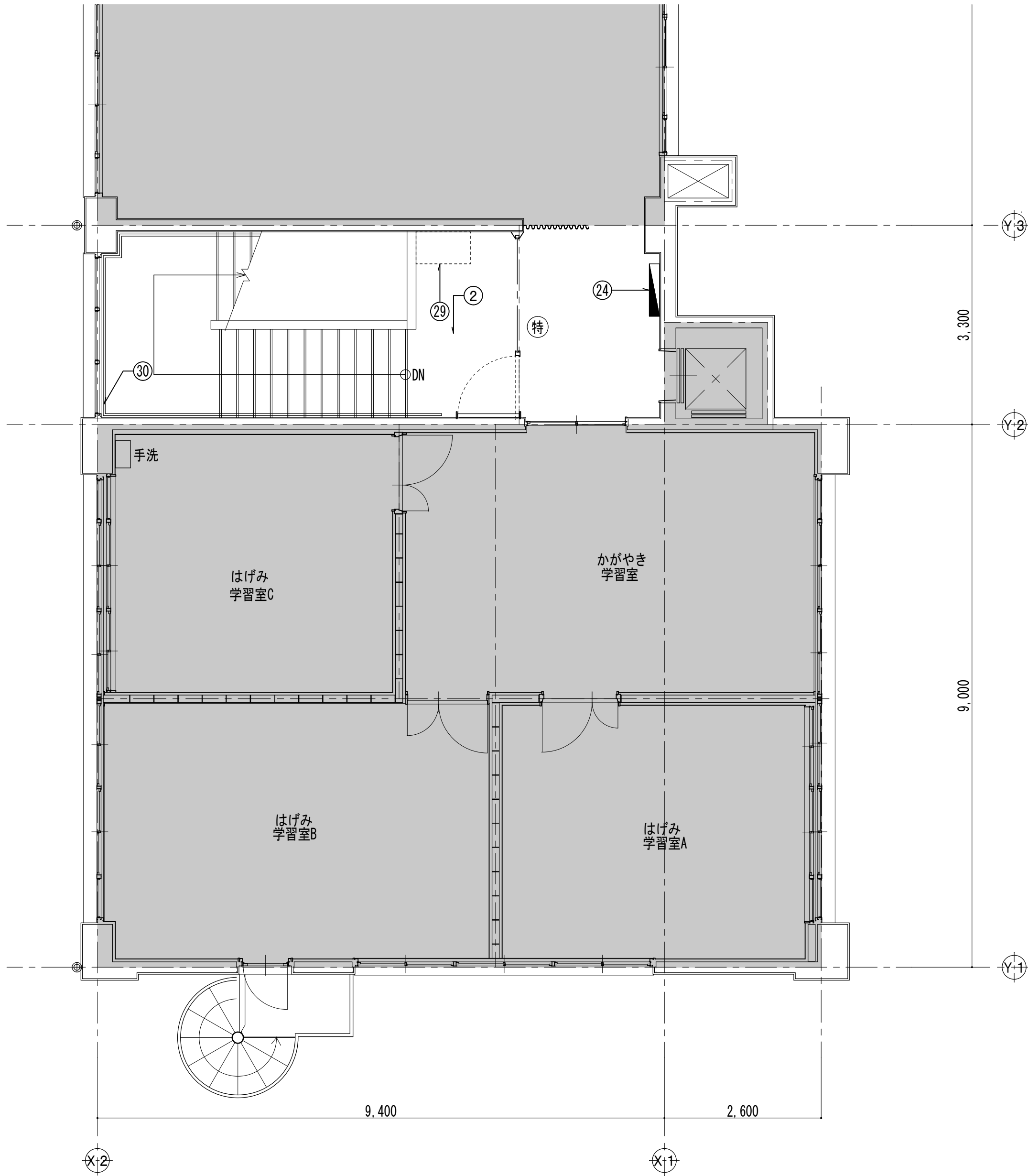


■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック O S W	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑪	卒業記念作品	—	既存のまま	⑲
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	⑳
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	—	既存のまま	⑬	タブレット充電 B O X	一時撤去	復旧	㉓
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	—	既存のまま	⑮	傘掛け	—	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	㉕
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑧	黒板	—	既存のまま	⑱	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他備品	一時撤去	復旧	㉙
壁	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉚	手摺	—	塩ビ手摺新設	㉛

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

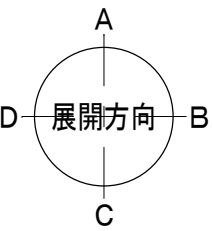


既存のままを示す (内装工事範囲外)



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁及び梁型	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩
柱巻き	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫
家具	――	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	――	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	――	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	――	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	――	既存のまま	㉔
傘掛け	――	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉕
手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	――	塩ビ手摺新設	㉚
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事			

既存のままを示す（内装工事範囲外）



設計 類 建 築 設 計 事 務 所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

3階 平面詳細図3

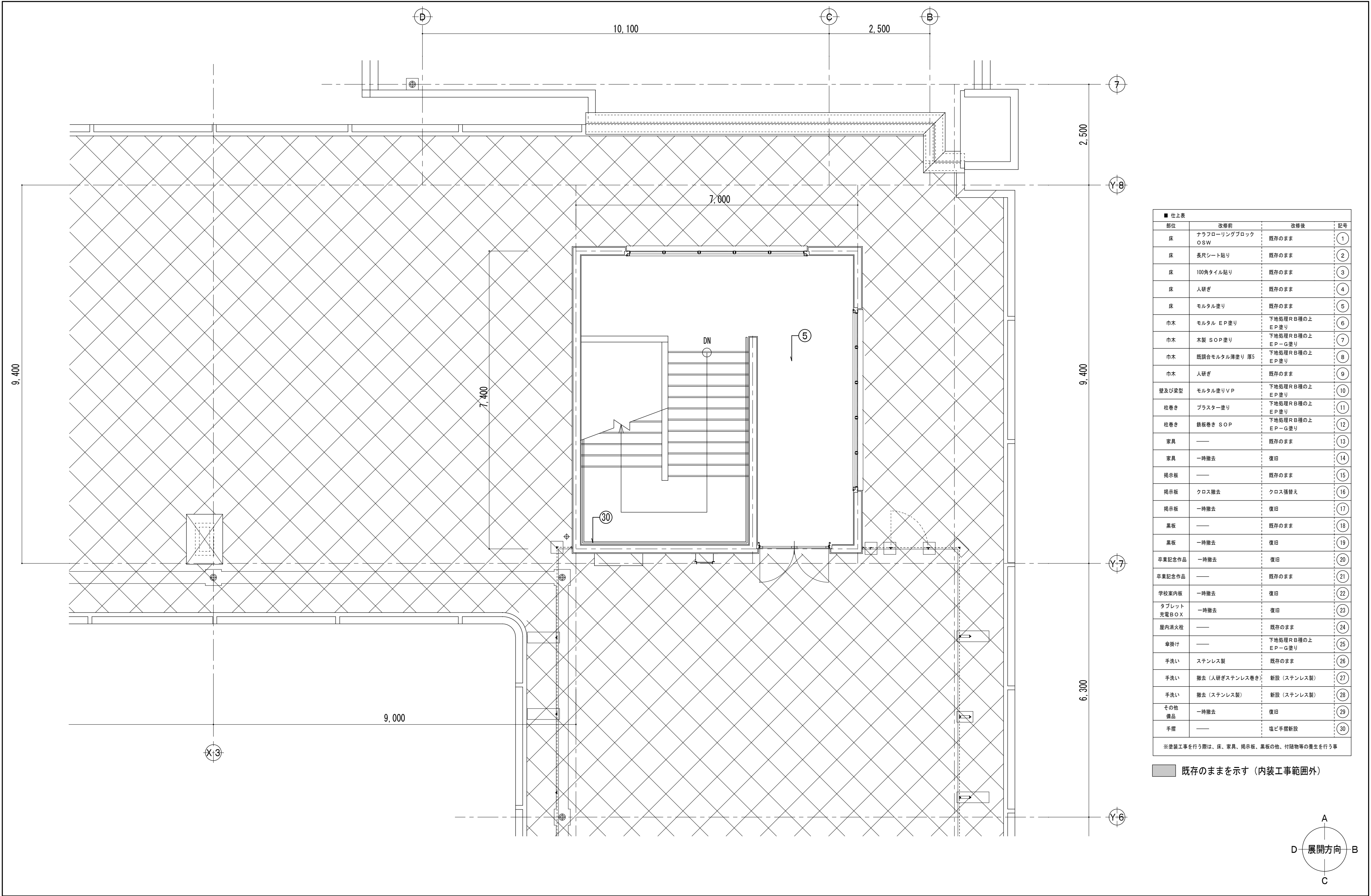
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

図面 No

A-069

原図：A 2



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル EP 塗り	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑥
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁及び梁型	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑩
柱巻き	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	㉕
手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	—	塩ビ手摺新設	㉚
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事			

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 昭剛	一級建築士 第306854号 田中 昭剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

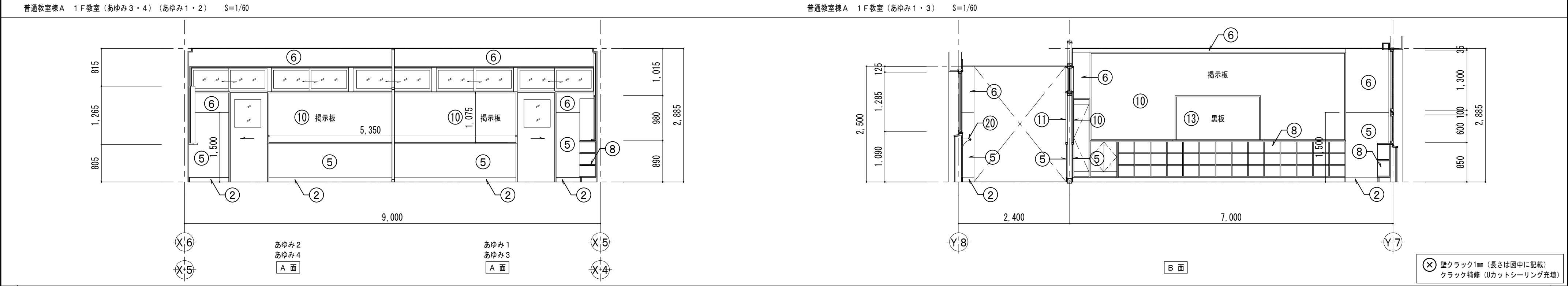
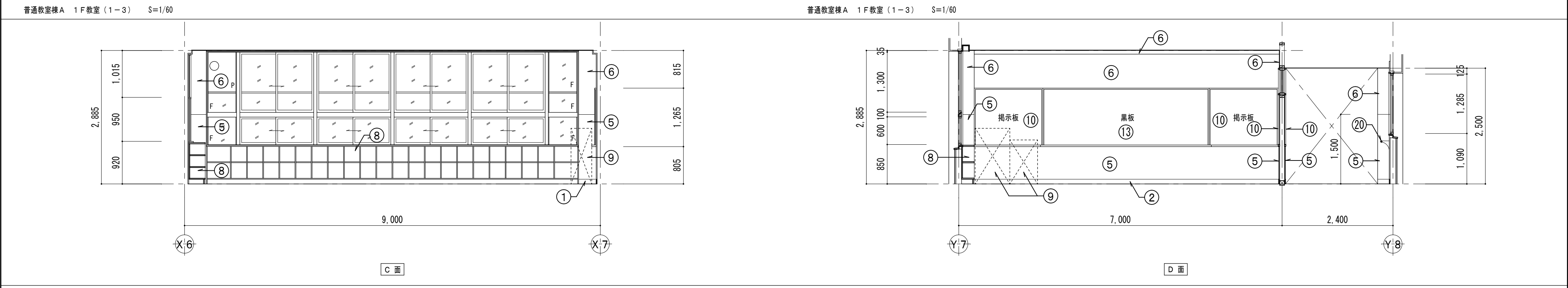
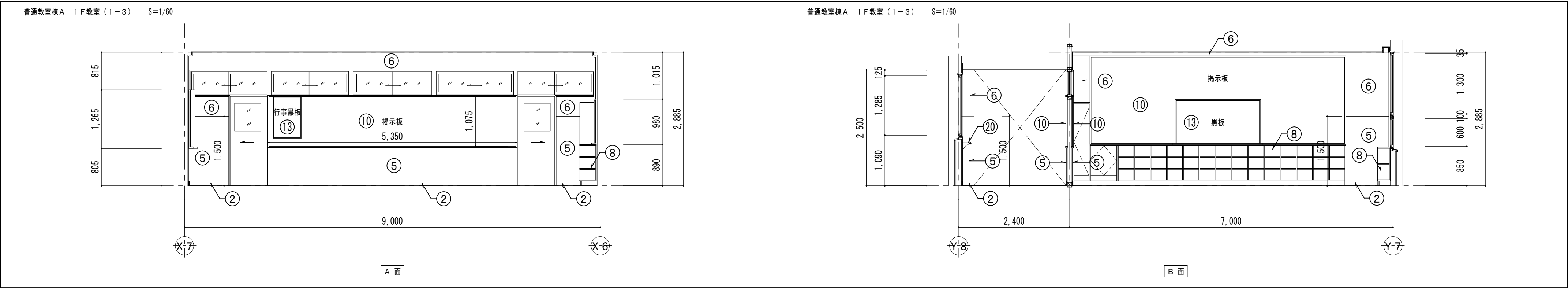
縮尺

PH 階 平面詳細図1【改修前・後】 S=1/60(A3:1/85)

図面 No

A-070

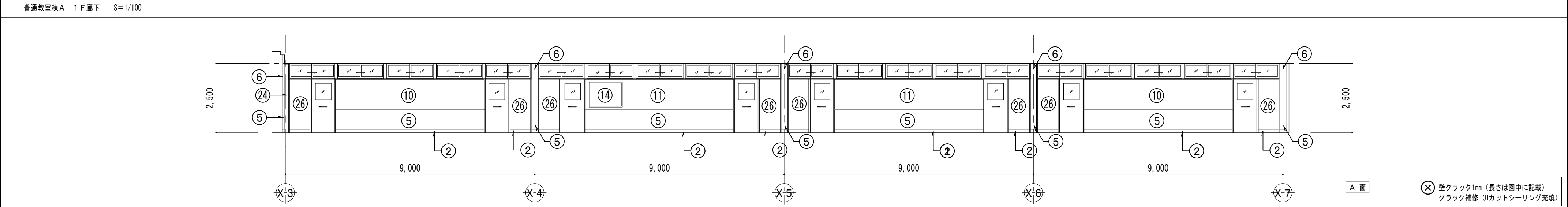
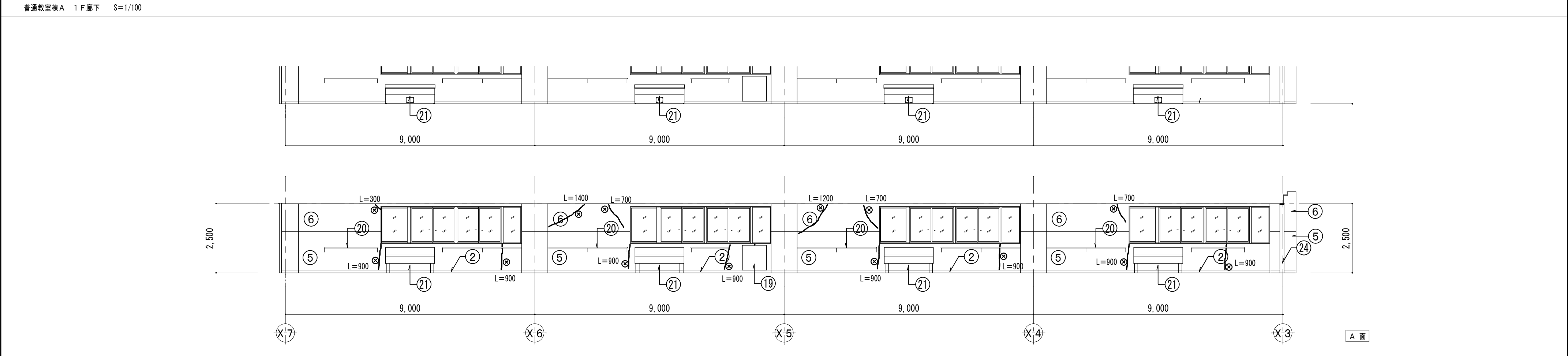
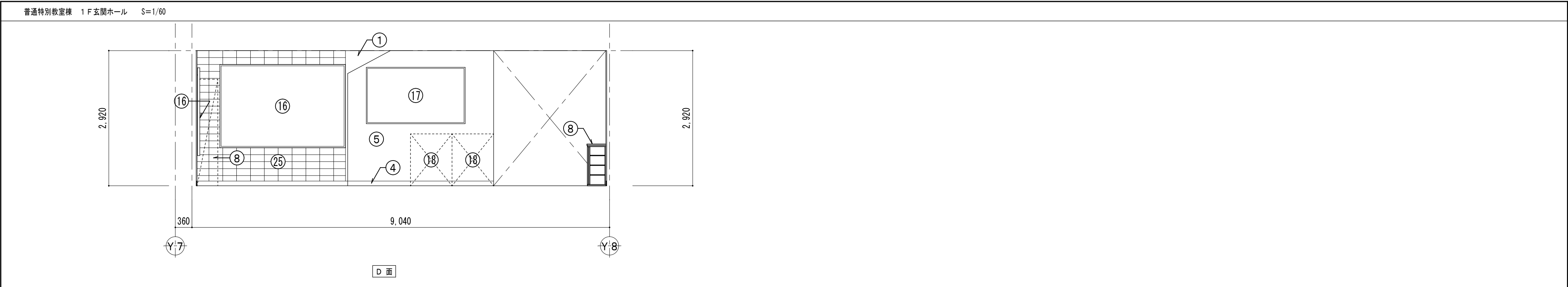
原図: A 2



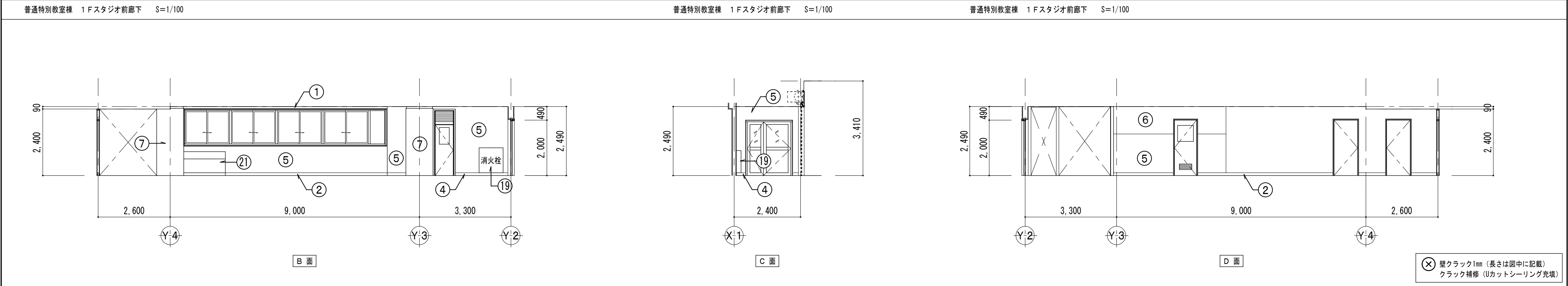
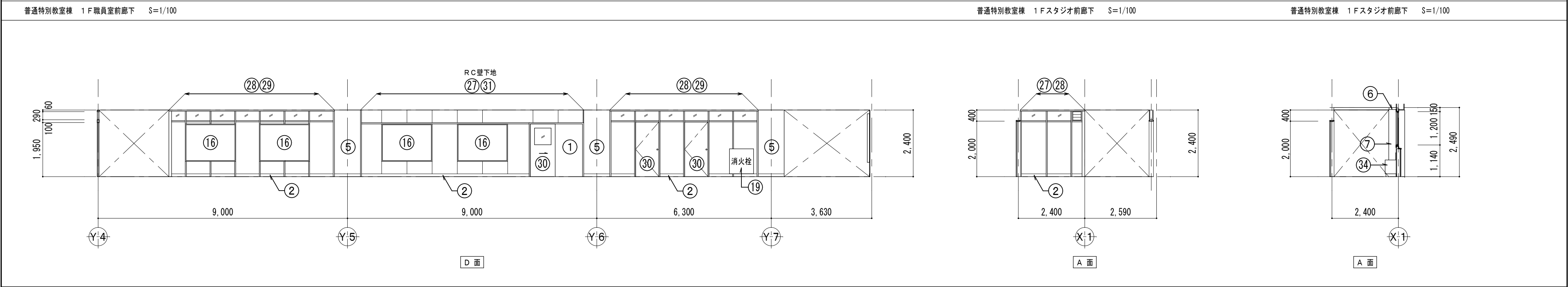
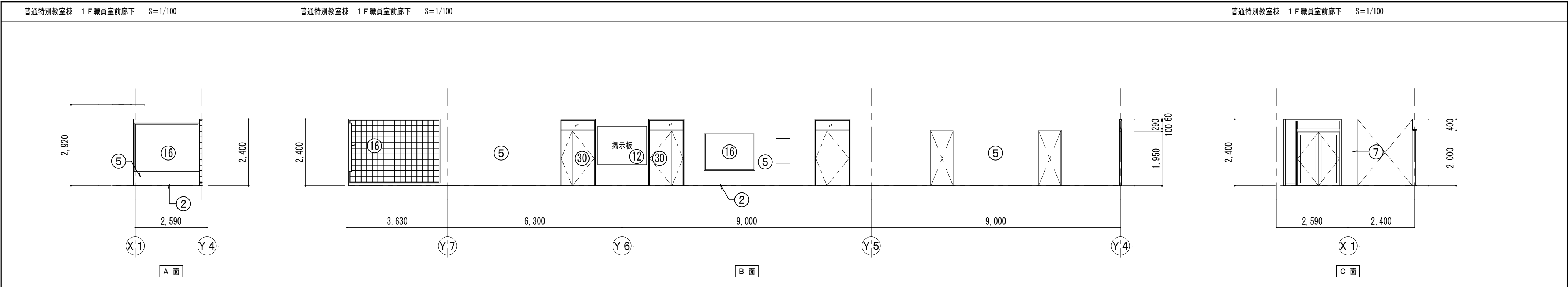
■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑦	黒板	――	既存のまま	⑬	屋内消火栓	――	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②	家具	――	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	――	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑥	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	⑳
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉑	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	――	既存のまま	⑩	卒業記念作品	――	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	⑲	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5 張りOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	⑲	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑨	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	③⑤
壁及び梁型	ブラスター塗り	下地処理RB種の上EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑲	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③①	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	③⑤

設計 監理 類 建築設計事務所 〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.		設計番号 No.		備考		図面名称 縮尺		図面 No A-071 原因: A 2
	管理建築士	設計者		変更・訂正						1階 展開図 1 S=1/60 (A3:1/85)		
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛								【改修前・改修後】		

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

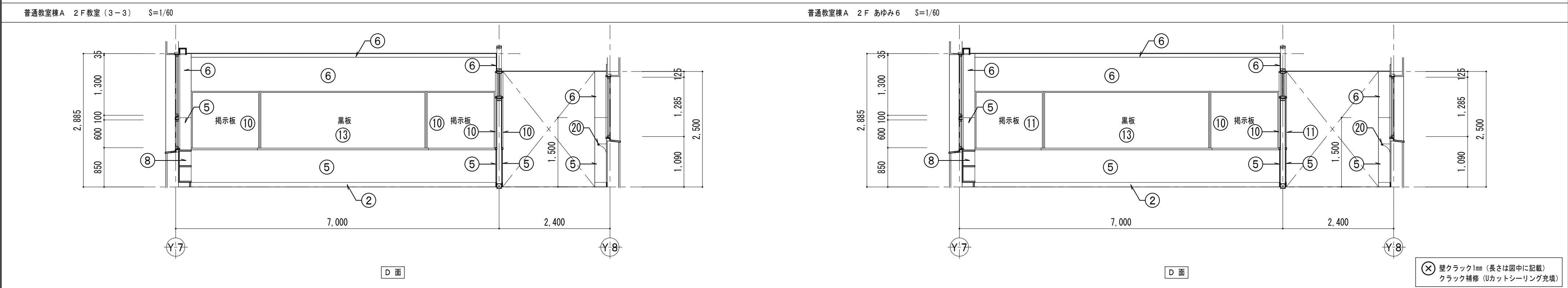
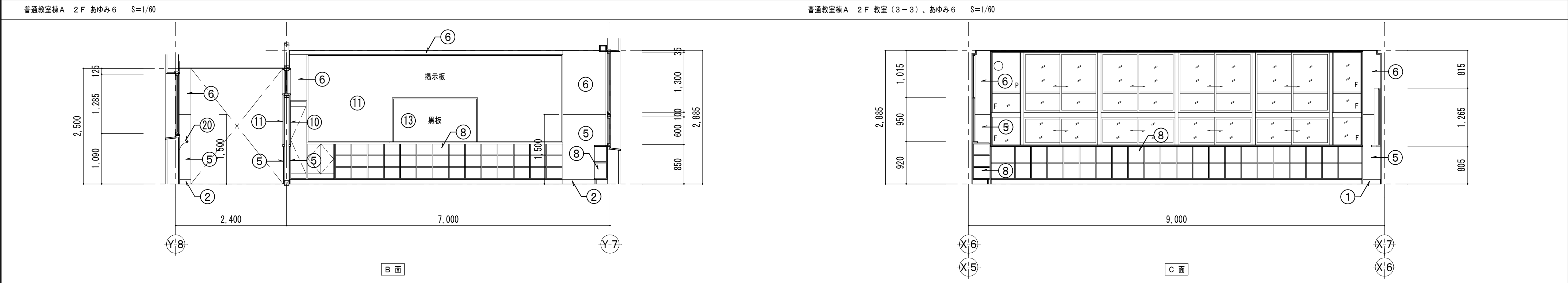
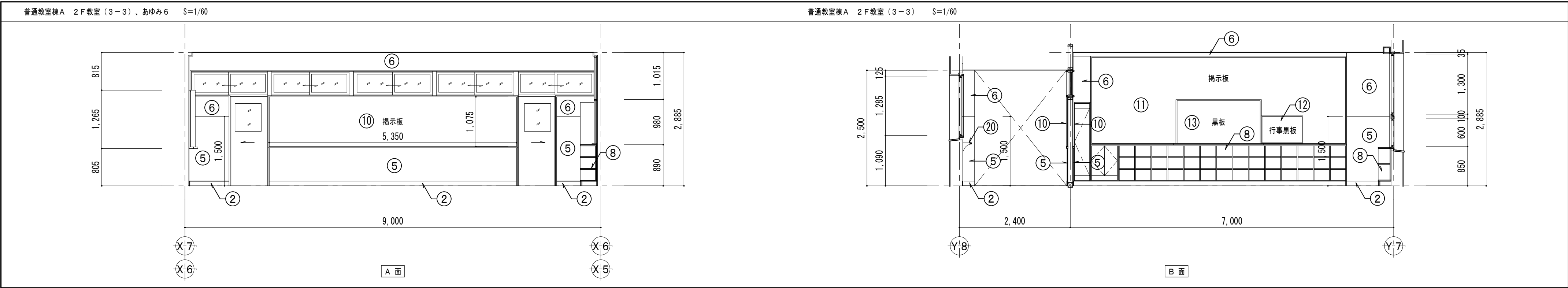


■ 仕上表																		※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事					
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP 塗り	下地処理RB種の上 EP 塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	③①
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑮	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	③②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP 塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	⑳	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑮	建具	鉄鋼面 OP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑮	その他 備品	一時撤去	復旧	⑮	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5 張り OP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑮	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑮	三方枠	人研ぎ	既存のまま	⑮	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑮	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	③⑤
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	⑮	三方枠	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑮	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	③⑤

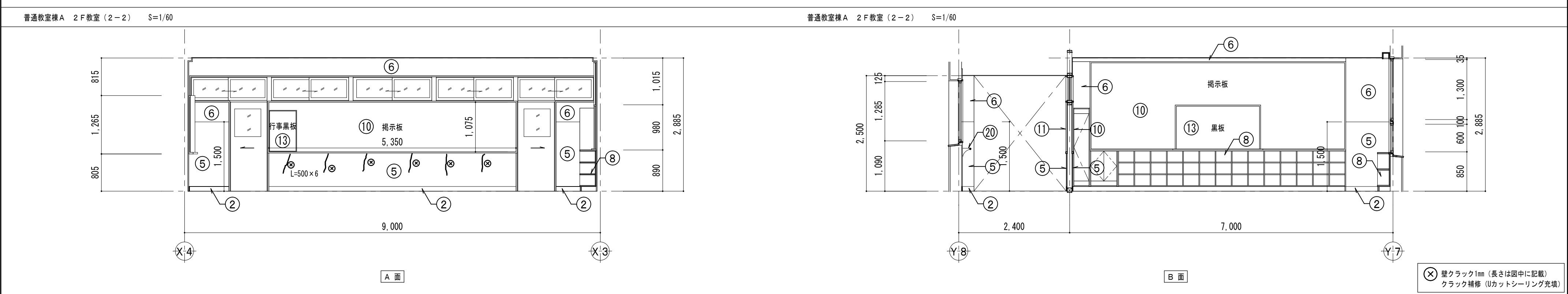
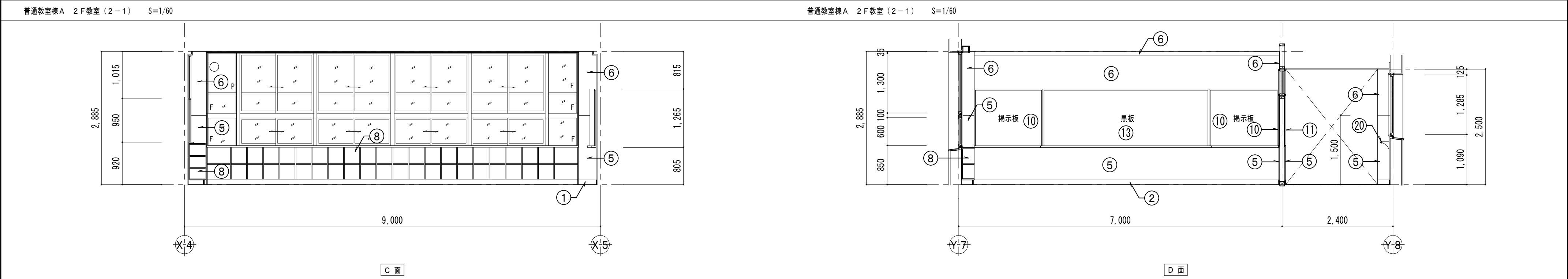
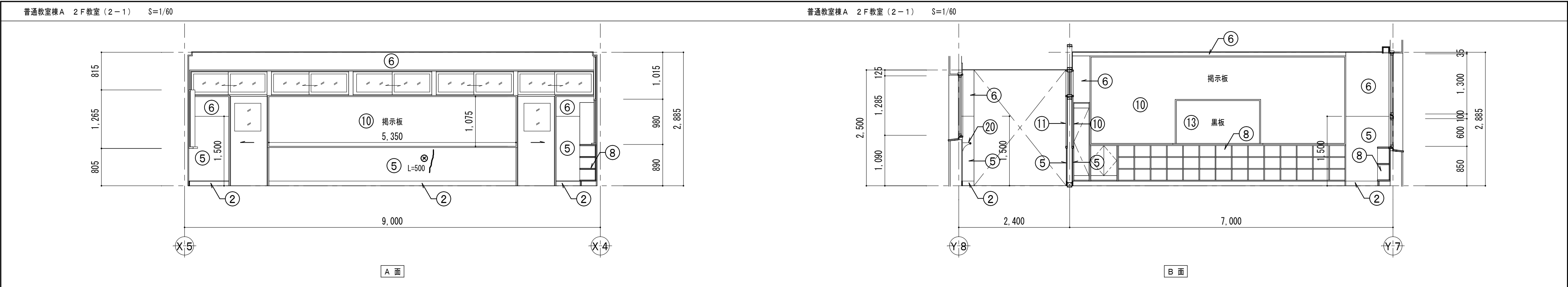


⊗ 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑥	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	③②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	⑳	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	②②	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	②③	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑨	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	③⑤
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②④	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③⑦	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	③⑤

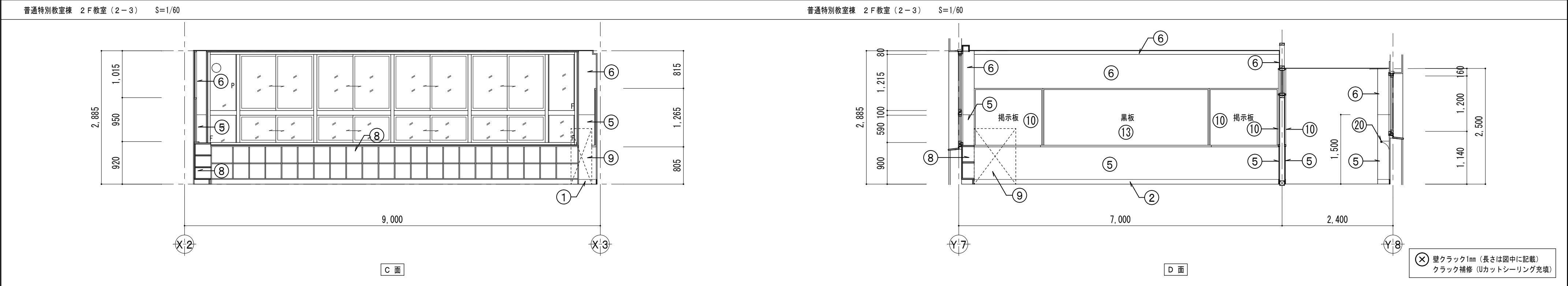
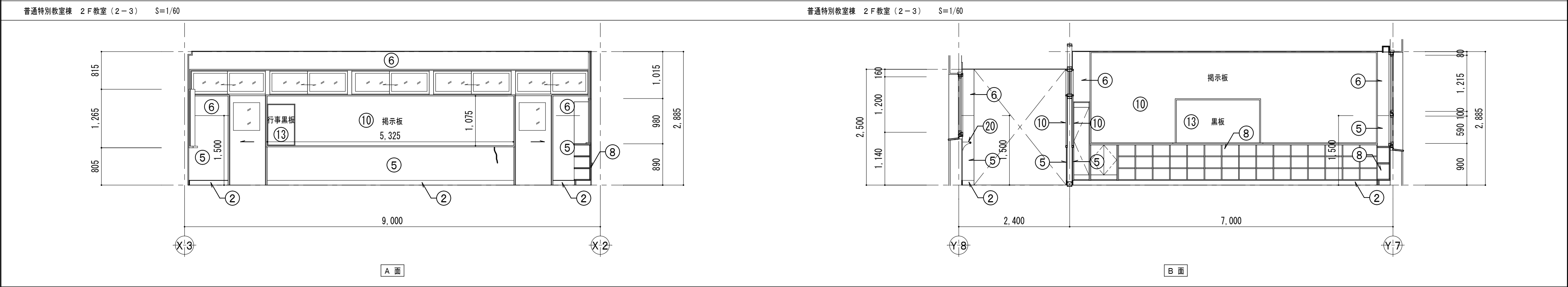
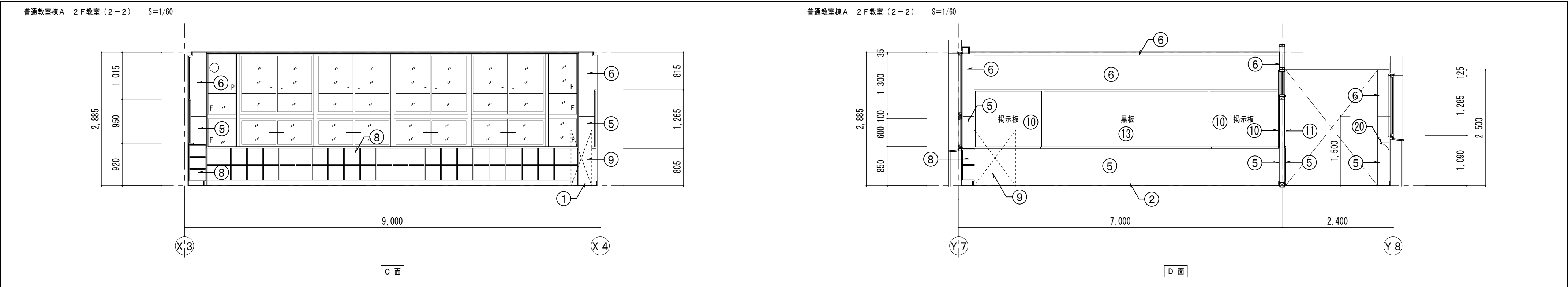


■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	③①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	アコーディオンカーテン	一時撤去（鉄骨受材 共）	復旧	③②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	新設（ステンレス製）	⑳	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑮	その他 備品	一時撤去	復旧	⑳	木間仕切り（壁部）	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	⑳	木間仕切り（枠組材）	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	③⑤
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	⑳	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	既存のまま	③⑤



⊗ 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

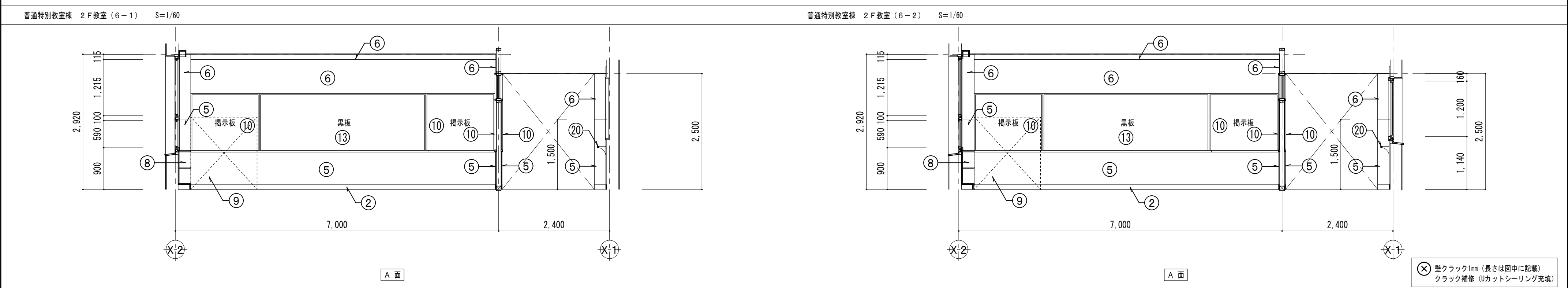
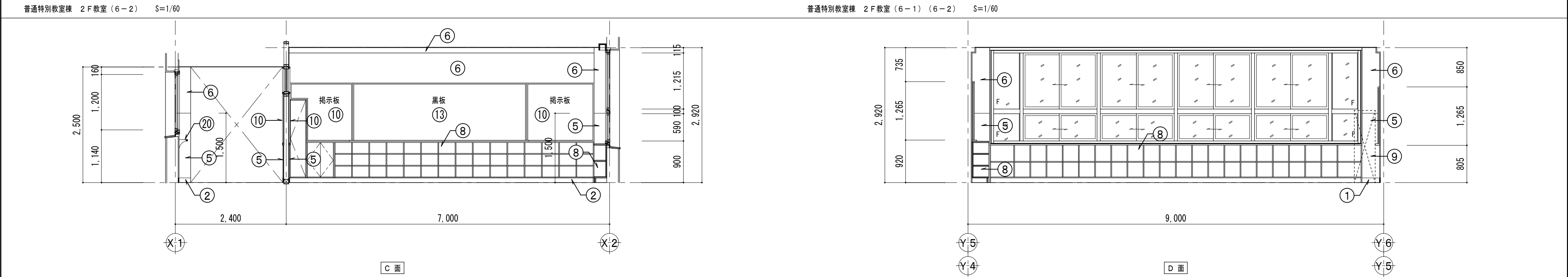
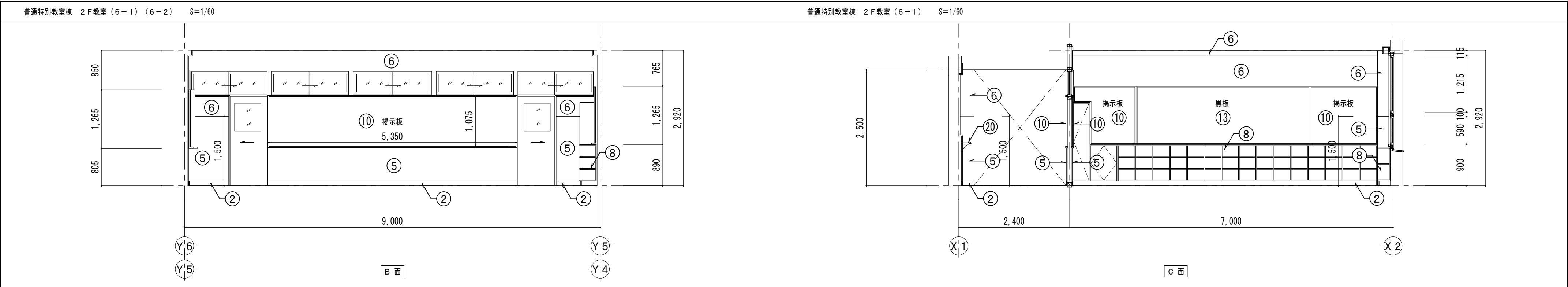
■ 仕上表										※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事									
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉑	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉑
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他 備品	一時撤去	復旧	⑰	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉒
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉓	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉓
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉔	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	㉔



■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	①	柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B 種の上 E P-G 塗り	⑦	黒板	――	既存のまま	⑬	屋内消火栓	――	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P-G 塗り	⑳
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P-G 塗り	②	家具	――	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	――	下地処理 R B 種の上 E P-G 塗り	⑱	壁	耐水ベニヤ 厚 6 O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P-G 塗り	㉒	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	㉑
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉖	壁	ラワン合板 厚 5.5 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P-G 塗り	㉗	建具	鉄鋼面 O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P-G 塗り	㉓
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	――	既存のまま	⑩	卒業記念作品	――	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉑	壁	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚 5.5 張り O P 塗り	㉒	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉓
壁	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉖	壁	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 O P 塗り	㉗	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉓
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電 B O X	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P-G 塗り	㉑	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	㉒	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	㉓

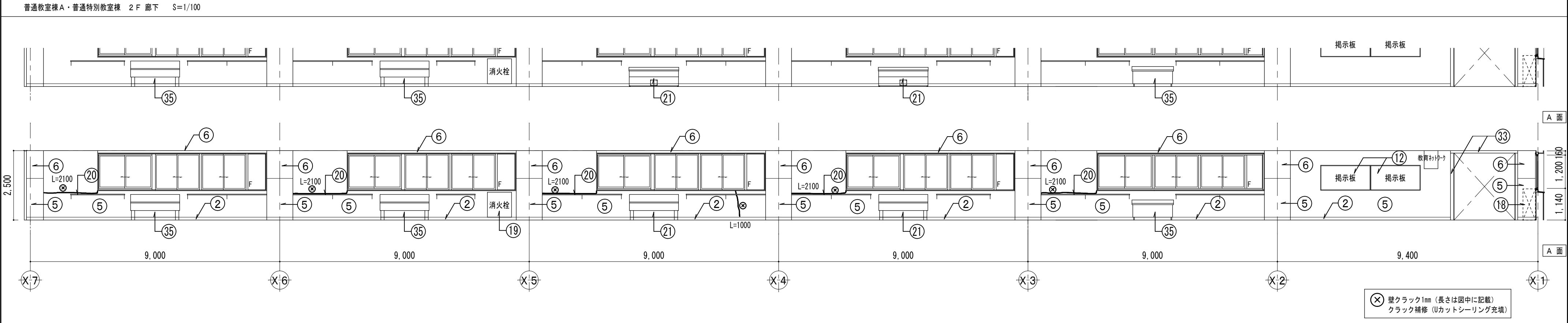
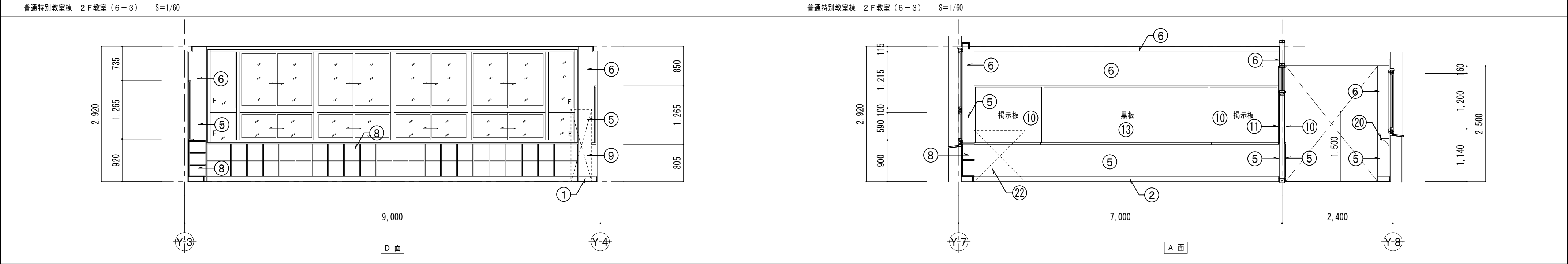
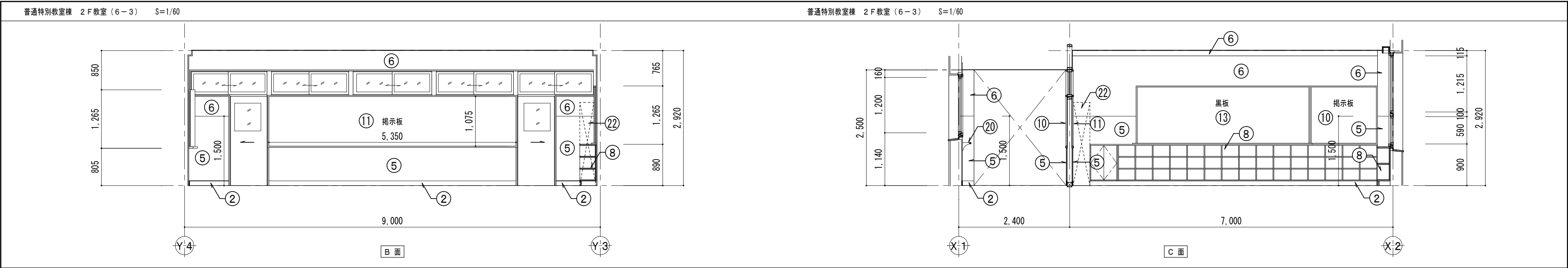
	設計 監理 〒514-0008 三重県津市上浜町 3 丁目 1 5-2 Dear Homes 志とも 405 号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.		設計番号 No.		備考		図面名称 縮尺		図面 No	
		管理建築士	設計者			変更・訂正						2階 展開図 3 (改修前・後) S=1/60 (A3:1/85)		A-078	
		一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛												
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事															

原図: A 2

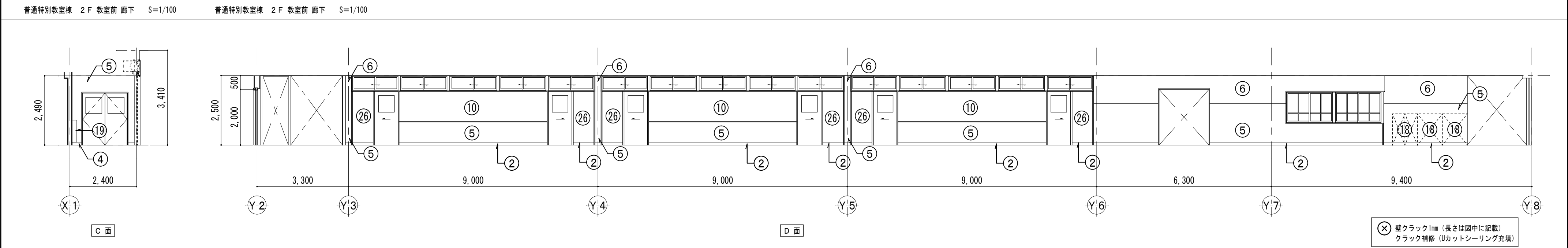
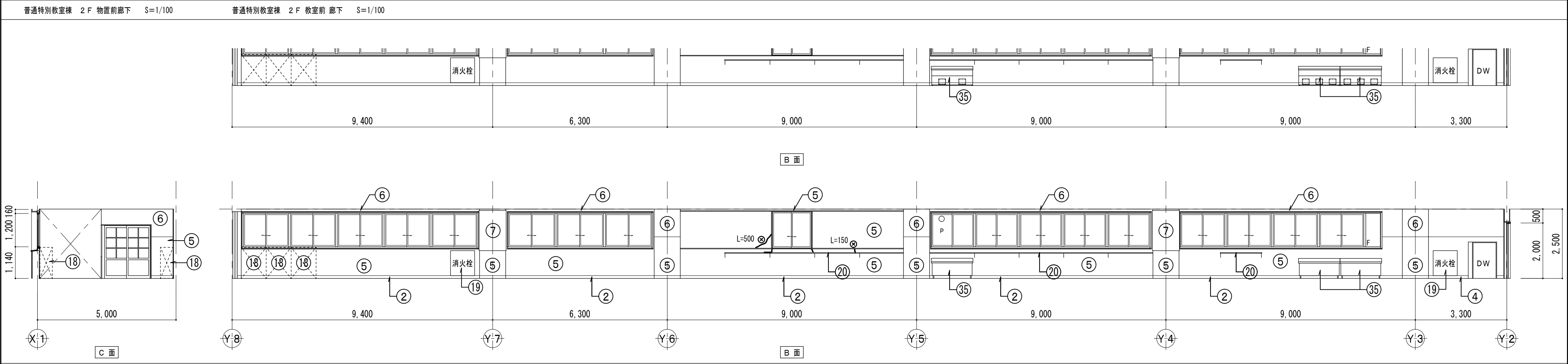
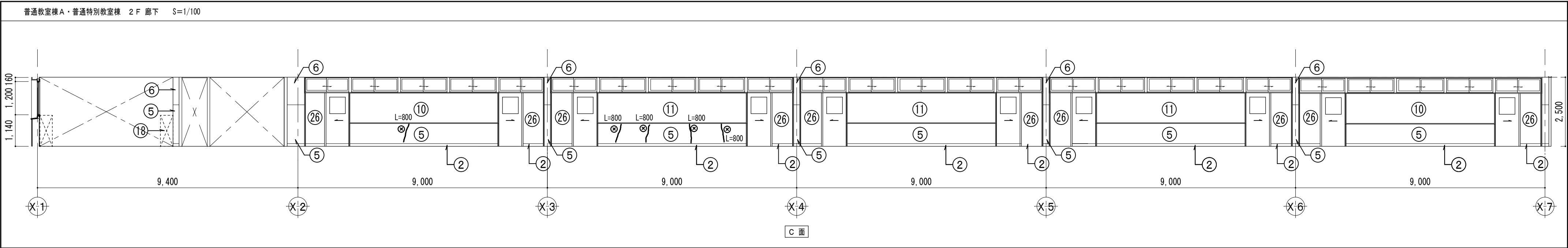


⊗ 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

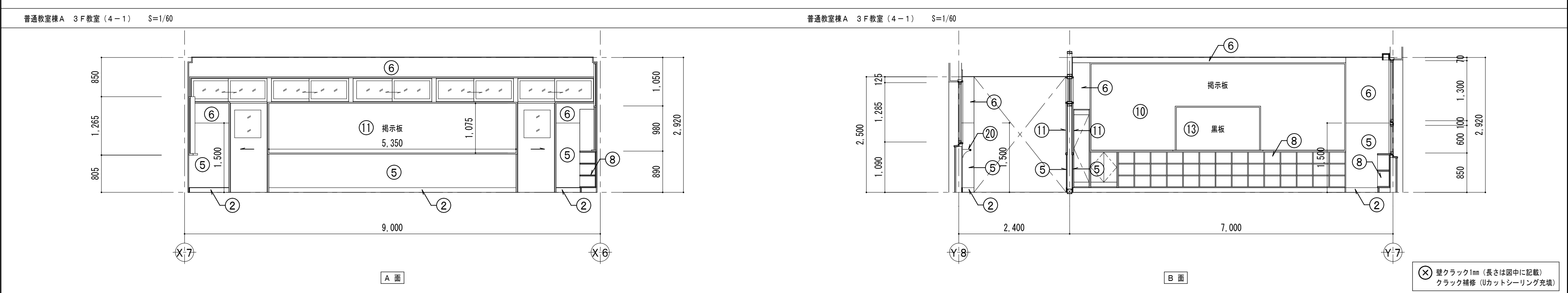
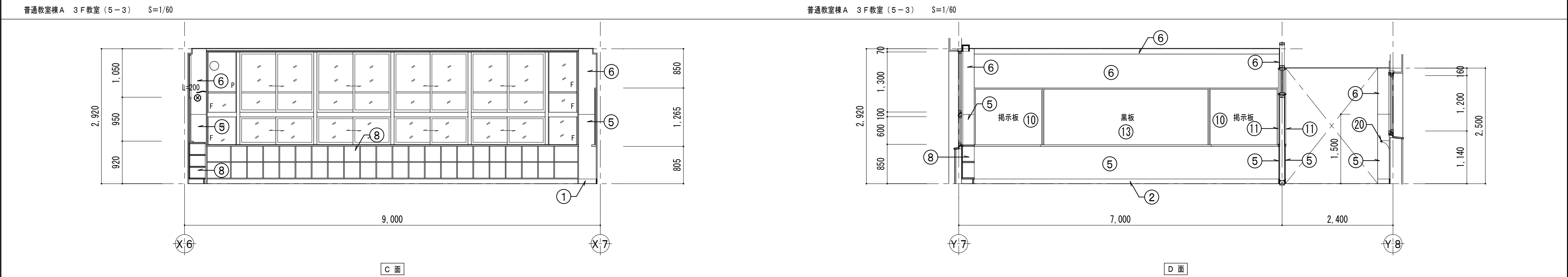
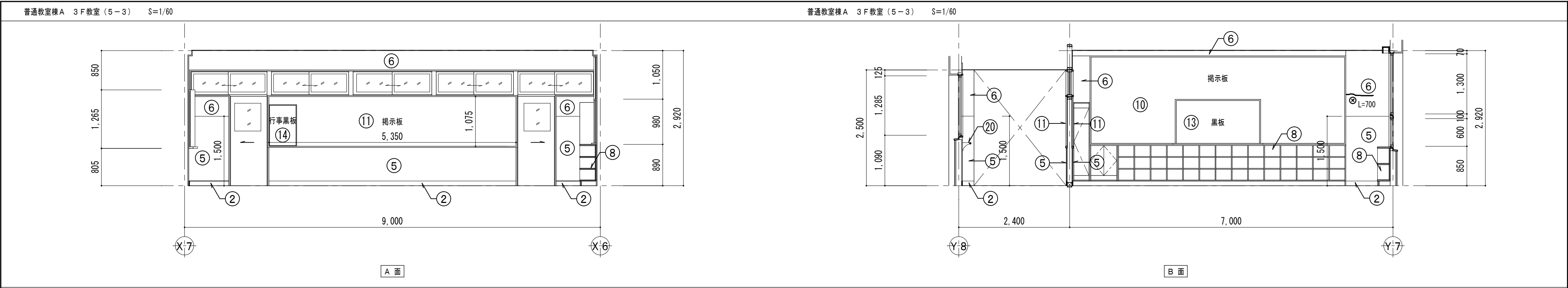
■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑥	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	③②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	⑳	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	②②	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	②③	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑨	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	③⑤
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②④	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③⑦	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	③⑤



■ 仕上表																		※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事					
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	㉑
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉑	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉒	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉓
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉒	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5 張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉓	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉔
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉓	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉔	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉕
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉔	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	㉕	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	㉕



■ 仕上表																		※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事					
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉑	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉒	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉓	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑨	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	⑤
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉔	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	⑩	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	⑤



■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑥	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	③②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	⑳	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑮	その他備品	一時撤去	復旧	⑰	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	⑲	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑨	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	③⑤
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑮	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑲	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③⑩	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	③⑤

設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者
一級建築士 第306854号 田中 召剛
一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.
変更・訂正

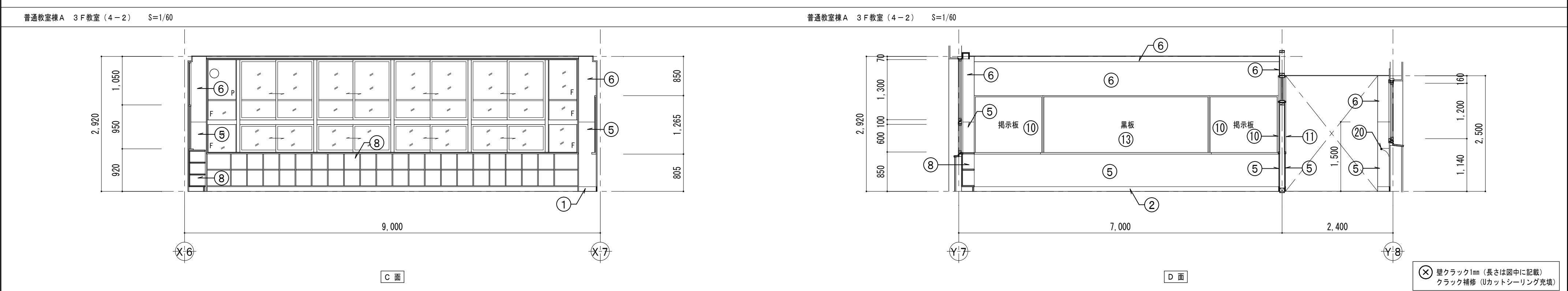
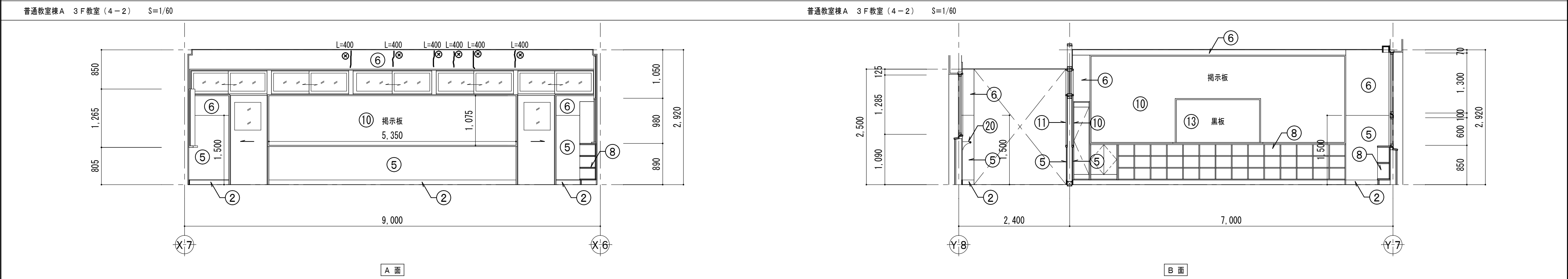
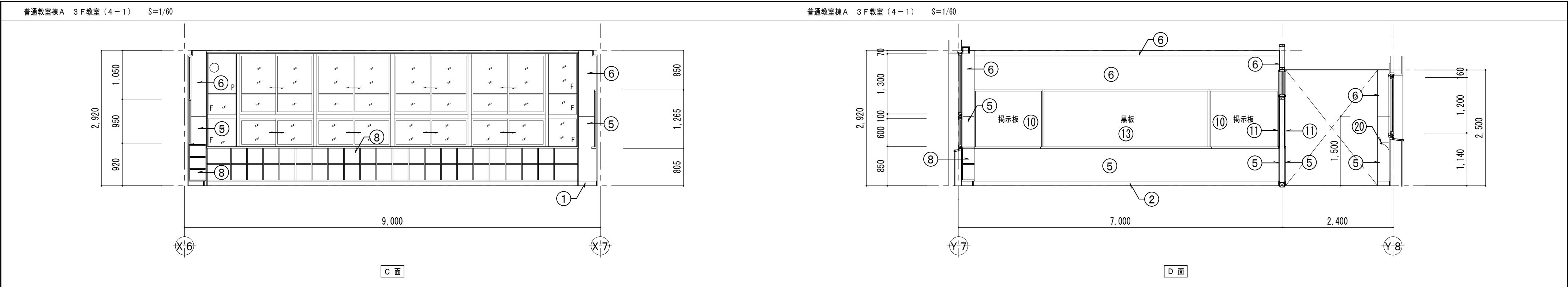
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺
3階 展開図1 (改修前・後) S=1/60 (A3:1/85)
【改修前・改修後】
.

図面 No. A-082
原図: A 2



⊗ 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑲	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮	アコーデオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	㉑
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉒	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉓
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉔	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉕	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉗	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉘	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉙
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉚	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	㉛	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	㉜

設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

備考

図面名称 縮尺 図面 No

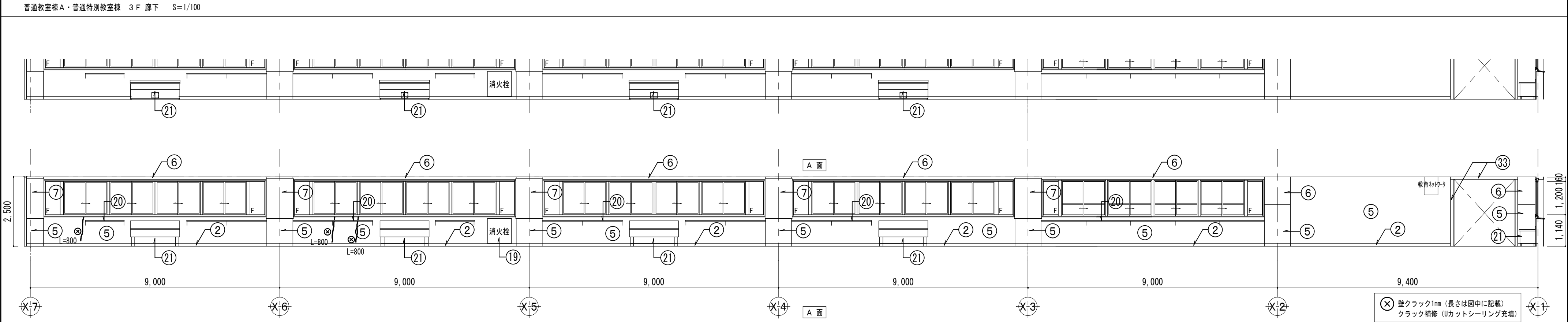
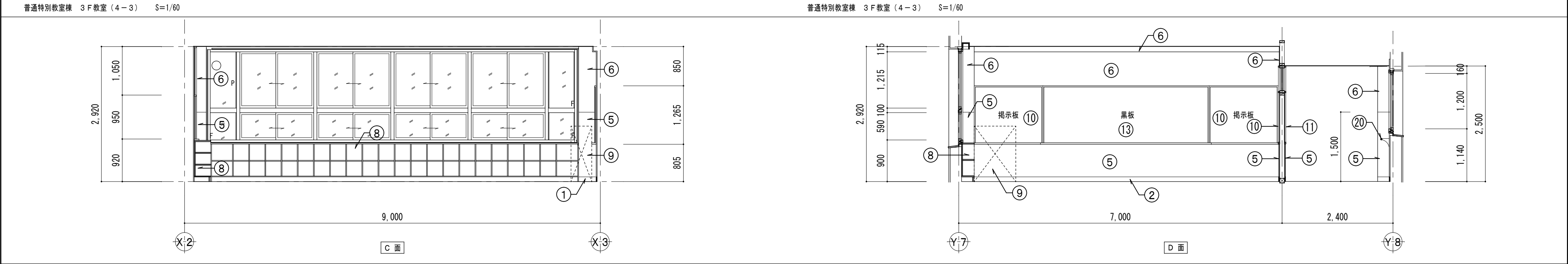
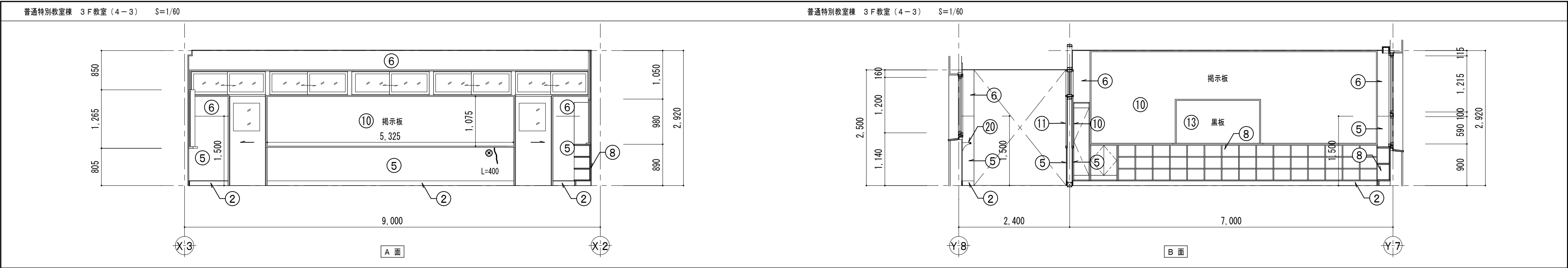
3階 展開図2 (改修前・後) S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

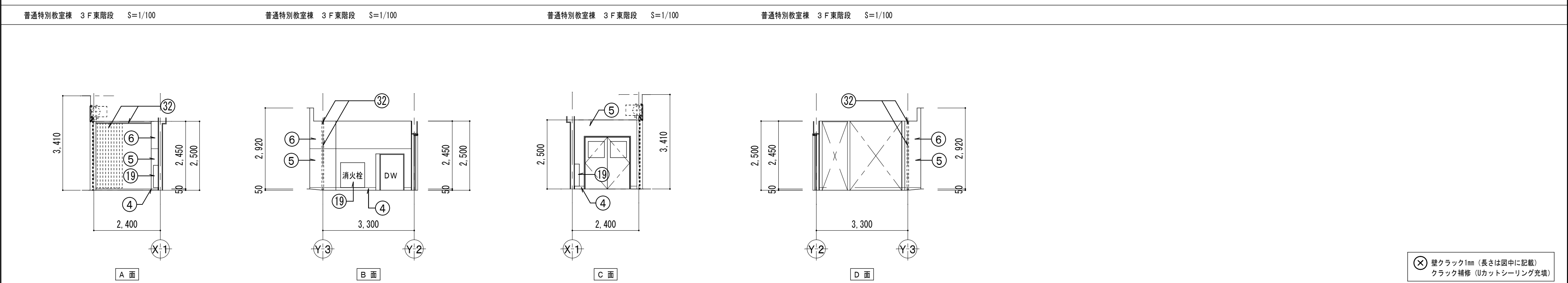
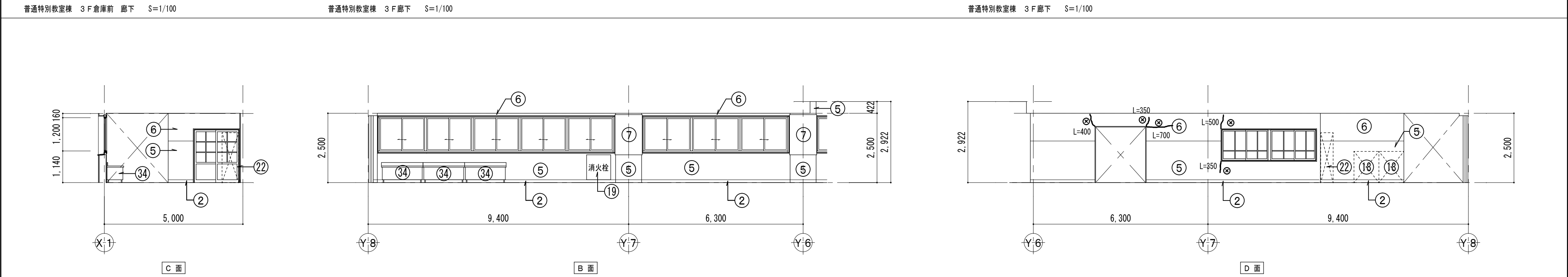
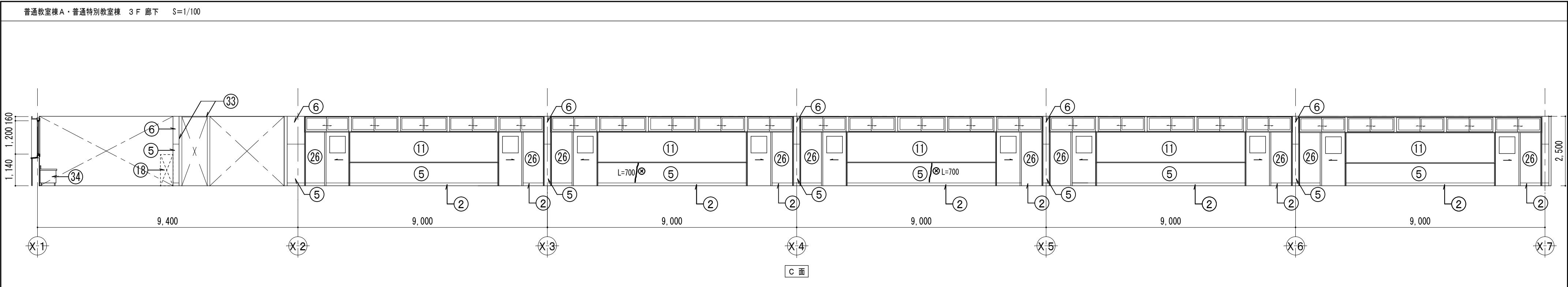
A-083

原因: A 2

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事



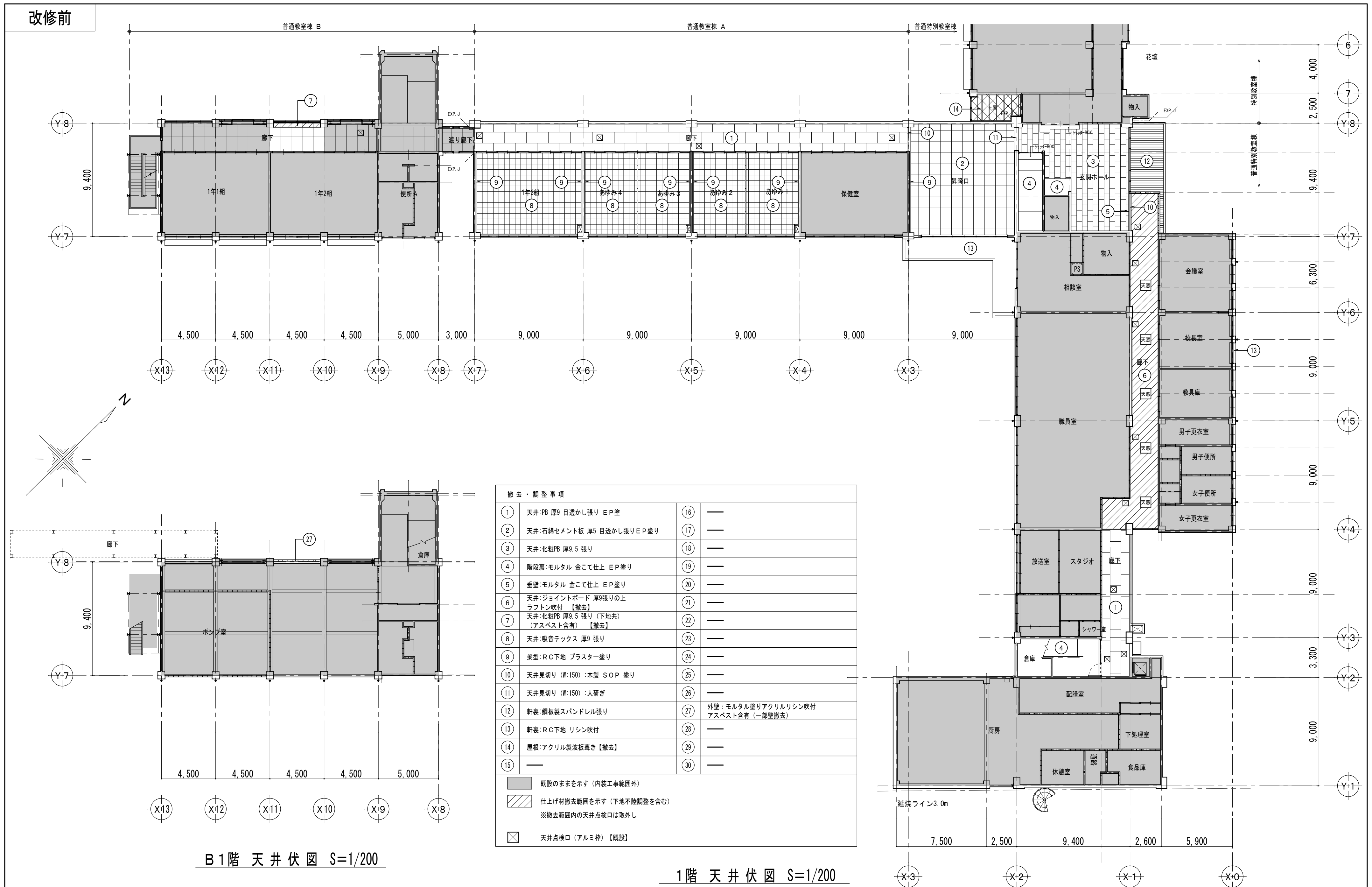
■ 仕上表										※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事									
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	20	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	26
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	21	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	27
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	28
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	29
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30



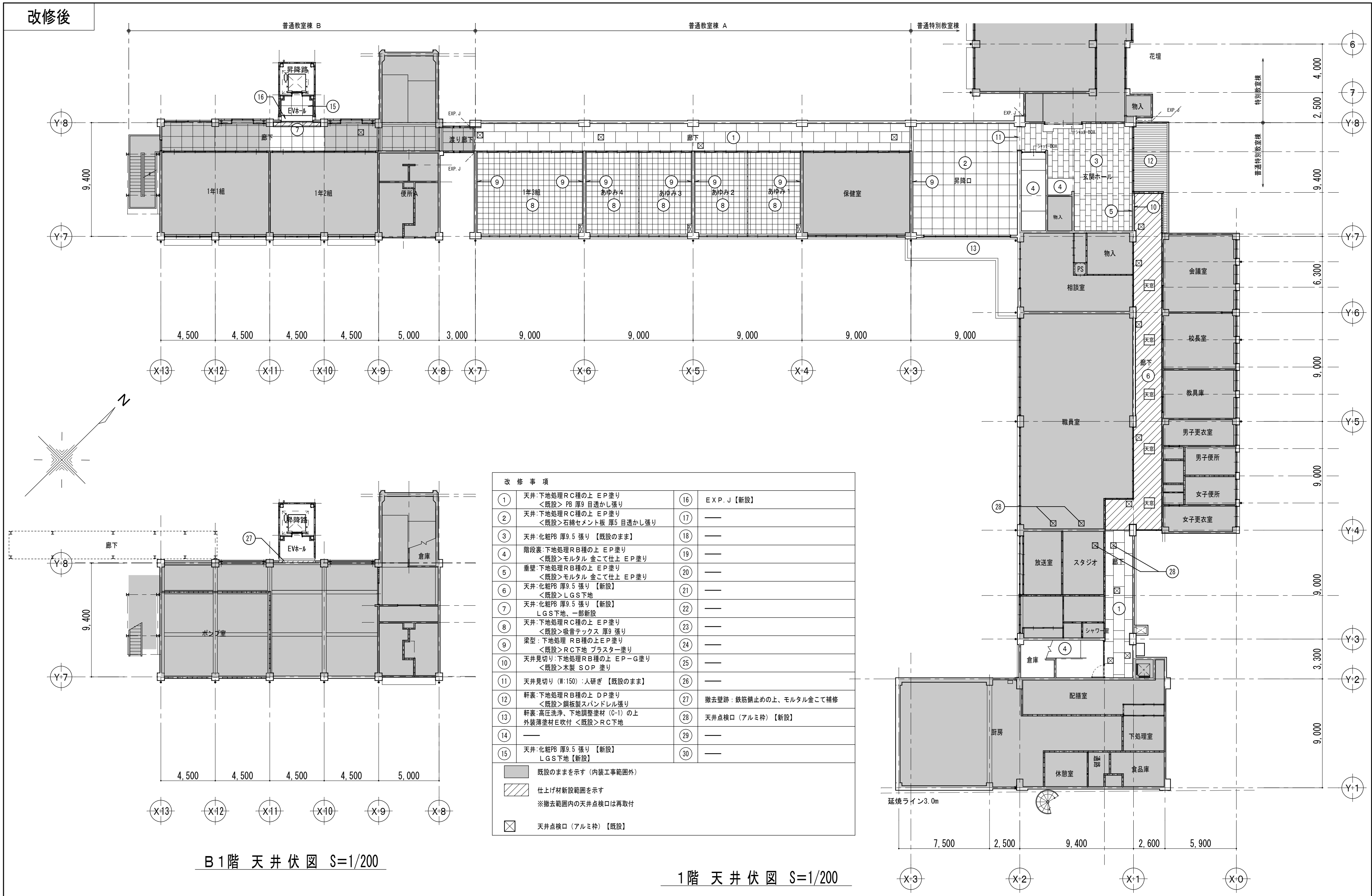
■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号				
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑦	黒板	——	既存のまま	⑬	屋内消火栓	——	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮				
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②	家具	——	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	——	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑥				
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	⑳	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑦				
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	——	既存のまま	⑩	卒業記念作品	——	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	②②	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5 張りOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑧				
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	②③	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑨				
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②④	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③①				

 設計 監理 類 建築設計事務所 〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.		設計番号 No.		備考		図面名称 縮尺		図面 No A-085 原図: A 2
	管理建築士	設計者		変更・訂正		津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事				3階 展開図 4 (改修前・後) S=1/60 (A3:1/85)		
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛						【改修前・改修後】				

改修前



改修後



B1階 天井伏図 S=1/200

1階 天井伏図 S=1/200



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

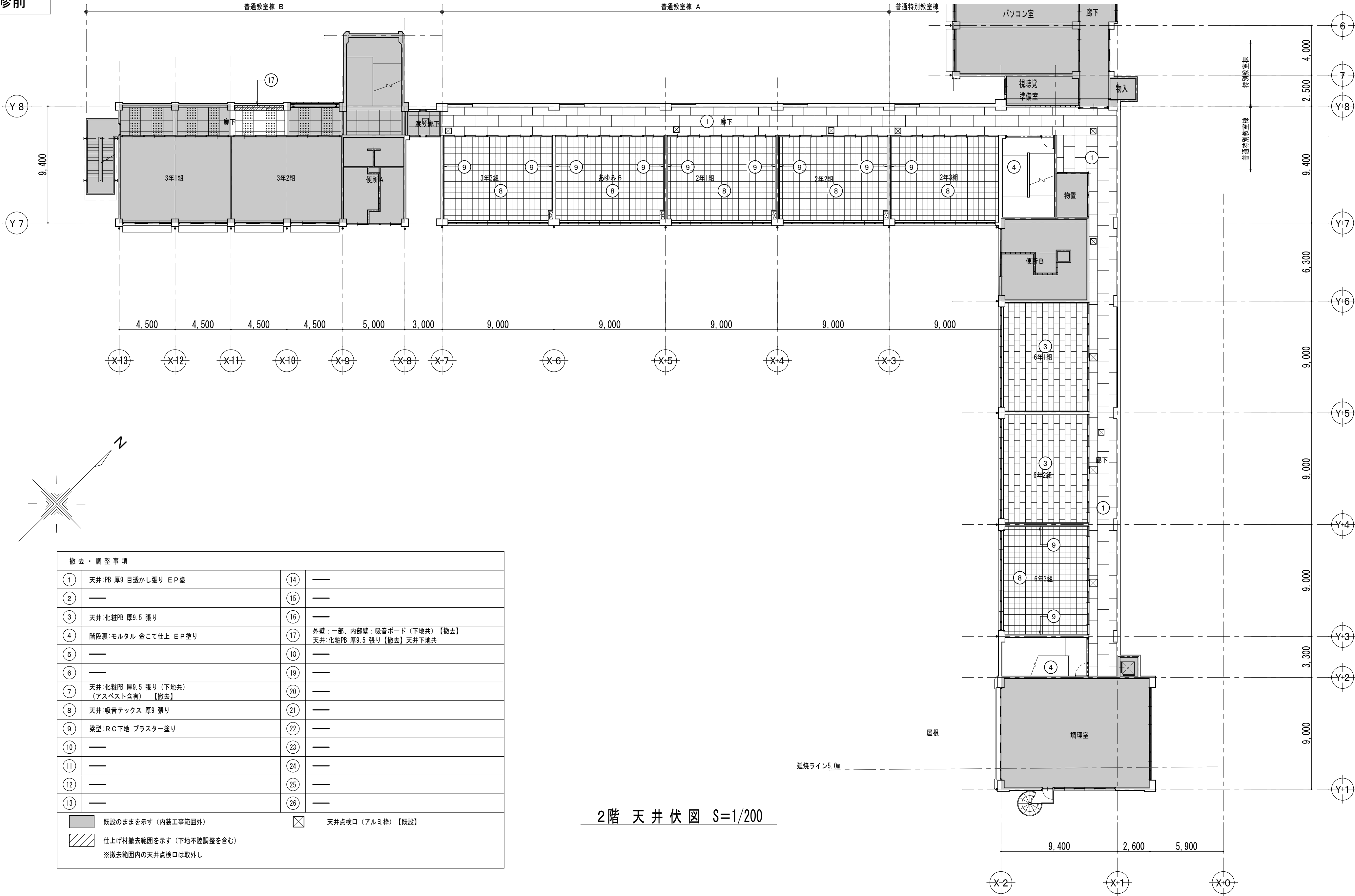
B1・1階 天井伏図【改修後】 S=1/200

図面 No

A-087

原図: A2

改修前



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

2階 天井伏図【改修前】

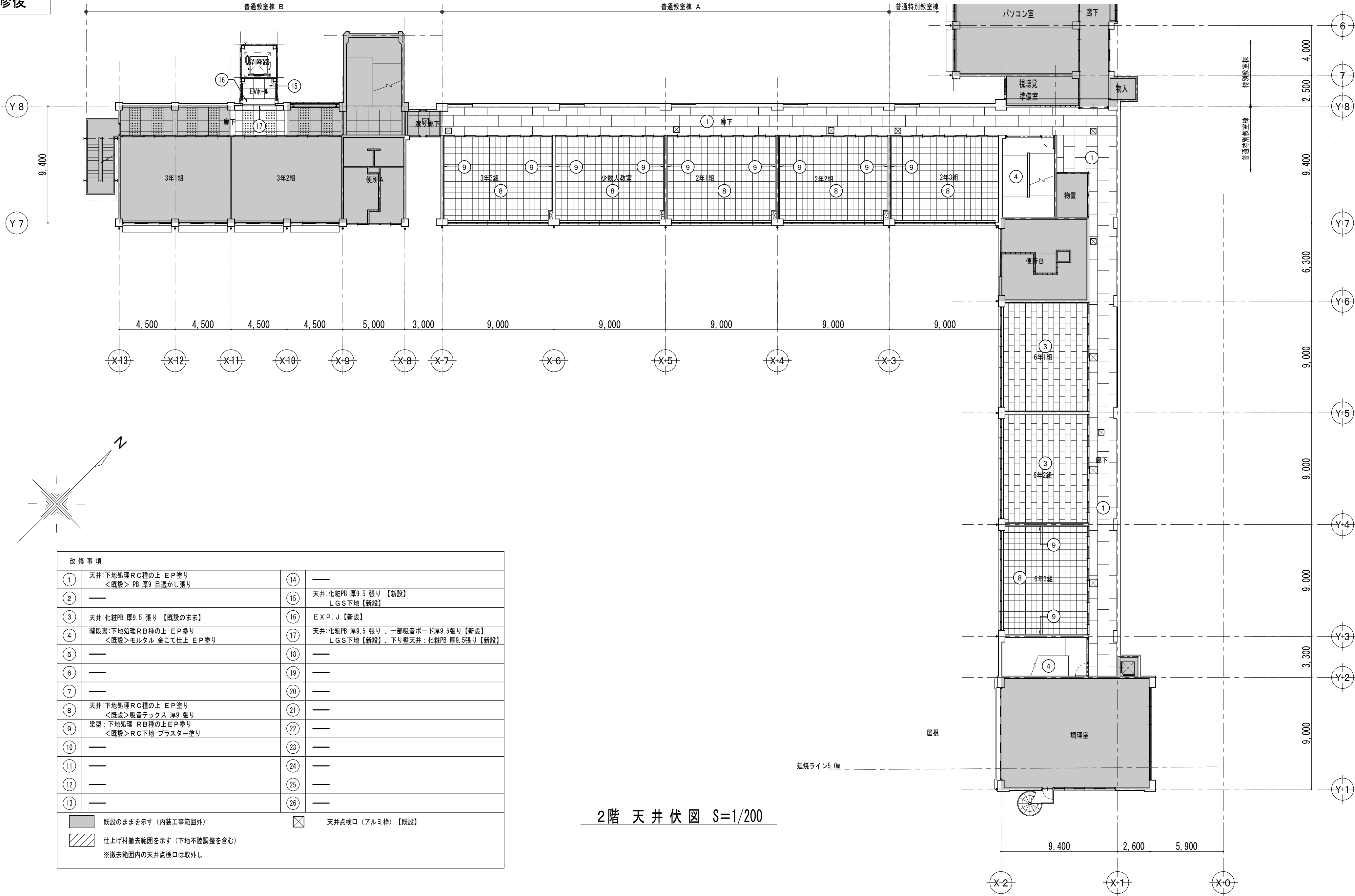
S=1/200

図面 No

A-088

原図：A 2

改修後



改修事項			
①	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞PB 厚9 目透かし張り	⑭	――
②	――	⑮	天井:化粧PB 厚9.5 張り 【新設】 LGS下地 【新設】
③	天井:化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】	⑯	EXP.J 【新設】
④	階段裏:下地処理RB種の上 EP塗り ＜既設＞モルタル 金こて仕上 EP塗り	⑰	天井:化粧PB 厚9.5 張り、一部吸音ボード厚9.5張り 【新設】 LGS下地 【新設】、下り壁天井:化粧PB 厚9.5張り 【新設】
⑤	――	⑱	――
⑥	――	⑲	――
⑦	――	⑳	――
⑧	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞吸音テックス 厚9 張り	㉑	――
⑨	梁型:下地処理 RB種の上EP塗り ＜既設＞RC下地 プラスター塗り	㉒	――
⑩	――	㉓	――
⑪	――	㉔	――
⑫	――	㉕	――
⑬	――	㉖	――
■ 既設のままを示す(内装工事範囲外)		☒ 天井点検口(アルミ枠) 【既設】	
▨ 仕上げ材撤去範囲を示す(下地不陸調整を含む) ※撤去範囲内の天井点検口は取外し			

2階 天井伏図 S=1/200



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

2階 天井伏図【改修後】

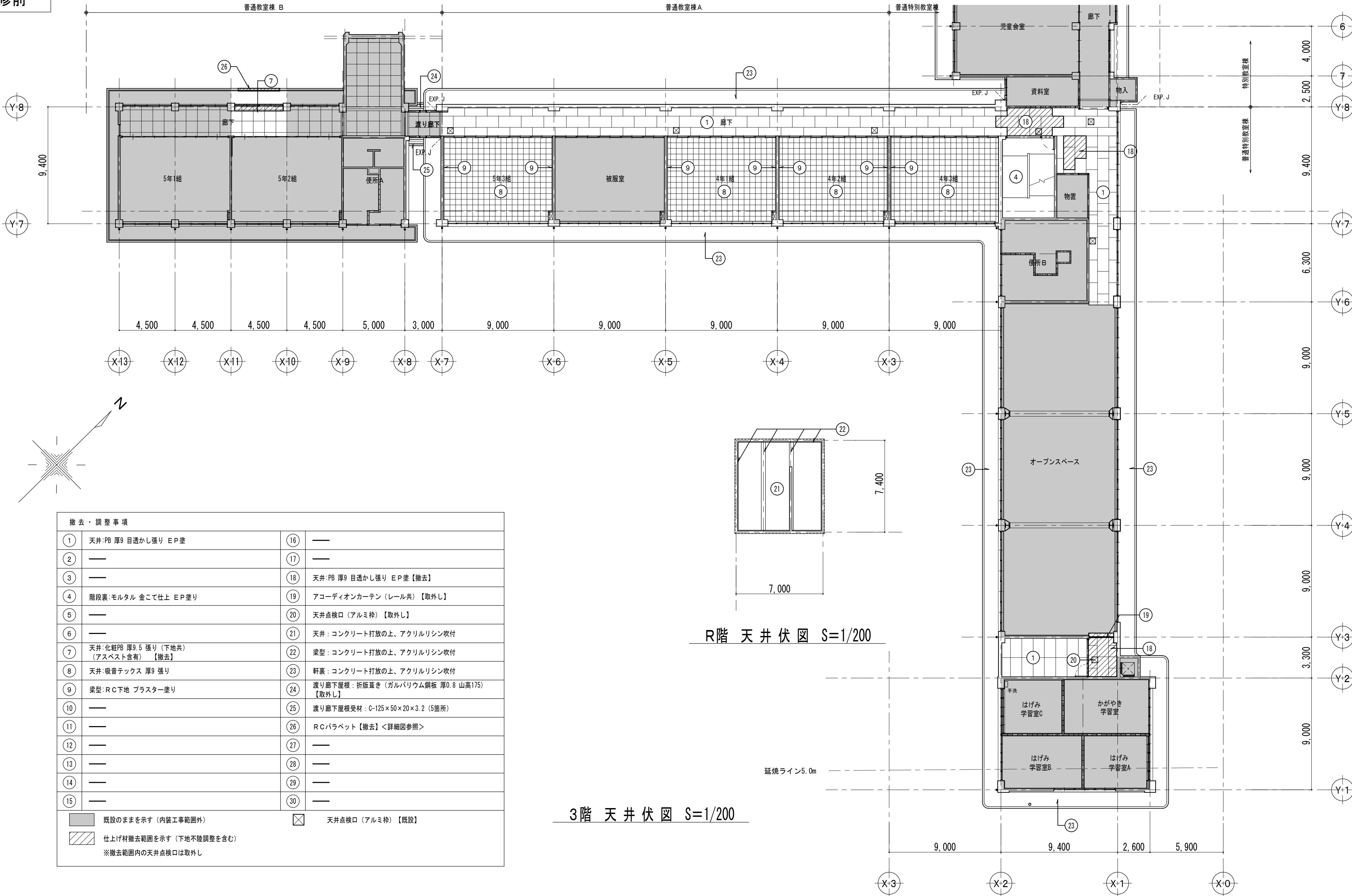
S=1/200

図面 No

A-089

原図: A2

改修前



撤去・調整事項			
①	天井:PB 厚9 目透かし張り EP 塗	⑩	---
②	---	⑪	---
③	---	⑫	---
④	階段裏:モルタル 金こて仕上 EP 塗り	⑬	---
⑤	---	⑭	---
⑥	---	⑮	---
⑦	天井:化粧PB 厚9.5 張り (下地共) (アスベスト含有) 【撤去】	⑯	天井:PB 厚9 目透かし張り EP 塗【撤去】
⑧	天井:吸音テックス 厚9 張り	⑰	アコーディオンカーテン (レール共) 【取外し】
⑨	梁型:RC下地 プラスター塗り	⑱	天井点検口 (アルミ枠) 【取外し】
⑩	---	⑲	天井:コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付
⑪	---	⑳	梁型:コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付
⑫	---	㉑	軒裏:コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付
⑬	---	㉒	渡り廊下屋根:折板葺き (ガルバリウム鋼板 厚0.8 山高175) 【取外し】
⑭	---	㉓	渡り廊下屋根受材: C-125×50×20×3.2 (5箇所)
⑮	---	㉔	RCバラベツト【撤去】<詳細図参照>
⑯	---	㉕	---
⑰	---	㉖	---
⑱	---	㉗	---
㉑	---	㉘	---
㉒	---	㉙	---
㉓	---	㉚	---
■ 既設のままを示す (内装工事範囲外)		☒ 天井点検口 (アルミ枠) 【既設】	
▨ 仕上げ材撤去範囲を示す (下地不陸調整を含む)		※撤去範囲内の天井点検口は取外し	

3階 天井伏図 S=1/200

R階 天井伏図 S=1/200



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 N o

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

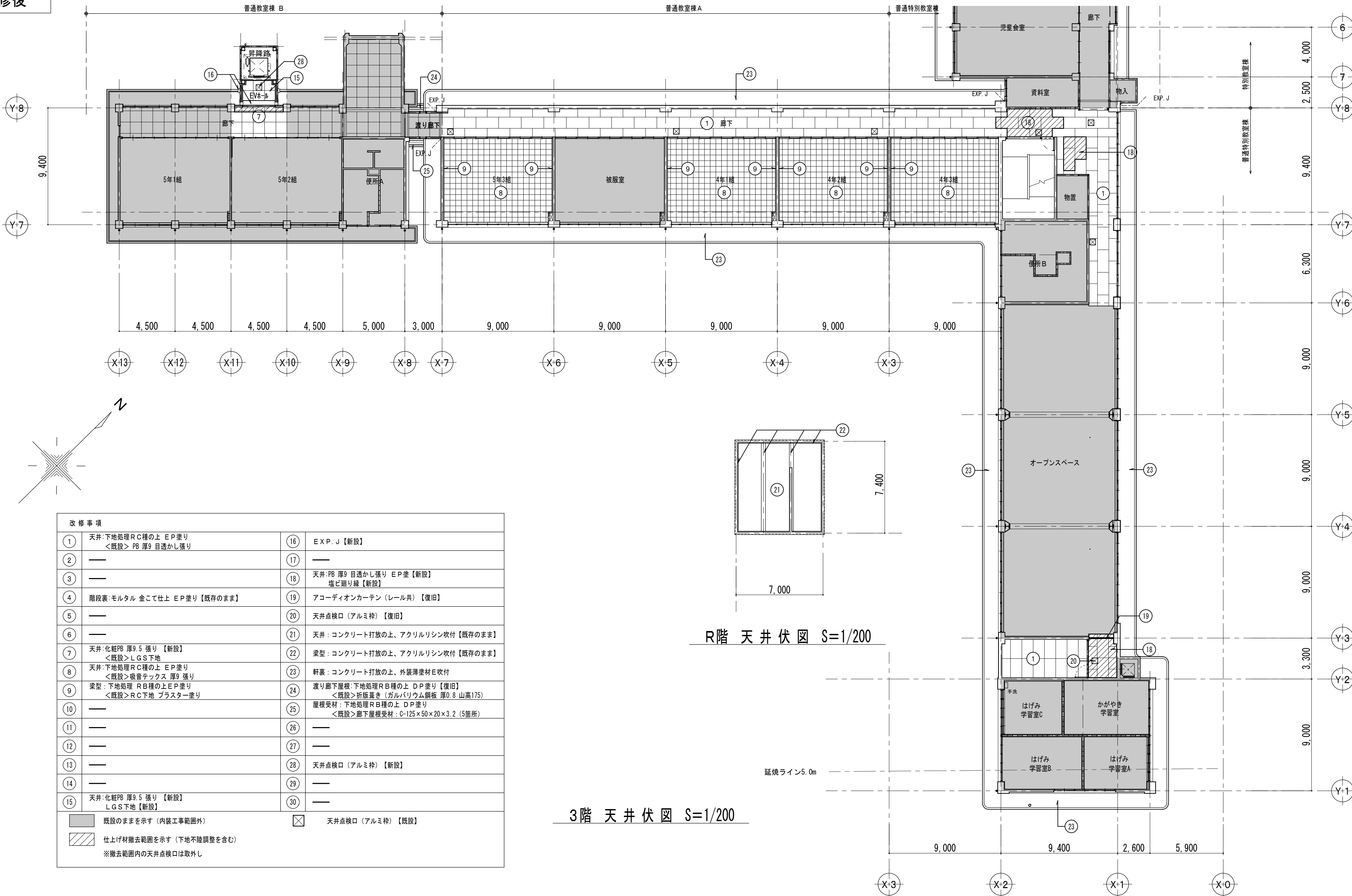
3階・PH 天井伏図【改修前】 S=1/200

図面 No

A-090

原図: A 2

改修後



改修事項			
①	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞PB厚9目透かし張り	⑩	天井点検口(アルミ枠)【既設】
②	――	⑪	――
③	――	⑫	天井:PB厚9目透かし張り EP塗り【新設】 塩ビ廻り縁【新設】
④	階段裏:モルタル金こて仕上 EP塗り【既存のまま】	⑬	アコーディオンカーテン(レール共)【復旧】
⑤	――	⑭	天井点検口(アルミ枠)【復旧】
⑥	――	⑮	天井:コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付【既存のまま】
⑦	天井:化粧PB厚9.5張り【新設】 ＜既設＞LGS下地	⑯	梁型:コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付【既存のまま】
⑧	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞吸音テックス厚9張り	⑰	軒裏:コンクリート打放の上、外装薄塗材E吹付
⑨	梁型:下地処理RB種の上EP塗り ＜既設＞RC下地 プラスター塗り	⑱	渡り廊下屋根:下地処理RB種の上 DP塗り【復旧】 ＜既設＞折板葺き(ガルバリウム鋼板厚0.8山高175)
⑩	――	⑲	屋根受材:下地処理RB種の上 DP塗り ＜既設＞廊下屋根受材:C-125×50×20×3.2(5箇所)
⑪	――	⑳	――
⑫	――	㉑	――
⑬	――	㉒	――
⑭	――	㉓	天井点検口(アルミ枠)【新設】
⑮	天井:化粧PB厚9.5張り【新設】 LGS下地【新設】	㉔	――
⑯	――	㉕	――

既設のままを示す(内装工事範囲外)

仕上げ材撤去範囲を示す(下地不陸調整を含む)
※撤去範囲内の天井点検口は取外し

天井点検口(アルミ枠)【既設】



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

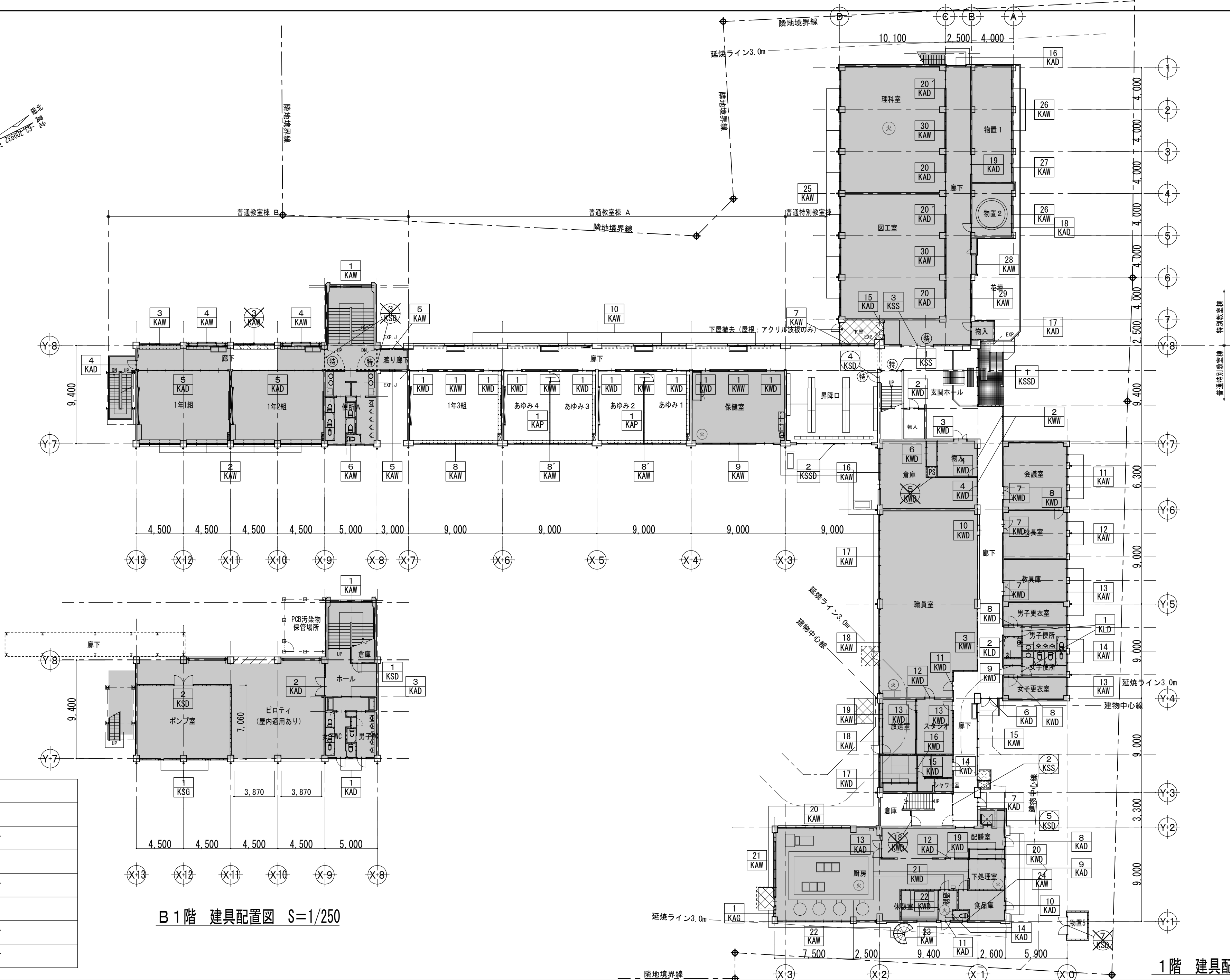
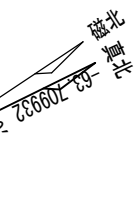
3階・PH天井伏図【改修後】 S=1/200

図面 No

A-091

原図: A2

改修前



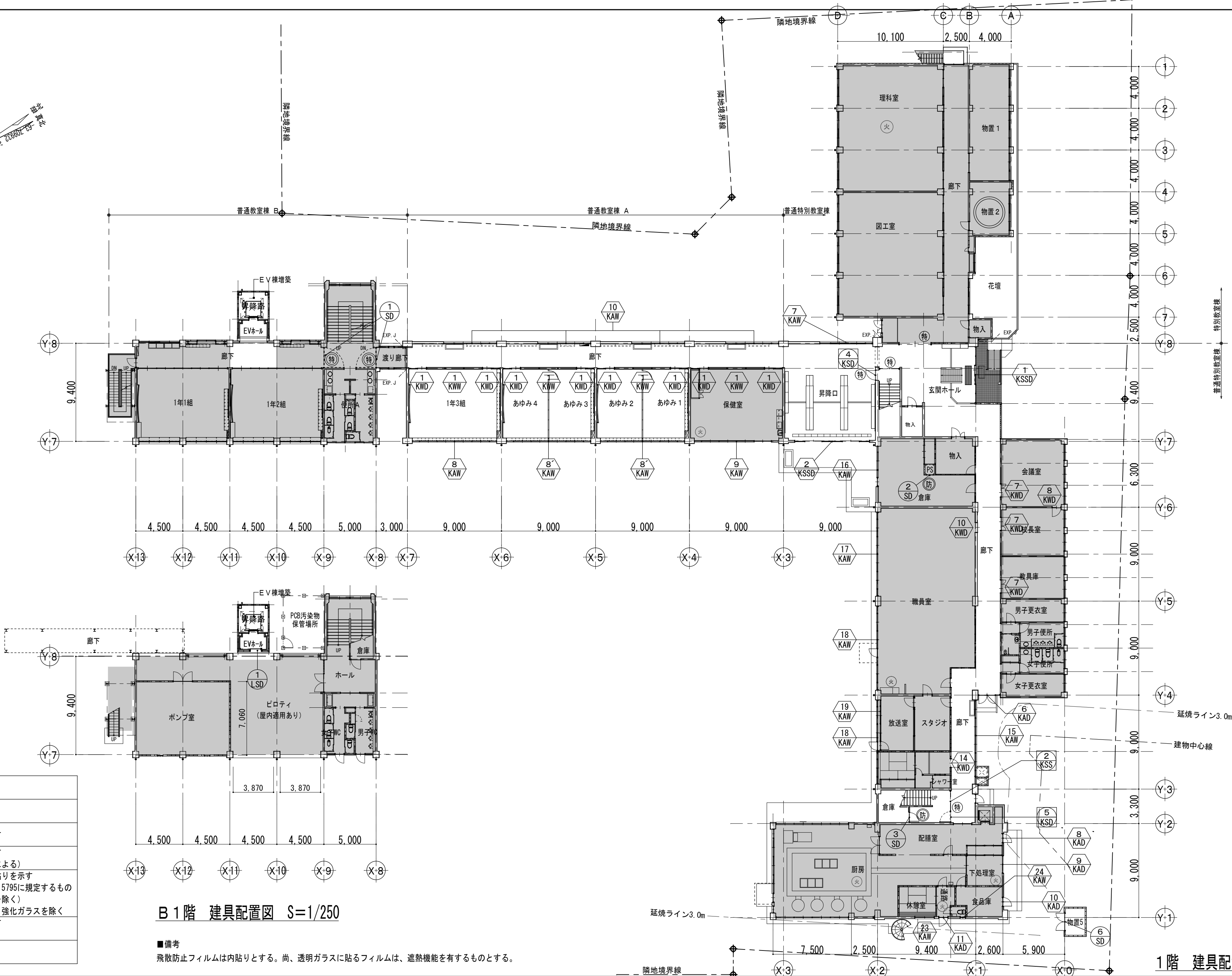
B 1 階 建具配置図 S=1/250

1 階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す

 設計 監理 類 建築設計事務所 〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No	備考	図面名称	縮尺	図面 No
	管理建築士	設計者			変更・訂正	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事		B 1・1階 建具配置図【改修前】	S=1/250 (A3:1/353)	A-092
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛								
										原因: A 2

改修後



凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (OPマーク表示を除く)
	※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す

B 1 階 建具配置図 S=1/250

■備考
飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。

1 階 建具配置図 S=1/250



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正			

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

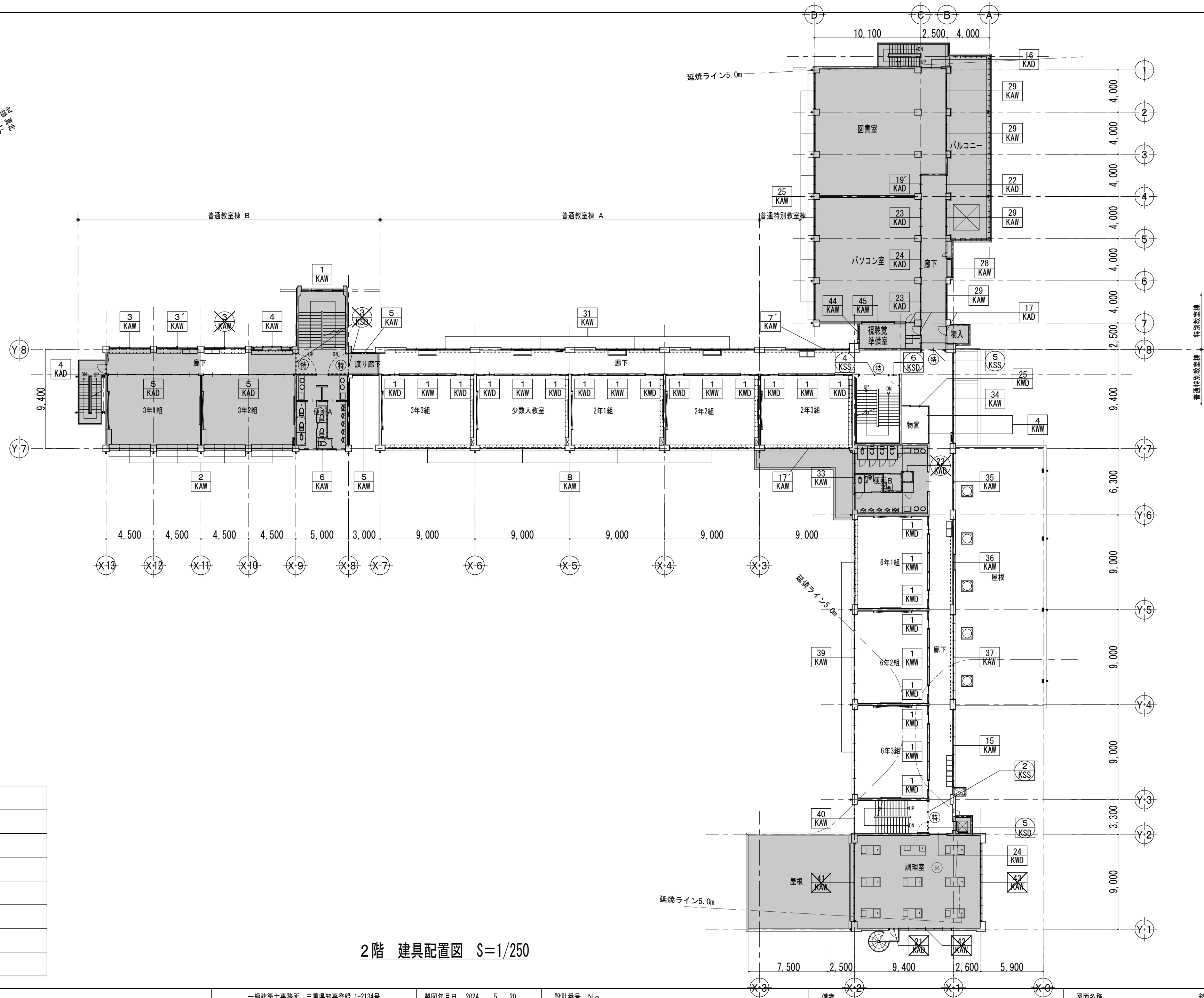
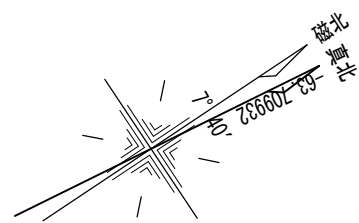
B 1・1 階 建具配置図【改修後】 S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-093

原因: A 2

改修前



2階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能無し)
	既設防火設備を示す



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

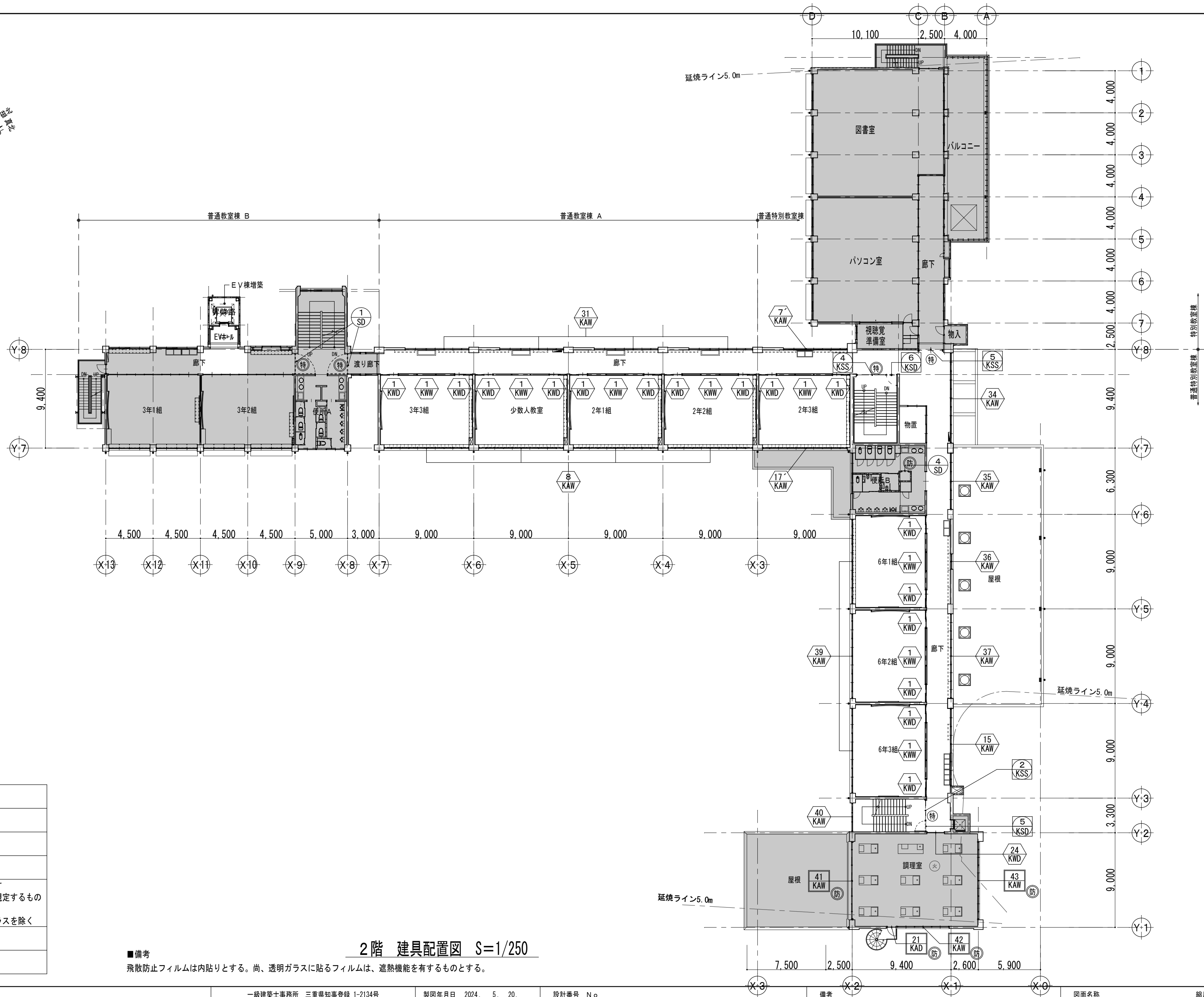
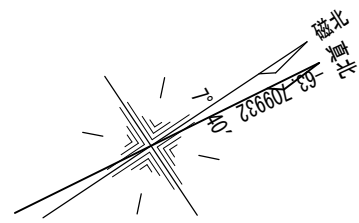
図面名称 縮尺
2階 建具配置図【改修前】 S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-094

原図: A 2

改修後

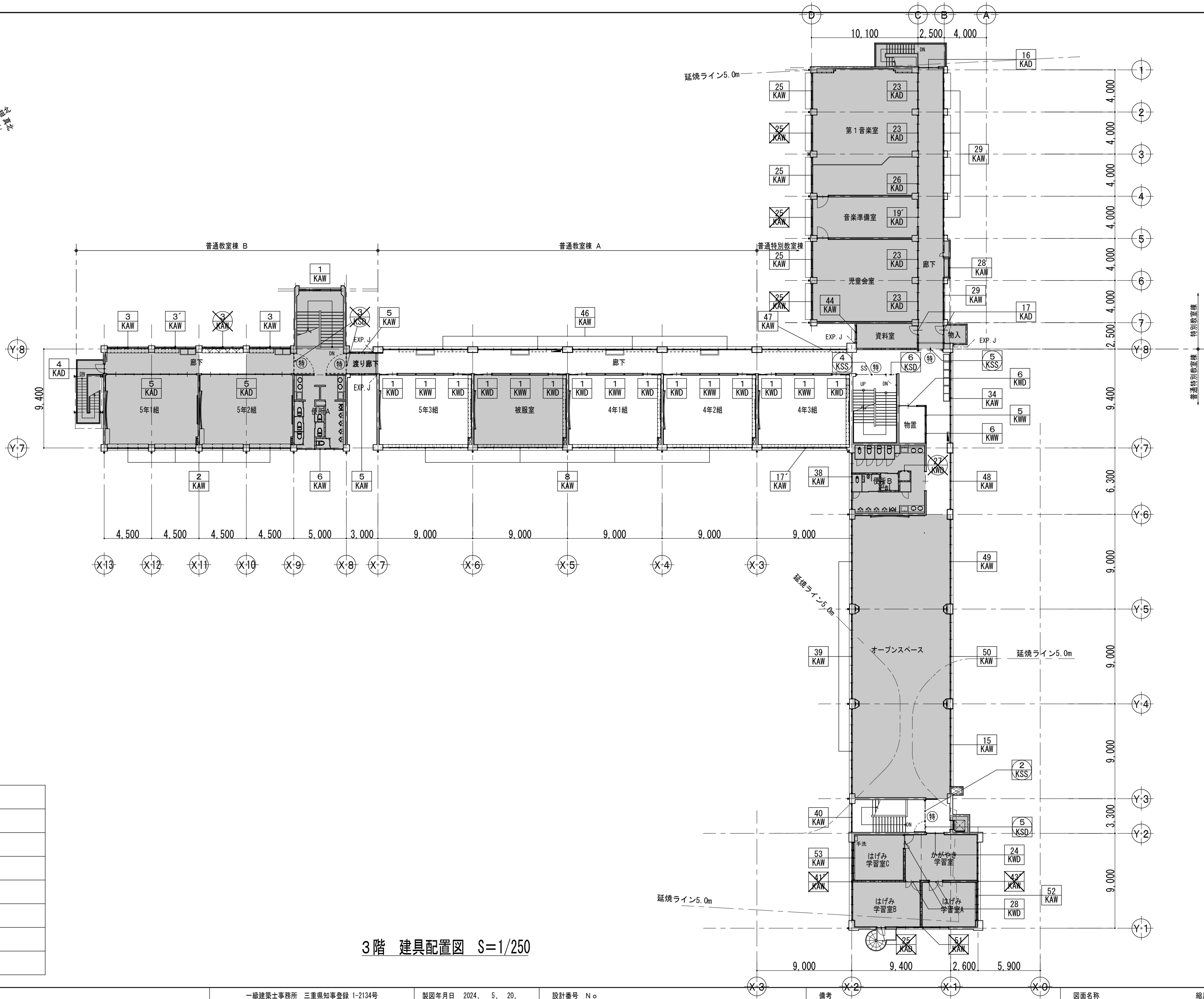
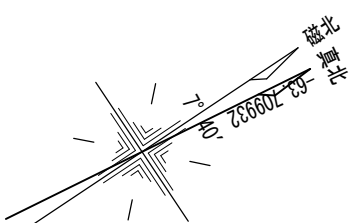


2階 建具配置図 S=1/250

備考
飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。

凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (OPマーク表示を除く) ※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す

改修前

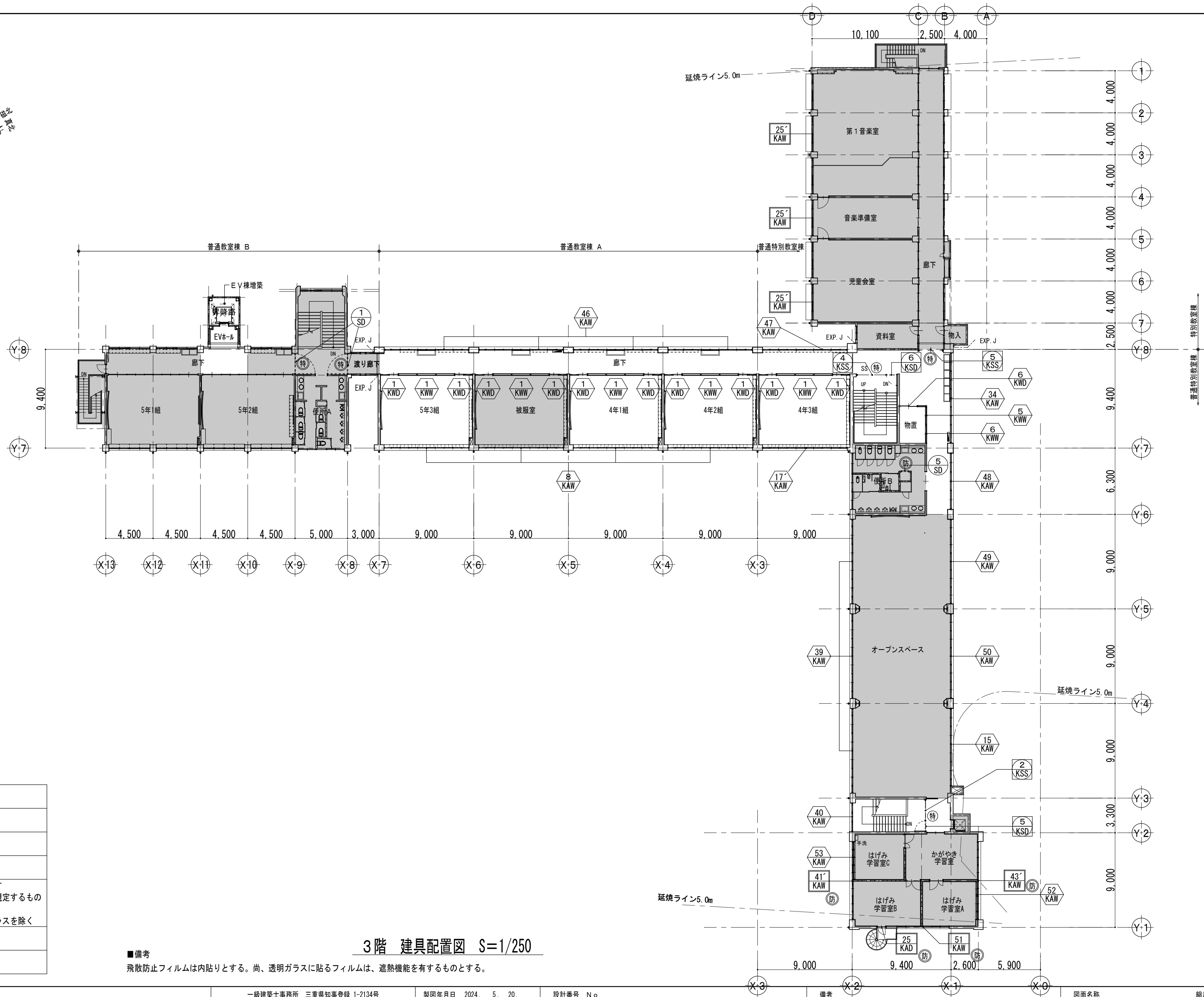
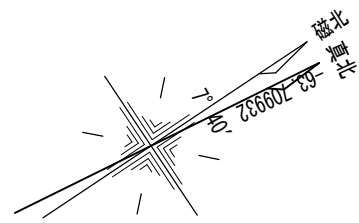


3階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能無し)
	既設防火設備を示す

 設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所 〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.		設計番号 N o		備考		図面名称		縮尺		図面 No	
	管理建築士		設計者		変更・訂正		津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事				3階 建具配置図【改修前】		S=1/250 (A3:1/353)		A-096	
	一級建築士 第306854号 田中 召剛		一級建築士 第306854号 田中 召剛													

改修後

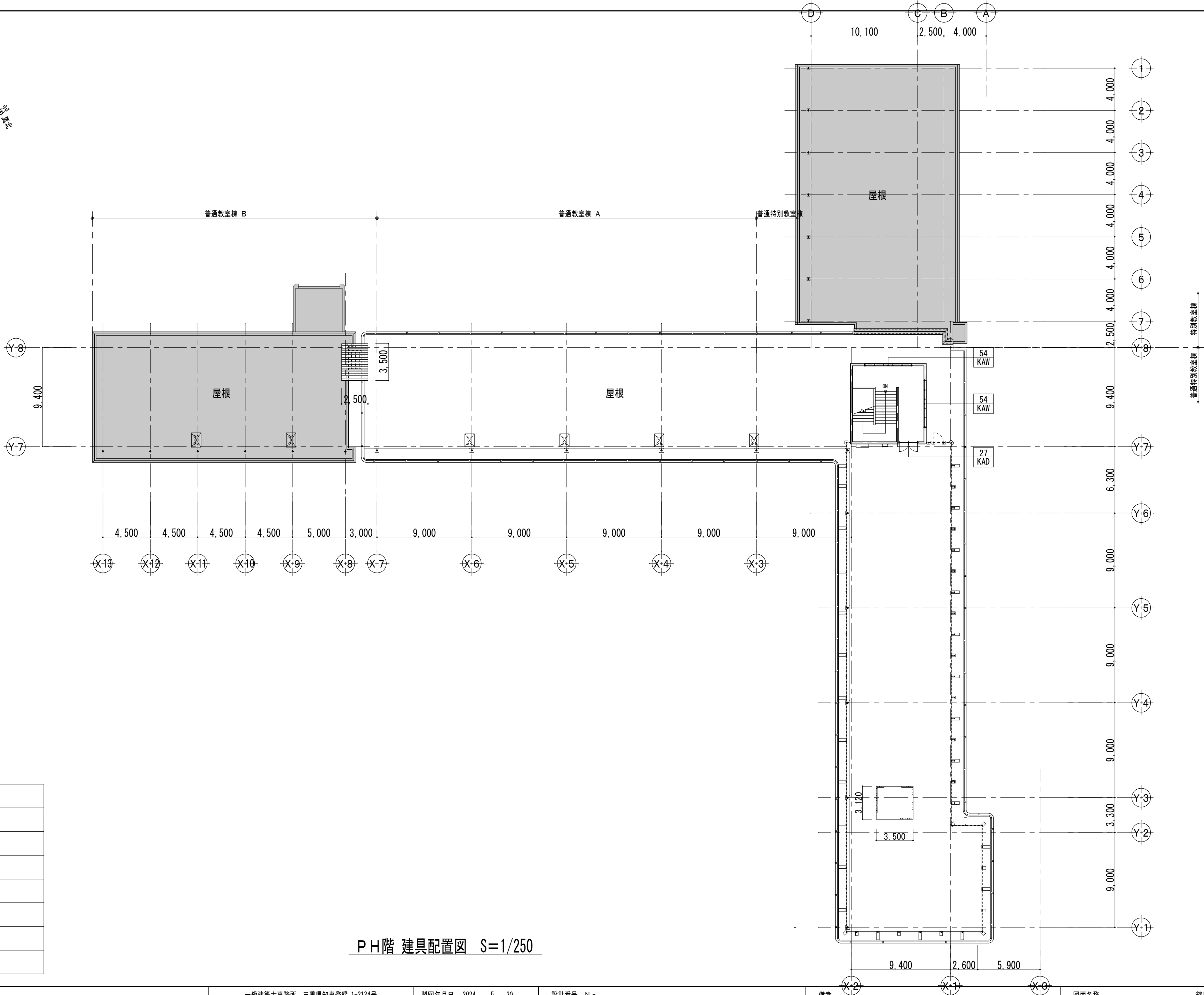
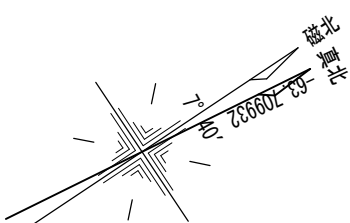


3階 建具配置図 S=1/250

■備考
飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。

凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (OPマーク表示を除く)
	※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す

改修前

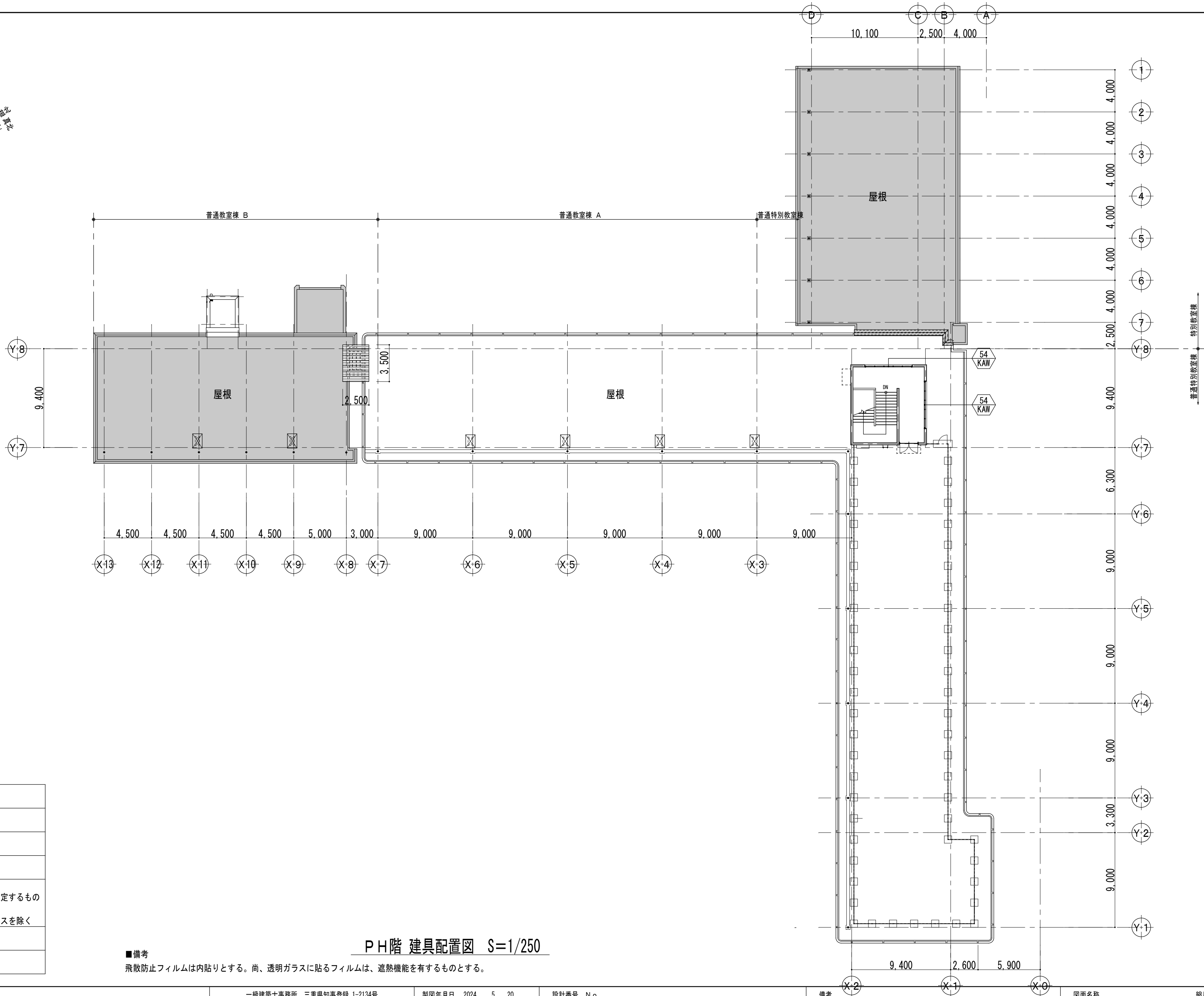
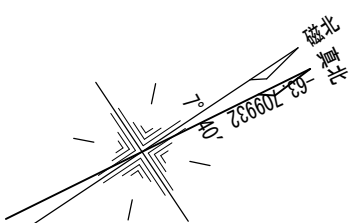


PH階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能無し)
	既設防火設備を示す

	設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所				一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.		設計番号 No.		備考		図面名称		縮尺		図面 No			
	〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754				管理建築士		設計者				変更・訂正		津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事				P H 階 建具配置図【改修前】		S=1/250 (A3:1/353)		A-098	
					一級建築士 第306854号 田中 召剛		一級建築士 第306854号 田中 召剛								S=1/250 (A3:1/353)							

改修後



PH階 建具配置図 S=1/250

■備考
飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。

凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (OPマーク表示を除く) ※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正			

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

P H 階 建具配置図【改修後】 S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-099

原図: A 2